

A 6.4.0
M52-4

伯
國
の
現
勢

昭
和
六
年
七
月

外務省通商局三課



調一0723

0152

序 言

本調査は一九三〇年伯國農工商務省の發行に係る O Brasil Actual (現代の伯刺西爾) を基礎とし之に適宜最近の諸材料を配し當課勤務乾武夫に於て作成したるものにして伯國の現勢を窺ふに恰好の資料と認めらるゝに付き茲に印刷に付する事と爲せり。

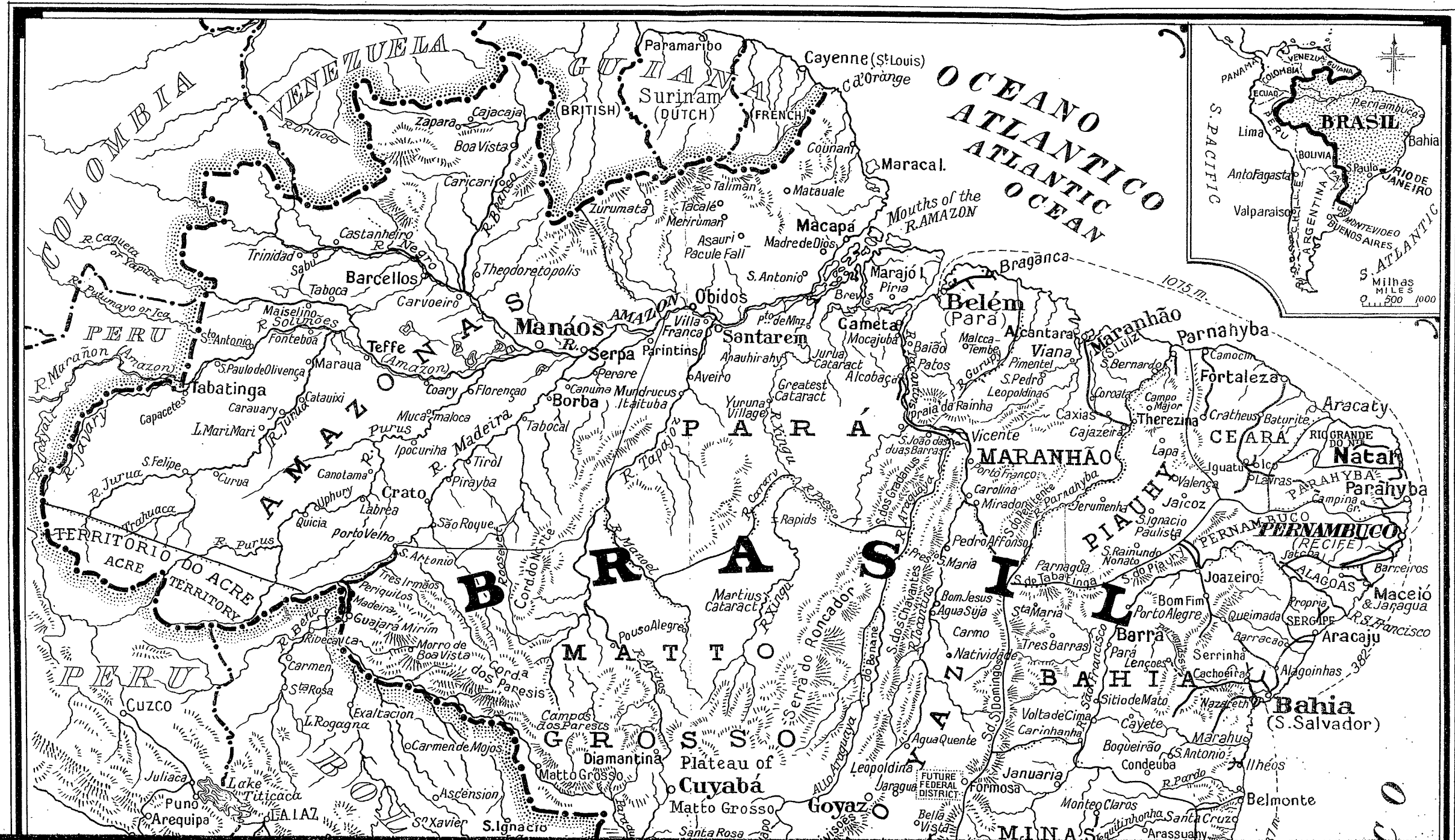
昭和六年七月

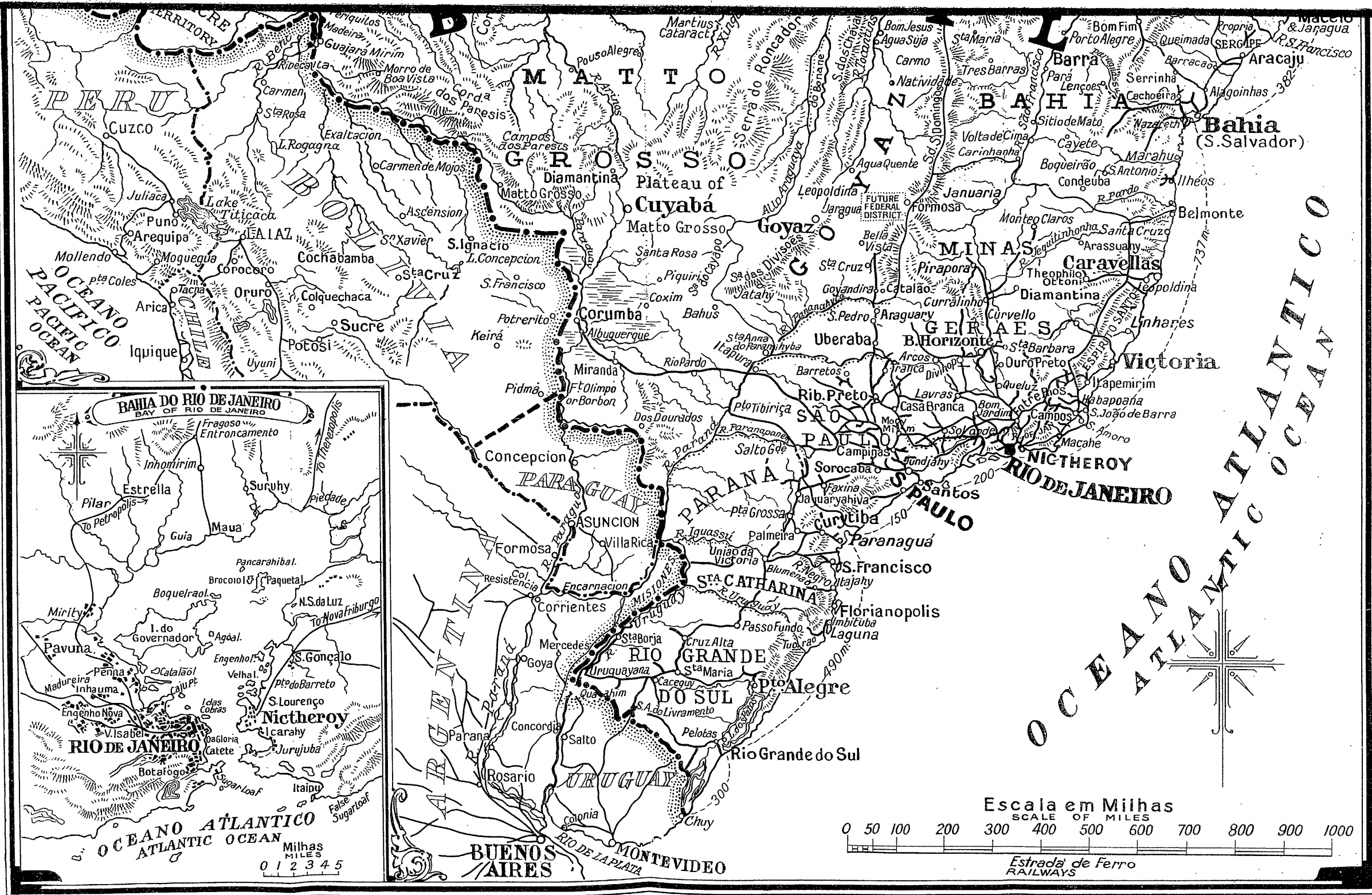
通商局 第三課



外務省
通三 26
圖書館
41.8.31

MAPPA DO BRASIL MAP OF BRAZIL







伯
國
の
現
勢

目次

一、位置及面積	一
二、氣候	三
三、人口	七
人口増加状況及密度—衛生状態—職業別人口—移民出入状況	
四、産業	二四
(イ) 農業	二四
棉花—アルファルファ—落花生—米—燕麥—バナナ—胡椒— 馬鈴薯—ワニラ—護謨—カカオ—珈琲—ブラジル・ナツ—カ	

ルナウバ―裸麥―大麥―茶―パイ―ヤ・ココナツ―フエイジ ン豆―煙草―グアラナ―ジャリナ―唐胡麻―マンデオカ― マテ茶―玉蜀黍―小麥―果物―タシニシ生産植物―製油用果 實	二
(ロ) 林業	一一四
アカブ―セドロ―ゴンサロ・アルヴェス―ジャカランダ― ―マツランドウバ―バウ・ブラジル―バウ・ムラト―バウ・ロ シヨ―バウ・セタイム―ペキ―ア―ペローバ―松―サプビラ ―グインバタイコ	一一三
(ハ) 纖維植物	一一三
カロア―グラヴァタ・デ・ガンシヨ―グラヴァタ・デレデ―ピア サヴァ―ツクム―ジャシタラス―グアシマ・ローシヤ―バコバ コ―ビタイラ―ユムビラ・フランカー―サンセグイエラ―ジュ ―トリリ、オ・デ・ブレジョ	一一三
(ニ) 牧畜業	一一三
家畜數―獸乳製品―家畜加工品	一一三
(ホ) 鑛山業	一三八
金―鐵―銅―白金―水銀―鉛―錫―亞鉛―ニッケル―金剛石 黒鉛―硫黃―アルミニウム―石英―モナザイト砂―瀝青炭 ―泥炭―アスファルト―石灰及大理石―雲母―石綿―石炭― 石油―鑛泉	一三八
(ト)(ヘ) 漁業	一四九
工業	一五一
紡績業―絹織物業―製紙業―冷凍肉工業―其他の農産加工業 ―其他の工業	一五一
五、外國貿易	一五八
輸出貿易―輸入貿易―日伯貿易	一五八

六、財 政	一八〇
-------	-----

歳入—歳出—内債—外債—内外國銀行營業狀況—各保險會社
收入保險料總額—伯國爲替相場變動狀況

七、交 通	一九八
-------	-----

伯國交通及通信狀態—覽—鐵道—自動車—郵便—電信

八、商業航空	二〇七
--------	-----

伯國商業航空會社の運輸並營業狀態

九、水 路	二〇九
-------	-----

アマゾン河流域地方

十、水力電氣	二一〇
--------	-----

水力發電所—主要瀑布

十一、物價指數	二一四
---------	-----

附 錄	二一五
-----	-----

リオ・デ・ジャネイロ市に關する諸統計

地理的位置—地積及地勢—人口—建築—電氣—瓦斯—電話—給水—
電車—乗合自動車—娛樂機關—小學校—新聞—警察—銀行—港及貿
易—屠殺—其他

伯國の現勢

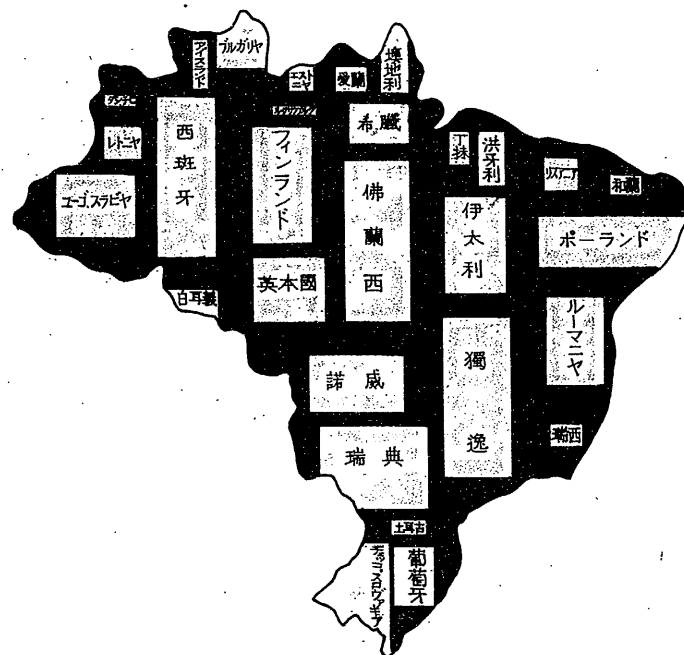
一、位置及面積

ブラジルは北、北緯五度十分より南、南緯三十三度四十五分に至り、東、西經三十四度四十五分より西、西經七十四度八分五十九秒に至る間に於て南米大陸の約半を占むる共和國にして、其面積八百四十九萬四千二百九十九平方基米を有し露西亞の一部を除く歐羅巴大陸全面積より廣く、臺灣、朝鮮、樺太等の屬領を除く本邦面積の約二十三倍に當り其廣袤世界第五位に在り。ブラジル國州別面積

註(一九二〇年舉行の伯國國勢調査に依れば伯國面積は八百五十一萬一千八百八十九平方基米なる。本表は一九三〇年伯國農工商務省發行に係る「現代の伯國」に據れり)

州名	面積(平方基米)	州名	面積(平方基米)
アマゾン	一、八二五、九九七	ピヤウイ	二四五、五八二
パラー	一、三六二、九六六	セアラ	一四八、五九一
マラニョン	三四六、二二七	リオ・グランデ・ド・ノルテ	五二、四一一

「ブラジル」ト 歐洲各國面積比較圖表



伯國面積 八、四九四、二九九 平方基米

歐羅巴面積 六、八〇〇、〇〇〇
(露國ヲ除ク)

パライーバ
ヘルナンデス
アラゴアス
セルシバ
バイーヤ
エスピリト・サント
リオ・デ・ジャネイロ
聯邦區
サン・パウロ

五五、九二〇
九九、二五四
二八、五七一
二一、五五二
五二九、三七九
四四、六八四
四二、四四一
一、一六七
二四七、二三九

バラナ
 サンタ・カタリナ
 リオ・グランデ・ド・スール
 マト・グロツソ
 ミナス・ジェラエス
 ゴヤース
 アクレ直轄州
 合計

一九九、八九七
九四、九九八
二八五、二八九
一、四七七、〇四一
五九三、八一〇
六四三、三〇八
一四八、〇二七
八、四九九、二九九

二、氣 候

伯國は之を熱帶、亞勢帶及溫帶の三地帯に區分することを得、熱帶地帯は赤道より北、北緯五度十分より南、南緯十度に達し、アマゾナス、バラ、マラニオン、ビヤウイ、セアラ、リオ・グランデ・ド・ノルテ、バライーバ、ペルナンブコ、アラゴアス各州の全部及ゴヤース、マト・グロソ並バイーヤ各三州の一部此の内に含まれ年平均溫度攝氏二六乃至二七度なり。

亞熱帶地帯は南緯十度より南回歸線に互りセルジベ、エスピリト・サント、リオ・デ・ジャネイロ、聯邦區、ミナス・ジェラスの各州全部マト・グロソ州の大部並サン・パウロ州の一部之が圈内に屬し、平均溫度は土地の高低に依り異り低地方にありては八度乃至二二度、高地地方にありては二二度乃至二六度なり。溫帶地帯は回歸線より國土の南端に至る、即ち此の圈内にはサン・パウロ州の一部バラナー、サンタ・カタリナ及リオ・グランデ・ド・スール各州全部含まれ其氣溫は海岸地方にありては平均一九度内部地方に於ては一六度にして氣候概して良好なり。

氣 溫 (攝氏)

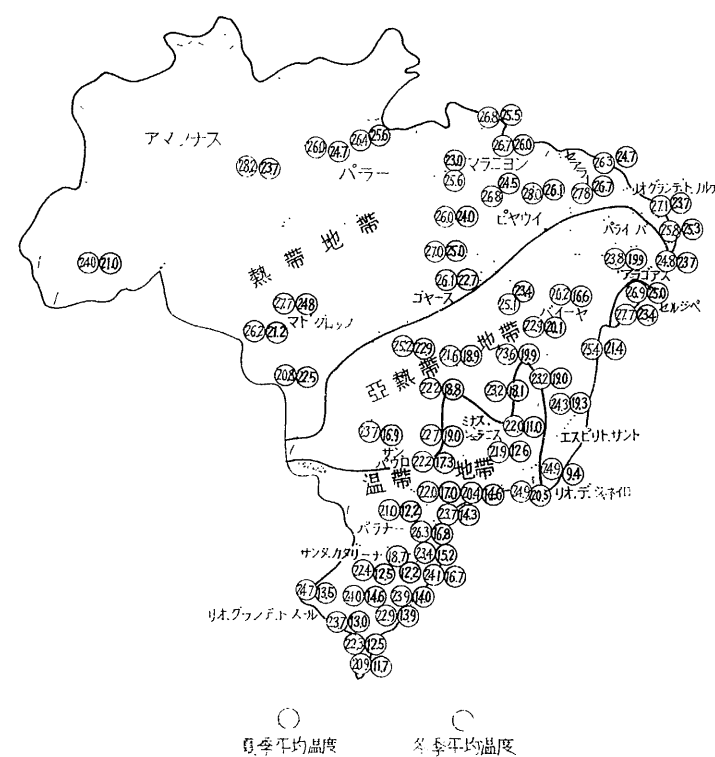
地名	州名	年平均 降雨量	最高 降雨量	最低 降雨量	海抜
ベレン	パラナ	二五・八	三〇・八	二二・一	一二・七
サン・トマス	サンパウロ	二一・九	二五・〇	一九・二	三・〇
マナオス	アマゾン	二七・四	三二・〇	二三・八	四五
ベロ・オリゾンテ	ミナス・ジェライス	二〇・三	二六・〇	一四・七	八五七
リオ・デ・ジャネイロ	サンパウロ	二二・二	二九・五	一四・八	五五六
サン・パウロ	同	二二・七	二六・〇	一九・七	六一
クリチバ	同	一七・六	二四・〇	一三・三	八二〇
ホルト・アレグレ	パラナ	一六・四	二三・九	一一・二	九〇八
ナタ	リオ・グランデ・ド・スール	一九・二	二四・五	一四・二	一五
グアラニ	リオ・グランデ・ド・ノルテ	二六・一	二九・一	二二・九	三
マ・タ	マト・グロソ	二六・五	三〇・二	二三・三	一六五
ベレン	パラナ	二三八・〇		二四・一	二四一
レシフェ	ペルナムブコ	二二四・六		二五・一	二五一
サン・トマス	サンパウロ	二八二・〇		一四七	一四七
マナオス	アマゾン	一六七・〇		一五三	一五三

ベロ・オリゾンテ	ミナス・ジェライス	一五二・二	一二三
リオ・デ・ジャネイロ	サンパウロ	一四〇・四	一八三
サン・パウロ	同	一一八・二	一四三
クリチバ	パラナ	一四二・八	一四六
ホルト・アレグレ	パラナ	一四五・二	一六三
ナタ	リオ・グランデ・ド・スール	一二九・六	一一〇
グアラニ	リオ・グランデ・ド・ノルテ	一四一・七	一四六
マ・タ	マト・グロソ	一四六・二	一三〇

伯國各地氣溫圖表

0153

伯國各地氣溫圖表



三人 口

一九三〇年一月調査に係る伯國總人口は四千二十七萬二千六百五十人にして人口の點に於て世界各國中第十位を占め其密度一平方基米當り四人七分なり。

伯國州別人口數（一九三〇年一月調査）左の如し。

州名	人口	州名	人口
アラゴアス州	一、二八九、二一四	パラナ州	九七四、二七三
アマゾンナス州	四三三、七七七	ヘルナンデス州	二、八六九、八一四
バイーヤ州	四、一三五、八九四	ピアウイ州	八〇九、五〇八
セアラ州	一、六二六、〇二五	リオ・デ・ジャネイロ州	一、九九六、八九九
聯邦區	一、四六八、六二一	リオ・グランデ・ド・ノルテ州	七三八、八八九
エスピリト・サント州	六六一、四一六	リオ・グランデ・ド・スール州	二、九四九、六二七
ゴヤース州	七二二、二一〇	サンタ・カタリナ州	九四八、三九八
マラニョン州	一、一四〇、六三五	サン・パウロ州	六、三九九、一九〇
マト・グロソ州	三四九、八五七	セルジペ州	五四七、九六五
ミナス・ジェライス州	七、四四二、二四三	アクリ直轄州	一一三、七二五
パラ州	一、四三二、四〇一	總計	四〇、二七二、六五〇
パライバ州	一、三二二、〇六九		

重要都市人口（一九三〇年一月調）左の如し。

州名	人口	州名	人口
マセオ	一〇三、九三〇	パライ	七四、一〇四
マナオス	八三、七三六	グリーチ	一〇〇、一三五
サンサルパドール	三二九、八九八	レシーフ	三四〇、五四三
フアルタレザ	九八、八四八	テレズイナ	六四、三七九
グイクトリア	二九、二四三	ニテロイ	一〇八、二三三
ゴヤリス	二六、三二八	ナタ	四一、七四七
サンルイス	六二、八九五	ホルトアレグレ	二七三、三七六
クヤパ	四一、一四八	フロリアノポリス	四六、五二〇
ペロ・オリエンテ	一〇八、八四九	サン・パウロ	八七九、七八八
ベレーン	二七九、四九一	アラカツウ	四九、一一四

一七七六年以降一九三〇年に至る伯國人口増加表左の如し。

年次	人口	年次	人口
一七七六年	一、九〇〇、〇〇〇	一八八〇年	一四、三三三、九一五
一八〇八年	二、四一九、四九六	一九〇〇年	一七、三一八、五五五
一八一九年	四、三九六、一三二	一九一〇年	二二、四一四、一七七
一八三〇年	五、三四〇、〇〇〇	一九二〇年	三〇、六三五、六〇五
一八五四年	七、六七七、八〇〇	一九二五年	三六、八七〇、九七二
一八七二年	一〇、一一二、〇六一	一九二九年（一―一九二九）	三九、一〇三、八五六

一九三〇年（一―一九三〇） 四〇、二七二、六五〇
一九二八年調査に係る南米諸國人口密度左の如し。

國別	一平方基米ノ密度	國別	一平方基米ノ密度
ウルグアイ	八・二	チリ	五・三
エクアドル	六・六	伯國	四、五九四
コロンビヤ	五・六		

一九〇〇年より一九二〇年に至る二十ヶ年間に於ける伯國人口の増加率は一割七分に達したるが右期間中の移民入國状態は差して旺盛ならざりしに徴し右増加は人口の自然増加とも看做され社會學上大に注目に値するものにして最近世界各國の人口統計中如上の動態を示せるもの稀有なり。

右の増加率を以て伯國將來の人口を推さば一九四〇年に於てはリオ・デ・ジャネイロ及サン・パウロ市の如きは人口二百萬以上に上るべく又ベレン、レシフ、バイーヤ及ホルト・アレグレ市等は人口五十萬を有するに至るべし。

今右の増加率に基き伯國將來の人口數を豫測すれば左表の如し。

年次	人口	年次	人口
一九三〇年	四一、〇〇〇、〇〇〇	一九六〇年	一二、〇〇〇、〇〇〇
一九四〇年	五一、〇〇〇、〇〇〇	一九九〇年	二四、〇〇〇、〇〇〇
一九五〇年	七六、〇〇〇、〇〇〇		

伯國各州人口増加状況並豫想表

州別	一九二〇年	一九二六年	一九三二年	一九四〇年
アクレ直轄州	九二、三三九	一〇六、三七四	一二一、七六九	一三八、七〇一
アマゾナス州	三六三、一六六	四〇九、六九九	四六〇、八八五	五一七、一八九
パラナ州	九八三、五〇七	一二六、九三三	一五七、七八〇	一八七、四七五
マラニョン州	八七四、三三七	一〇四、二〇六	一二三、七六一	一四四、五三一
ピアウイ州	六〇九、〇〇三	七三八、七四〇	八八一、四四七	一〇三八、四二四
セアラ州	一、三一九、二二八	一、五二〇、三三五	一、七四一、五五二	一、九八四、八九〇
リオグランデ・ド・ノルテ州	五三七、一三五	六六六、九〇二	八〇八、五四五	九六四、三三二
パラíba州	九六、一〇七	一、九三、二〇〇	一、四五八、六二八	一、七三九、五三二
ペルナンブコ州	二、一五四、八三五	二、六七一、三一〇	三、一六〇、〇三二	三、六九一、六二六
アラゴアス州	九七八、七四九	一、一七〇、〇五一	一、二六九、一七七	一、四三六、五一五
セルジペ州	四七、〇六四	五二四、〇九五	五八六、八二九	六五五、八三六
バイヤ州	三、三三四、四六五	三八五九、二四一	四、四三六、四九四	五、〇七一、五八二
エスピリト・サント州	四、五七、三二八	五八七、四五一	六三〇、五八六	七九八、〇三四
リオ・デ・ジャネイロ州	一、五五九、三七一	一、八四四、三〇四	二、一五七、七三〇	二、五〇二、四九八
聯邦區	一、一五七、八七三	一、三六〇、五八六	一、五八三、五七〇	一、八二八、八五二

ミナスジェリス州	五、八八八、一七四	六、九〇二、五一一	八、〇一八、二八一	九、二四五、六二八
ゴヤース州	五、一、九一九	六、四〇〇、四九一	七、八一、八八〇	九、三七、四〇二
マト・グロソ州	二、四六、六二二	三、一二、六六一	三八五、三二四	四、六五、二四二
サン・パウロ州	四、五九二、一八八	五、七五一、八二二	七、〇二七、四二九	八、四三〇、五九六
パラナ州	六八五、七一	八七〇、二五五	一、一二五、六二三	一、四〇六、五二七
サンタ・カタリナ州	六六八、七四三	八四七、六五六	一、〇四四、四七一	一、二六〇、八七七
リオ・グランデ・ド・スール州	二、一八二、七二三	二、六八三、六八三	三、一二三、七五〇	三、八四〇、九二三
合計	三〇、六三五、六〇七	三六、八七〇、九一七	四三、六三六、一四三	五一、二七六、五〇九

伯國に於ける衛生状態

(死因傳染病流行病其他)

地名	週計	人口	出生率	死亡率	チフス	天然痘	麻疹	猩紅熱	百日咳	ダリア	感冒	結核	出生率	出生率
リオ・デ・ジヤネイロ	三月五日	一、七五、七五	三、二	一、四	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一、四	一、四
レシフエ	三月五日	三、〇〇〇	三、三	一、〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一、〇	一、〇
バイーヤ	三月五日	三、〇〇〇	一、三	〇・三	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一、〇	一、〇
ホルトアレ	三月五日	三、〇〇〇	一、三	〇・三	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一、〇	一、〇
クレ	三月五日	三、〇〇〇	一、三	〇・三	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一、〇	一、〇
ペレン	三月五日	三、〇〇〇	一、三	〇・三	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一、〇	一、〇
サントス	三月五日	三、〇〇〇	一、三	〇・三	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一、〇	一、〇
ニテロイ	三月五日	三、〇〇〇	一、三	〇・三	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一、〇	一、〇
ベロオリ	三月五日	三、〇〇〇	一、三	〇・三	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一、〇	一、〇
マナオス	三月五日	三、〇〇〇	一、三	〇・三	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一、〇	一、〇
サン・ルイス	三月五日	三、〇〇〇	一、三	〇・三	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一、〇	一、〇

(備考) 衛生局の調査に據れば登録不備により一年未満児童の死亡總数は正確ならず。

伯國に於ける職業別人口統計

一九二〇年の伯國人口調査に依れば年齢未滿者の数は、一二、六三一、五七五人、十四歳以上の者一八、〇〇四、〇三〇人にして、右十四歳以上の者の中有職者九、一九一、〇四四人職業不定の者

四一六、五六八人、無職業者八、三九六、四一八人にして之を職業別に表示すれば左の如し。

農業従業者	六、四五〇
工業従業者	一、一八九、三五七
運送業従業者	二五三、五八七
商業従業者	四九七、五四八
警察署員	八八、三六三
行政官吏	一三七、八七九
自由職業者	一六八、一一一
所得生活者	四〇、七九〇
家庭使用人	三六三、八七九
無職業者	八、三九六、四一八
職業不定者	四一六、五六八

最近各年度の伯國農工商務省報告を取纏め作成せる一八二〇年以降一九二九年迄の移民の出入

状況左の如し。(左側の数字は出国数を示す)

	一九二九年	一九二八年	一九二七年	一九二六年
日本	一六、六四八	一一、一六九	九、〇八四	八、四〇七
葡萄牙	三八、八七九	一七、三八二	一四、八三六	一八、九五一
西班牙	四、五六五	四、四三三	三、〇七〇	三、六六五
意大利	五、二八八	五、四九三	一、四八三	一、九七七
獨逸	四、三五一	四、七二八	四、六七八	四、三六三
波蘭	九、〇九五	四、七〇八	四、〇九二	三、二一〇
リビア	七七八	一、三〇三	一、二一八	六、〇二六
シリア	一、七七一	一、四八五	一、四七二	三、三六九
埃及	八八八	三、九四二	一、〇七九	一、〇七八
伯利	四、二三八	三、九三三	二、五九四	二、八八三
ユースラフ	七九三	五七六	二、八六〇	三、八三三
アラビ	八〇	二七五	一、〇六三	三、三七七

三三

ルゼンチンに比するもの数に於て猶劣れるを見る。

(二) 移民構成国籍内容

更に最近の傾向を見るに移民送出主要國としては從來の葡、西、伊、獨、澳、シリア等の外、日本、波蘭、ロシアニア、羅馬尼等進出し來れるが最近五ヶ年（一九二五—一九二九年）間に於ける是等諸國よりの移民數を順位により示せば左の如し。

國 籍	一九二五—一九二九年入移民總計	一ヶ年平均
葡 萄 牙	一六四、二一六	三二、八四三
日 本	五、六三八	一、〇三七
伊 太 利	四五、〇九一	九、〇一八
西 班 牙	三七、〇二五	七、四〇五
獨 逸	二八、四一六	五、六六三
羅 馬 尼	二四、四一一	四、八八二
波 蘭	二二、九三一	四、五八六
リ ス ア ニ ア	二〇、三五九	四、〇七一
ユ ー ゴ ス ラ ヴ	一三、一三三	二、六五五
シ リ ア	一三、二四〇	二、六四八
其 他		

總 計

四九〇、五〇五

九八、二〇一

右の如く葡國移民最大にして全體の約三十二%を占め日本移民之に次ぐ、又葡、伊、西等所謂ラテン系三國の移民數は二十四萬六千三百三十二にして全體の約五十%を占め波、ロシアニア、ユーゴスラビア、露等の所謂スラブ系移民は總數六萬九千八百八にして全體の約十四%を占む。

(三) 移民數の傾向

次に移民數増減の傾向を知る爲最近二十五ヶ年宛平均數を算出するに左の如し。

年 度	總 數	平 均
一九〇七—一九〇九年	二四七、八九三	八二、六三一
一九一〇—一九一四年	六七九、九六八	一三五、九九三
一九一五—一九一九年	一五五、八〇〇	三二、一六〇
一九二〇—一九二四年	四八三、五八二	七六、七一六
一九二五—一九二九年	四九〇、五〇五	九八、二〇一

即ち一九一〇年—一九四年に於て最高を示し、次期には歐洲戰爭に依りて減少し一九二五年以來漸増の形勢に在りしも今後の形勢持續するや否や目下の處疑問なり。

是を人種別に就て云へば、葡國移民以外の西、伊等ラテン系及獨逸移民は大體減少の傾向に在り波蘭及ロシアニア等スラブ系移民及日本移民は最近著しく増加せり。

三三

四、産 業

(イ) 農 業

一九二五年より一九二九年に至る五ヶ年間の伯國農産物年平均産出數量は重量に依るもの九百四十一萬二千五百四十八噸容積に依るもの二億三千七百二十八萬六千九百五十リットルにして價額七十六億二百八十萬四千ミルreisなり。伯國經濟は農業を以て其基本とし、輸出の大宗を占むるも亦農産物なり。一九二九年の伯國輸出總額英貨換算九千四百八十三萬一千磅中農産物は實に八千五百五萬一千磅を占め輸出總額の八九六%に達す。近時伯國政府は各種の方法を講じて農業改良に努力する結果其品質並生産量共に著しく増加改善せられつゝあり。

伯國は又珈琲の世界最大産出國にして世界總産額の六七%を占む。

ココアの産出は阿弗利加洲ゴールドコーストに又玉蜀黍は北米に亞ぐ世界大産出國にしてマテ茶は南米全消費高の八〇%を供給し棉花は多く英國に向けて輸出せられ護謨は屢次恐慌に遭遇せるにも係はらず其品質に於て依然として世界に冠絶せり小麦栽培は當局の保護奨励に依り南部諸州に於て一般農業者の注意を喚起しつゝありアマゾン森林地帯に原生する製油用果實の採取事業

は漸次發達しつゝあり牧草アルファルファ、煙草、米、マンデオカ、食用果物及其他農産物の栽培も盛にして既に國內消費を充たし之を海外に輸出するの氣運に向ひつゝあり。

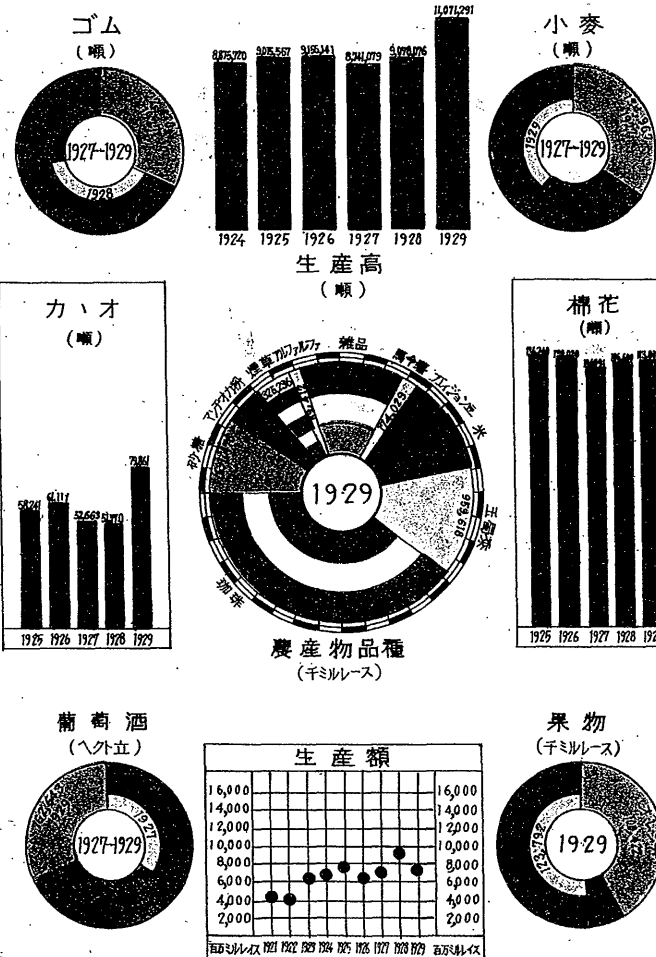
一九二二—一九二九年伯國農産物生産高(果實を除く)

年 別	重 量	容 積	價 額	價 額
一九二二—二三年	1,033,487.31	21,027,030.00	6,555,575,569.44	1,776,570,644.11
一九二三—二四年	9,555,006.1	18,697,700.00	9,866,394,859.9	1,663,388,917.7
一九二四—二五年	9,015,551.1	17,070,900.00	7,868,848,350.0	1,790,968,666.6
一九二五—二六年	8,758,626.2	13,358,000.00	7,094,995,959.5	1,007,349,958.1
一九二六—二七年	8,744,079.7	12,681,100.00	7,661,707,563.3	1,866,050,933.3
一九二七—二八年	9,780,341.1	16,994,100.00	9,167,566,010.0	2,592,599,000.0
一九二八—二九年	11,071,391.1	22,401,074.00	7,410,000,559.9	1,797,577,456.6
一九二八—二九年伯國主要農産物生産額				
品 目	數 量	單位價額	價 額	價 額
酒、精	2,177,564.4	1.00	2,177,564.40	89,412,750.0
アルファルファ	1,986,695.0	45.00	89,412,750.0	273,314,400.0
棉 花	1,131,881.1	2,400.00	2,733,144,000.0	549,235,000.0
米	1,098,470.0	500.00	549,235,000.0	25

州別	一九二九年伯國各州農産物生産状況	容積(ヘクト立)	食卓用果物(百個)
葡萄	七六二、六四三	二五〇	一九〇、六六〇、七五〇
カレン	五、〇二一、一〇〇	二〇	一〇〇、四二二、〇〇〇
ナ	六、八九六、一二〇	二	一三三、七九二、二四〇
ナ	五九、二〇八、四九二	〇、二五八	一五、二八八、五八〇
アマン	二九、四五〇	二二〇〇	八二五
ラ	七〇、三〇九	一四、一二五	一一、七八〇
マ	一三九、一六六	六五、六八〇	五五、五〇〇
ニ	一〇一、九六〇	四、二〇〇	三、四〇〇
ア	二八六、〇四〇	一五、九六〇	七二、〇〇〇
ア	五、六〇一、一四	一三、六〇〇	二五、〇〇〇
ア	二一三、一三〇	四〇、〇〇〇	二五、〇〇〇
ア	四七九、一二〇	二七、七〇〇	二五、〇〇〇
ア	二二〇、七三二	六〇、八〇〇	三三、〇〇〇
ア	一九一、九三五	三一、九一九	三五、二三八〇
ア	五〇八、二一五	九、二二五	八九四
ア	二四二、六二二		

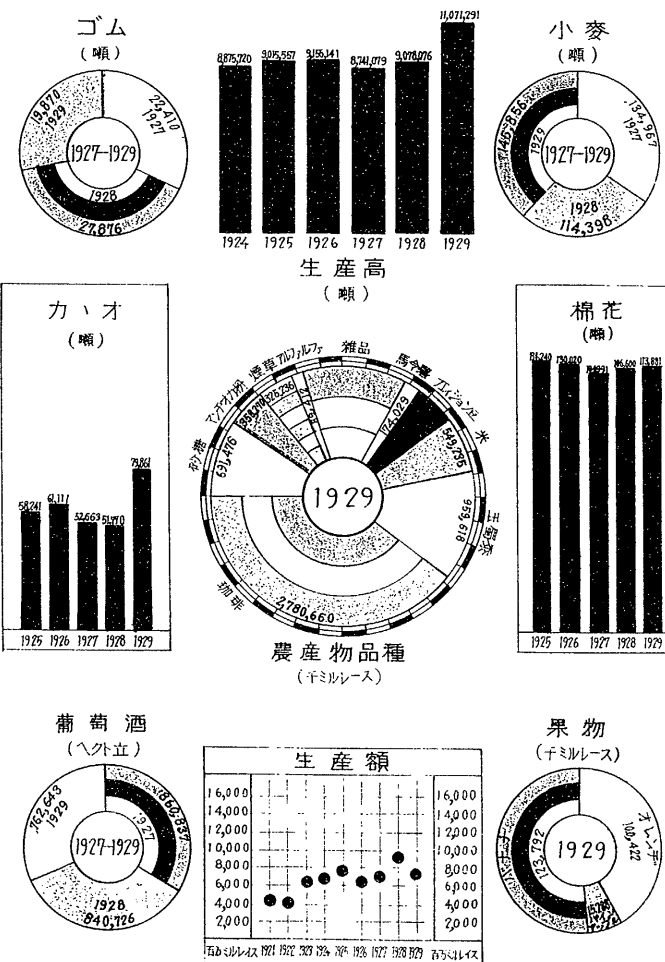
州別	一九二九年伯國各州農産物生産状況	容積(ヘクト立)	食卓用果物(百個)
砂	九八七、八二三	七〇〇	六九一、四七六、一〇〇
馬鈴	七、二七六	三五〇	二、五四六、六〇〇
馬鈴	二四八、六一三	七〇〇	一七四、〇二九、一〇〇
馬鈴	一九、八六〇	三〇、八〇〇	六、一一一、四〇三、九
馬鈴	七九、八六一	一〇、〇〇〇	七九、八六一、〇〇〇
馬鈴	一、三九〇、三三〇	二〇、〇〇〇	二、七八〇、六六〇、〇〇〇
馬鈴	二一、六〇〇	六〇〇	一、二九六、〇〇〇、〇〇〇
馬鈴	一五、五五一	三五〇	五、四四二、八五〇
馬鈴	九、七六九	三〇〇	二、九三〇、七〇〇
馬鈴	六、七三五	三〇〇	二、八九九、〇〇〇
馬鈴	一八、五八一	五〇〇	九、二九〇、五〇〇
馬鈴	九、五〇、三七九	三〇	二八、五二一、三七〇
馬鈴	八、九五、五七六	四〇〇	三五八、二七〇、〇〇〇
馬鈴	六、九四、五九〇	五〇〇	三四七、四七五、〇〇〇
馬鈴	一〇八、四二二	三〇〇	三二五、二三六、〇〇〇
馬鈴	二一〇、八五〇	八〇〇	一六八、六八〇、〇〇〇
馬鈴	四、七九八、〇九三	二〇〇	九五九、四九八、六〇〇
馬鈴	一四六、八五六	四〇〇	五八、七四二、四〇〇

伯國農産数量圖表



リガ・デ・ジャネイロ	五〇六、七七〇	七四九、八二五
サン・パウロ	二八二、七九七	七四〇、〇〇〇
パラナ	六七〇、一六二	一四一、〇〇〇
サンタ・カタリナ	二五七、二二〇	三九、三三三
リオ・グランデ・ド・スール	二、三一五、七〇〇	七二六、三〇〇
ミナス・ジェライス	一、四六五、六七〇	二二六、三六〇
ゴヤ・ス	四四七、九〇〇	二、一〇〇
マト・グロソ	三三、八二二	一五、六九〇
アクリ直轄州	二一、五六八	一、一〇〇
合計	二、〇七二、二九一	二、九四〇、二〇七
		九五〇、三七九

伯國農產數量圖表

[illegible]

(一) 棉花

伯國は棉花の生産に適しアマゾン洲よりパラナ州北部に至る廣大なる地域に亘り原生したりしが一九一八年以降伯國に於ける棉花栽培は異狀の發達を遂げ現今パライーバ、モアラ、ベルナンブコ、リオ・グランデ・ド・ノルテ及サン・パウロの諸州は其主要生産地なり最近五ヶ年間の伯國棉花平均年生産高は作地總面積約五十萬ヘクタールに對し一億一千一百七十二萬六千基瓦に上り一九二九年には一億一千三百八十八萬一千基瓦を産出せり南部諸州に於ては五六ヶ月にして結實する棉花栽培盛なるも北部諸州に於ては主として品質優良なる長纖維綿を産する木棉花栽培せらる伯國棉花の一ヘクタール當り平均生産高は實付棉八百基瓦なり伯國棉花の纖維は北米産のものと同等なるも一ヘクタール當り生産高は遙かに大なり今セアラ州に付て見るに同州は一ヘクタール當り七百七十乃至一千封度なるに對しテキサス州にては八百四十七封度ミシシッピ州にては六百六十二封度セント・カロリナ州にては三百六十三封度なり又同州の栽培法に據るものはナイル河流域地方に於ける九百四十六乃至千八百四十封度に對し千九百八十封度を生産す輒近伯國內に集約的棉花栽培の目的を以て英國系會社の設立せらるゝもの多く就中スフレート・エンド・ゼネラル・デベロプメント會社及スタンブランテーション會社の分身たるブラジル・プランテーション・シンデケートの事業は將來大いに囑目せられ既にパラナ州及サン・パウロの兩州に於て約四萬ヘクタールの棉作地を

購入せり。

伯國は其の面積、地味、氣候等の點より見て棉花栽培に好適なる環境に在るの理由に依り曾て北米の或大學教授は「世界棉花市場に於ける北米の地位は聽て伯國覺醒の曉一朝の夢と化するに至るべし」と述べ又先年リオ・デ・ジャネイロ市に於て開催せられたる國際棉花會議に於て英國代表は「今後伯國が棉花の大量生産を爲すに於ては英國のみにも毎年百萬捆二千萬磅の買上げをなすべし」と述べ居り伯國政府も亦棉花の栽培、獎勵に關し特別の考慮を加へつゝあるを以て伯國棉花の將來曠目すべきものあり。

棉糸紡績業は伯國最古の工業の一に屬し着々發達の道を辿りつゝあり。

伯國に於ける紡績工場數左の如し。

州 別	工場數	州 別	工場數
アラゴアス	一一	ミナス・ジ・セラエス	九三
バイーア	一六	パラナ	四
セアラ	二二	パラナíba	一四
聯邦區	二二	ハルナンブ	一五
エスピリト・サント	二二	ピヤウイ	一
マラニオン	一〇	リオ・デ・ジャネイロ	二五

リオ・グランデ・ド・スール	四	セルジペ	一〇
サンタ・カタリナ	二二	合計	三五四
サン・パウロ	一〇一		
投資額合計	六四、四九三、三五一	織機	七五、六三一
年生産數量	六九五、〇六三、八二六	伯國紡績工場に於て使用スル原料棉花數量	一〇五、八八七
就業労働者數	一一五、〇〇〇	(一九二八年中)	
紡錘數	二五、二八、六一		

伯國政府は其生産棉花に對し嚴密なる試験を行ひ纖維の長短及品質の上下に従ひ之を左の通り類別し商業上品質の統一を圖れり。

纖維の長短に依る類別左の如し。

- 第一種（短纖維）長サ二十二乃至二十八耗の纖維を有するもの
- 第二種（中間纖維）長サ二十九乃至三十四耗の纖維を有するもの
- 第三種（長纖維）長サ三十四耗以上の纖維を有するもの

品質に依る類別左の如し。

- 第一種品 優等品 (Type 1. Superior)
- 第二種品 上等品 (Type 3. Bom)

伯國棉花生產分布圖

■=1,000 噸

第五種品 標準品 (Type 5. Common & Base)
第七種品 並品 (Type 7. Softivel)
第九種品 下等品 (Type 9. Ordinary)

三二

第五種品	標準品	(Type 5. Common Base)
第七種品	並品	(Type 7. Softfival)
第九種品	下等品	(Type 9. Ordinary)

三、

0183

調一0723

伯國棉花生產輸出及消費數量表

年次	生産高(町)	輸出高(町)	消費高(町)
一九〇〇—一九〇一年	四二、七六四、四〇〇	一一、七六四、〇〇〇	三〇、三九九、〇〇〇
一九〇一—一九〇二年	七二、三一、八八八	一三、二六二、〇〇〇	五八、〇四九、〇〇〇
一九〇二—一九〇三年	七三、三四三、〇七六	一一、一〇〇、〇〇〇	一四、九四三、〇〇〇
一九〇三—一九〇四年	一〇〇、七八〇、三七二	三〇、四三四、〇〇〇	七〇、三四六、〇〇〇
一九〇四—一九〇五年	九八、八四八、四八五	一一、一五三、〇〇〇	八七、六九五、〇〇〇
一九〇五—一九〇六年	一三〇、四二二、一〇〇	三〇、六三五、〇〇〇	九九、七八六、〇〇〇
一九〇六—一九〇七年	一〇四、九一〇、〇〇〇	一六、六八七、〇〇〇	八八、二二三、〇〇〇
一九〇七—一九〇八年	一〇九、五〇五、〇〇〇	一二、七六四、〇〇〇	九六、七四一、〇〇〇
一九〇八—一九〇九年	一一三、八八一、〇〇〇	一〇、六八〇、〇〇〇	一〇三、二〇一、〇〇〇

伯國棉花作付面積表

年次	面積(ヘクタール)
一九二一—一九二二年	四七九、三六〇
一九二二—一九二三年	六二一、九四五
一九二三—一九二四年	六二七、五二二
一九二四—一九二五年	六三六、八〇八

一九二八—一九二九年伯國棉花州別生産數量表 單位(キログラム)

三三

伯國州別アルファ生産數量表

州別	一九二六年數量	一九二七年數量	一九二八年數量	一九二九年數量
サン・パウロ	一七、〇〇〇〇〇	二一、二〇〇〇〇	二一、〇〇〇〇〇	二一、〇〇〇〇〇
パラナ	二、二〇〇〇〇	二、二九二〇〇	二、一〇〇〇〇	二、一〇〇〇〇
サンタ・カタリナ	六、〇〇〇〇〇	一〇、二〇〇〇〇	一〇、五〇〇〇〇	一〇、五〇〇〇〇
リオ・グランド・スール	二、〇〇〇〇〇	二、五二四〇〇	一、六四〇〇〇	一、六四〇〇〇
マト・グロソ	三、〇〇〇〇〇	三、二〇〇〇〇	二、〇〇〇〇〇	二、〇〇〇〇〇

(三) 落花生

現今伯國に栽培せらるる落花生は同國原生植物にして地下落花生 (Arachis hypogaea) 及蔓生落花生 (Arachis Prostrata) の二種類あり共に製油及バター製造の原料に用ひらる。

伯國落花生生産數量及價額左の如し。

年次	數量	價額
一九二二年	五五、九〇五	二、一五六三
一九二三年	二〇、七五三	一、二四三、一四八
一九二四年	一九、七四二	一、四三〇、六三
一九二五年	八八、四五五	四九、五一六
一九二六年	八、〇〇〇	四、四〇四

(四) 米

年次	數量	價額
一九二七年	七六五、〇二〇	三九八、八七〇
一九二八年	二七、四一五	一五、一四八
一九二九年	一〇七、七六二	四八、六八六

伯國の氣候及土壤は殆ど其全土に互り米作に適するを以て近年米作大いに發展し殊にサン・パウロ及リオ・グランデ・ド・スール兩州には灌溉法其他優秀なる技術を應用したる組織的大米作の完備するありて一九二九年伯國米産額は百九萬八千四百七十噸此の價額五億四千九百二十三萬五千ミルreisなりサン・パウロ州に於て最も多く栽培せらるる米種はドウラド (黄金種) にして其他アグーリヤ、カッテテ、イグアペありリオ・グランデ・ド・スール州に於てはジャボネザ、オリジナリア、マズルカ、ラウギノ及アグラ種栽培せらるる伯國米の最大需要國はアルゼンチンなり一ヘクター當り平均生産高は二千五百乃至三千五百基瓦にしてサン・フランシスコ河沿岸並同湖沼地帯に於ては收穫高更に大なり。

伯國輸出米數量及價額は左表の如し。

年次	數量 (噸)	價額 (ミルreis)
一九二二年	三七、八六五	二、一五〇、五九四〇
		三七

伯國州別米生産數量は左表の如し(一九二九年)			
州別	數量(噸)	州別	數量(噸)
アマゾンナス	一、二〇〇	バイーア	一〇、七〇〇
パラニョシ	一、二四四	エスピリト・サント	一、二九〇
マラニョシ	四〇、三九〇	リオ・デ・ジャネイロ	一、二八五
セアラウイ	三〇、〇〇〇	サン・パウロ	三六、〇〇〇
セアラウイ	一八、〇〇〇	パラナ	一三、七〇〇
リオ・グランデ・ド・ノルテ	一、二〇〇	サンタ・カタリナ	二〇、八五〇
パラナ	一〇、七八〇	リオ・グランデ・ド・スール	二六、四〇〇
ハルナンブ	三三〇	ミナス・ジェリス	一五六、一〇〇
アラゴアス	九〇〇〇	ゴヤース	九〇、〇〇〇
セルジッ	三五〇〇〇	マト・グロソ	九、四六〇
合計	一、二四〇	合計	一、〇九八、四七〇

伯國米生産數量及價額は左表の如し。			
年次	數量(噸)	價額(ミルreis)	
一九二一年	六三八、〇〇〇	三二八、一三二、〇〇〇	
一九二二年	七三〇、〇〇〇	二〇四、八四〇、〇〇〇	
一九二三年	八五九、〇〇〇	三〇〇、〇六七、〇〇〇	
一九二四年	七六九、〇〇〇	三〇七、七四四、〇〇〇	
一九二五年	七二八、二四	四三六、八七四、〇〇〇	
一九二六年	六七八、八六五	四〇七、三一九、〇〇〇	
一九二七年	六八二、六七四	四七三、八七一、〇〇〇	
一九二八年	八九四、七一	六二六、二九七、〇〇〇	
一九二九年	一、〇九八、四七〇	五四九、二三五、〇〇〇	

(五) 燕 麥			
州別	一九二七年數量	一九二八年數量	一九二九年數量
パラナ	九〇〇、〇〇〇	九五〇、〇〇〇	八五五、〇〇〇
サンタ・カタリナ	一二八、〇〇〇	二二三、〇〇〇	四五一、〇〇〇
合計	三九		

燕麥は伯國南部に於て良く生育し食用並獸畜飼料として廣く使用せらる。

伯國燕麥生産數量は左表の如し

リオ・グランデ・ド・スール 三、八〇〇、〇〇〇 五、四三〇、〇〇〇 四〇 五、九七〇、〇〇〇

燕麥伯國輸入數量は左表の如し。

年次	數量(噸)	年次	數量(噸)
一九二三年	三三、一二二	一九二七年	五二、七〇一
一九二四年	二九、七一六	一九二八年	五〇、三二九
一九二五年	二九、〇八四	一九二九年	四〇、三六九
一九二六年	五〇、九六四		

(六) ババースー胡桃

ババースー胡桃樹はアマゾナス州に産する棕櫚科植物中最大なるものにして其果房長さ十センチ徑五センチに及ぶ楕圓形果實約四百個を生ず其成熟期は七月より十一月なり果實は極めて堅靱なる骨様の外殻に蔽はれ内部に全重量の九パーセントに相當する三個乃至五個の長楕圓形の果肉ありて之より六十八パーセントの淡琥珀色の油を搾取す。

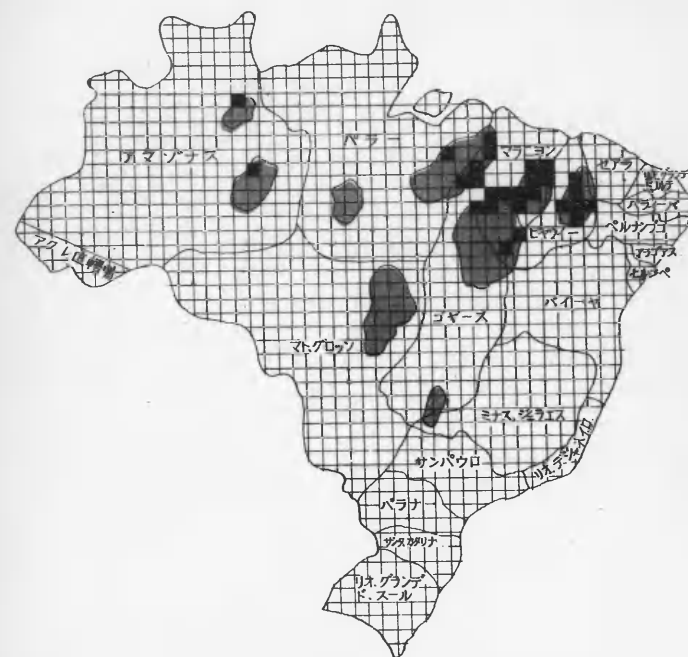
ババースー樹はビヤウイ、マラニオン、バラ、マトグロッソ及ゴヤース等の各州に互り大森林をなして繁生し、石鹼香油及其他化粧品製造原料及食用としてオリブ油に代用せらる。

又燃料としては石油に優るものとして愛用せられ更にババースー・バターは牛酪と何等遜色なく其需要も亦頗る大なり需要國は獨逸、白耳義、丁抹、英吉利及和蘭等なり。



「ババースー」椰子樹

伯國ババスー胡桃果生産分布圖



■ = 1,000 頃

伯國ババスー胡桃果主要生産州
(一九二八年)

マウロ

バイア

伯國バスー胡桃果輸出數量及價額は左の如し。

年次	數量 (斤)	價額 (ミルレ)
一九二四年	一八、三三〇、〇〇〇	一九、四〇〇、〇〇〇
一九二五年	一〇、九〇九、〇〇〇	一〇、九七〇、〇〇〇
一九二六年	二二、六八七、〇〇〇	一八、一四六、〇〇〇
一九二七年	二五、九七七、二四五	二四、〇〇三、〇〇〇
一九二八年	一九、二六六、〇七六	二〇、四〇九、〇〇〇
一九二九年	八、七〇〇、八〇九	六、一〇九、四九三

州別バスー胡桃果生産數量は左の如し。

州別	一九二八―二九年 數量 (斤)	一九二七―二八年 數量 (斤)	一九二六―二七年 數量 (斤)	一九二五―二六年 數量 (斤)
マラニオン	一九、二八二、〇〇〇	一九、二七二、〇〇〇	一九、二六二、〇〇〇	一九、二五二、〇〇〇
ピアウイ	五、六〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇、〇〇〇	一八、〇〇〇、〇〇〇
パイーヤ	六、四〇〇	—	一九、〇〇〇、〇〇〇	一八、五〇〇、〇〇〇

(七) 馬鈴薯

馬鈴薯の主要生産州はバラナ、リオ・グランデ・ド・スール、ミナス・ジェライス、サン・パウロ、サンタ・カタリナ及びリオ・デ・ジャネイロの諸州にして白色品と紫色品とに二大別せられ白色のも

の特に多産せらる。普通一ヘクター當り産出高は一萬基瓦にして往々二萬基瓦を産出することもある。伯國主要農産物の一なり。

馬鈴薯主要生産州並生産數量は左表の如し。

州 別	一九二八—二九年 數 (噸)	一九二七—二八年 數 (噸)	一九二六—二七年 數 (噸)	一九二五—二六年 數 (噸)
巴拉イパー	二、〇〇〇	一、一〇九	三、五〇	三、四〇
エスピリト・サント	一三六	六八	六五	六〇
リオ・デ・ジャネイロ	八、四九〇	九、五八二	一〇、三三二	一一、〇〇〇
サン・パウロ	五七、〇〇〇	六二、一〇〇	五四、〇〇〇	七三、二四二
パラナ	四四、〇〇〇	四二、六五四	四二、五三五	七二、〇七九
サンタ・カタリナ	七、六九五	七、五二八	六、五〇〇	八、五三七
リオ・グランデ	一〇六、八〇〇	八六、五一六	一一〇、〇〇〇	一一八、〇〇〇
ド・スール	二、八〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	二、四三〇
ゴヤース	五二	六〇	四〇	八五
マト・グロソ	一九、六四〇			
ミナス・ジェリス				

馬鈴薯生産數量は左表の如し。

年 次	數 (噸)	價 額 (ミレ)
一九二二年	二八、三三〇	一一四、五四〇、〇〇〇

伯國に於ける馬鈴薯輸出並輸入數量は左表の如し。

年 次	輸 出 數 (噸)	輸 入 數 (噸)
一九二三年	二〇八、四〇八	一〇四、二〇四、〇〇〇
一九二四年	二四一、〇三八	二四一、〇三八、〇〇〇
一九二五年	二二二、二〇〇	一五〇、九三〇、〇〇〇
一九二六年	二九二、八一三	一六一、〇四七、〇〇〇
一九二七年	二七〇、〇七七	一三五、〇一三、〇〇〇
一九二八年	二二七、五六七	一一三、七八三、〇〇〇
一九二九年	二四八、六一三	一七四、〇二九、〇〇〇
一九二一年	四九六、〇五〇	二、一八〇、一一一
一九二二年	九一〇、七〇	二、五五三、六三四
一九二三	三二、一八〇	一、六一四、三三四
一九二四年	二〇、三六	四一、七九四、四二二
一九二五年	四六、〇七六	一三、五〇五、二一八
一九二六年	一、一三〇	四三、二〇〇、〇〇〇
一九二七年	二、七〇〇	三五、七六四、〇三九
一九二八年	六四二	二七、八三四、〇九二
一九二九年	一、六五〇	四〇、四九二、〇〇三

馬鈴薯主要生産國は左表の如し。

國別	數	量(百萬)
ドイッ	三七五、五〇一、〇九〇	三三、〇九一、六六三
ポーランド	三一七、五八〇、六三〇	二六、六四四、〇五九
フランス	一七五、二六九、一八〇	二四、八二三、八〇六
北米合衆國	一〇九、四四八、八七二	二四、五〇〇、〇〇〇
チエコスロヴァキア	九一、〇九二、六二七	二一、〇七二、八八四
イングラント	四九、八八八、一七六	二〇、四八七、七二
スペイン	三七、一〇〇、五九五	一九、四五三、〇〇〇

伯國馬鈴薯輸入數量は左表の如し。

年次	數	量(噸)	價	額(コント)
一九一三年	二九、八〇〇	四、四〇九	二、一〇六	一、〇九〇
一九一五年	八、七五七	二、一〇六	一、三二四	一、七八一
一九一六年	四、五四一	一、一六四	六三九	四八〇
一九一七年	一、一六四	四四二	二五二	一七八一
一九一八年	四四二	一、一五三	七五〇五	二、一八〇
一九一九年	一、一五三	七五〇五	二、一八〇	
一九二〇年	七五〇五	二、一八〇		
一九二一年	二、一八〇			

一九二七—二八年伯國に於ける馬鈴薯輸入國別は左表の如し。

國別	一九二七年	一九二八年
ドイッ	二五、五三三	一、三三三
ポーランド	一、六一四	九三二
フランス	四、七四九	一、三六二
北米合衆國	一、三五〇五	五、四二二
チエコスロヴァキア	四三、二一〇	一五、六五七
イングラント	三、五七六	一三、〇五三
スペイン	二、七八三	一、四五六
	四〇、四九二	一五、八五〇

四五

オランダ	二〇二、〇七五	四六
イタリヤ	九五〇、九六八	五八四、六四〇
ポルトガル	一、八六一、四三〇	
サルバドル	四、〇七〇、九二六	五九、六七五
合計	三五、七六三、九四九	二七、八三四、〇九二

(八) ワニラ

ワニラ(華尼雨拉)は蘭科植物に属し伯國に於てはマト・グロッソ、アマジナス、バラー及バ
イヤー等の諸州の高温濕潤地帯の森林中に生育するも其生産量未だ大ならず其果實は芳香を有し
香料及藥劑の原料に用ひらる。

伯國ワニラ輸出數量左表の如し。

年次	數量	年次	數量
一九二三年	九六	一九二七年	八二
一九二四年	八八	一九二八年	
一九二五年	五五	一九二九年	
一九二六年			

(九) 護謨

伯國には護謨樹の種類多數あるも大戟科植物に属する所謂バラー護謨種(前名 Hevea Brasili-
ensis)最も多數にして且有名なりバラ護謨樹はアマゾン河流域熱帶地方即ちアマジナス、バラ
ー、マトグロッソ、ビヤウイ、ゴヤース、マラニョン及アクレ直轄州等に繁生し其面積百萬平方哩
即ち全歐洲の半に及び其高さ二十五米乃至三十米、直径六〇センチ乃至一米一五センチに達する
大樹にして護謨の品質優良なる上多量護謨を含有するも之が南洋方面に移植せられ同地方に於て
栽培護謨として大量生産の行はるる今日伯國護謨は昔日の如く隆盛ならざるも伯國は將來護謨生
産國として大いに注目せられつつあり。

伯國護謨生産數量及價額左表の如し。

年次	數量	價額(ミルレ)
一九二一年	六〇、八五二	九七、三七八、〇〇〇
一九二二年	二四、八五一	七五、五五三、〇〇〇
一九二三年	一九、五六八	三八、七〇四、〇〇〇
一九二四年	二一、〇〇〇	六三、〇〇〇、〇〇〇
一九二五年	二五、〇〇〇	八七、五〇〇、〇〇〇
一九二六年	二九、三五〇	九二、二二五、〇〇〇
一九二七年	二二、四一〇	六七、二三〇、〇〇〇

四七

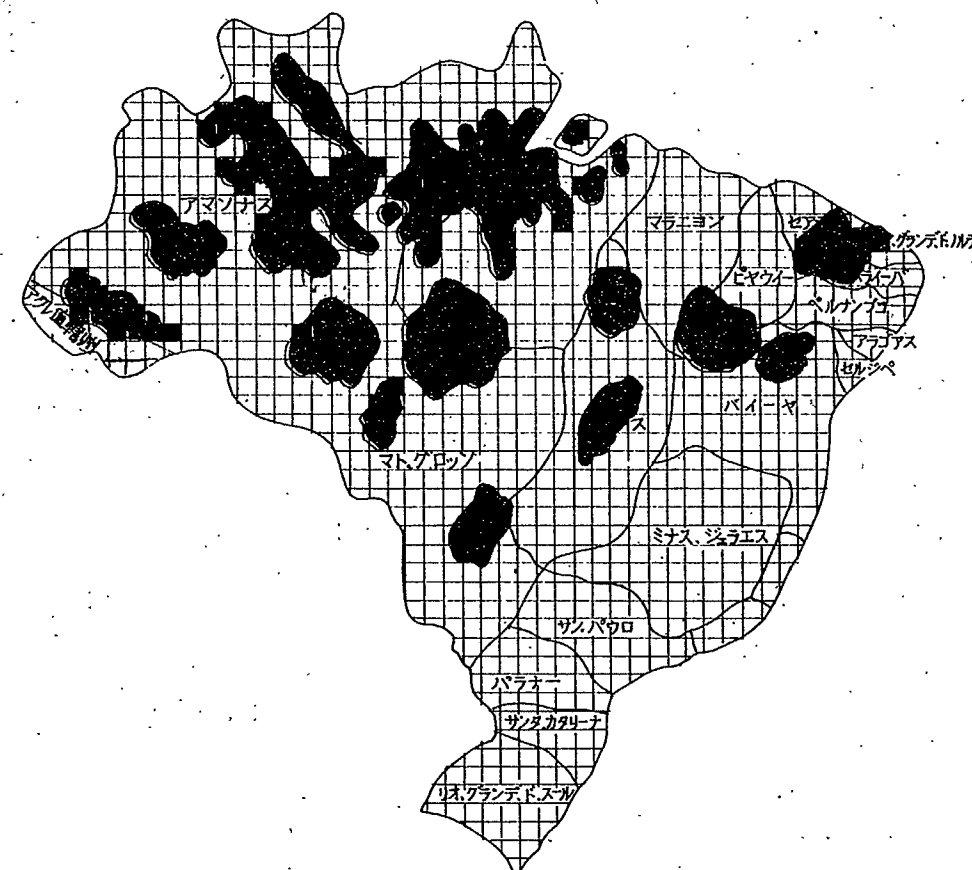


「ヒバ」護謨樹

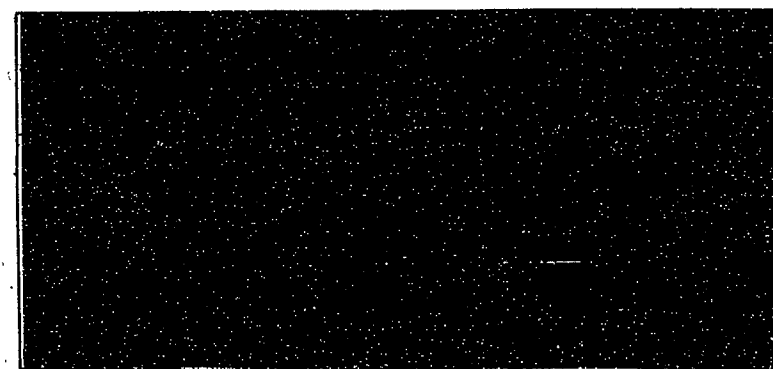
伯國護謨輸出數量左表の如し。

年次	數	價
一九二八年	二七、八七六	六九、六九〇、〇〇〇
一九二九年	一九、八六〇	六一、一四〇、三九
一九二二年	一八、八五五	四八、七五九、八四二
一九二三年	一七、九九五	八一、一七七、一四三
一九二四年	二一、五六七	七九、二二、四七四
一九二五年	二三、五三六	一九、八〇三、三二七
一九二六年	二三、二五三	一一四、八七六、八〇一
一九二七年	二六、一六一	一一五、〇〇八、一二三
一九二八年	一八、八二六	五八、九九八、八五八
一九二九年	一九、八六〇	六一、一四〇、三九

伯國護謨生産分布圖



■=1,000 噸



Map of the Iberian Peninsula and surrounding regions, showing the distribution of various linguistic groups. The map is divided into numerous small, irregularly shaped areas, each labeled with a name in Japanese characters. These labels represent different linguistic groups or dialects. The map is oriented with North at the top. The regions shown include the Iberian Peninsula, the Balearic Islands, and parts of France and Italy. The labels are written in a mix of kanji and katakana, often with a small circle around the name. The map is a black and white line drawing with a grid-like pattern of lines separating the regions.

■=1,000噸

伯國護謄主要生産州	
(一九三六—三八年度)	
バカラス	
バニー	
マトロンソ	
アグニ蘇州	
セアラ	

伯國に於ける護謨生産州別左表の如し。

州 別	一九二八―二九年 數 (担)	一九二七―二八年 數 (担)	一九二六―二七年 數 (担)	一九二五―二六年 數 (担)
アマゾンナス	一〇、四〇〇	一七、二七六	八、五〇〇	八、二〇〇
パ ラ	二、五七〇	三、四〇〇	一〇、一〇〇	一〇、〇〇〇
セ ア	—	—	六、五〇〇	六、〇〇〇
リオ・グランデ・ド・ノルテ	—	—	一、六〇〇	一、五〇〇
マト・ジ・ロッシ	一、二〇〇	—	三、〇〇〇	五、〇〇〇
アクレ直轄	五、七〇〇	七、二〇〇	—	—
合 計	一九、八七〇	二七、八七六	二三、四一〇	二九、三五〇

(三) カカオ

カカオの原料たるココア樹はアマゾン河流域の原生植物にして其種類五、六種あり同河の支流地帯特にマテラ河流域地方に野生するもハイヤ州に於てはココアの栽培せらるゝもの頗る多し、一果實中に平均三、四十個の果粒を生じ一基瓦のカカオを得るには二十三乃至二十四個の果實を要し千本のココア樹より約千基瓦のカカオを得。

ハイヤ州に於けるココア栽培面積十六萬七千六百三十五ヘクタール栽培樹數は一億一千六百四十五萬八千四百四本なり。

カカオ生産主要國及生産狀況左の如し(一九二八年調)

國 別	袋 數(六〇斤入)	世界總生産高に對する割合
アツクラ	三、七三三、三〇〇	四五・〇%
伯 國	一、二九三、三三三	一五・〇%
ニゼリヤ	八三一、四五〇	一・〇%
トリニダード	四三六、六五〇	五・三%
グアヤキル	三二一、六六〇	三八%
ビスドミンゴス	三二五、二〇〇	三八%
グエネスエラ	二八四、七〇〇	三四%

伯國カカオ生産高			
年次	数量(噸)	年次	数量(噸)
一九二一年	六、一〇五、二〇〇	一九二六年	五、一七、〇〇〇
一九二二年	四、一六七、〇〇〇	一九二七年	六、九四八、〇〇〇
一九二三年	五、一九六、三〇〇	一九二八年	七、二二九、〇〇〇
一九二四年	六、九七〇、〇〇〇	一九二九年	七、九八六、〇〇〇
一九二五年	五、八二四、六六〇		
伯國カカオ輸出額			
年次	金額(ミルレイス)	年次	金額(ミルレイス)
一九二一年	六、八二八、〇七三	一九二六年	一〇三、六四四、三六八
一九二二年	九、三、三四、五三二	一九二七年	一八七、四一七、八九四
一九二三年	九、八、一七、三六五	一九二八年	一四八、九六六、四九五
一九二四年	九、九、八〇、一九〇	一九二九年	一〇四、九四三、八八〇
伯國カカオ生産高左表の如し。			
年次	数量(噸)	年次	数量(噸)
一九二一年	四、二八三、二三五	一九二六年	三九、九四八、〇〇〇
一九二二年		一九二七年	
一九二三年		一九二八年	
一九二四年		一九二九年	
一九二五年			
一九二六年			
一九二七年			
一九二八年			
一九二九年			
伯國に於けるカカオ生産高州別左表の如し。(一九二九年)			
州別	数量(噸)	州別	数量(噸)
パナイ	四、二七九、二二三	パナイ	四、二二〇、〇〇〇
エスピリト・サント	六、五、三二八、七五三	エスピリト・サント	六、三、五五二、〇〇〇
アマゾン	六、八、八七四、三八〇	アマゾン	六、六、九四五、〇〇〇
ラ	六、四、五二五、五一五	ラ	六、二、七一六、〇〇〇
イ	六、三、三二〇、二七八	イ	六、二、〇五五、八〇〇
	七、五、五四二、九八三		七、四、六九三、三一六
	七、二、三九七、六二一		七、〇、九〇三、五八五
	六、五、五五七、五四六		六、三、二〇三、七〇三
伯國カカオの輸出先(一九二八年)			
輸出先	数量(噸)	輸出先	数量(噸)
北米合衆國	三、九、五四六、九一〇	北米合衆國	三、九、五四六、九一〇
歐洲	一、二、〇五八、八二三	歐洲	一、二、〇五八、八二三
アフリカ	二、六〇〇	アフリカ	二、六〇〇
アジア	四、四〇〇	アジア	四、四〇〇
オセアニア	一、六、五〇〇	オセアニア	一、六、五〇〇
伯國輸出数量に對する割合			
輸出先	割合	輸出先	割合
北米合衆國	五八・〇%	北米合衆國	五八・〇%
歐洲	一九・九%	歐洲	一九・九%
アフリカ	〇・五%	アフリカ	〇・五%
アジア	〇・四%	アジア	〇・四%
オセアニア	一・二%	オセアニア	一・二%



「ココア」樹及「ココア」

合	其	コ	ペ	デ	ス	イ	アル	フ	オ	ド
計	他	ロ	ル	ン	エ	タ	ゼ	ラ	ラ	イ
		ン	ギ	マ	デ	リ	ン	ン	ン	ッ
		ビ	ア	ク	ン	ン	ス	ダ		

八、二四六、二九〇
四、八九三、九〇八
四、六六五、六四八
四、二四四、四三九
二、二九七、一〇〇
一、四二七、一〇〇
一、三六六、〇二〇
一、〇三三、二六七
一、三二二、三七五
三、三六三、九三四
七二、三九七、六二一
一、二〇六、五七七

五四
一一・〇%
六・五%
六・二%
五・六%
三・〇%
一・七%
一・五%
一・三%
一・二%
四・〇%

(二) 珈 琲

珈琲は伯國産業の大宗を占め伯國に於ける珈琲樹數二十七億本餘に上り此の植付面積二百四十
三萬ヘクタールなり。主としてサン・パウロ、ミナス・ジェラス、リオ・デ・ジャネイロ、エスピリト・
サント、バイーヤ、パラナ及ベルナンブゴの諸州に栽培せらる。

珈琲樹は阿弗利加エチオピアの原生植物なるが一七三三年初めて伯國に移植せられたるものに
して伯國の地味氣候等珈琲の栽培に好適し現今伯國は世界最大の珈琲生産國として世界珈琲消費
額の三分の二を供給す。一九二九年中伯國珈琲の輸出額は二十七億ミルreis 餘に上り伯國總輸
出額の約七割を占め珈琲生産の良不良は直に伯國の經濟延びて財政に影響するの重要性を有す。
現今サン・パウロ州に於て栽培せらるる珈琲の種類左の如し。

クレオロ (Creolo) ンルボン (Bourbon) マラニョ (Maragipio) アンレロ (Amarello) ン
カッ (Batuca) シアザア (Java) 及ムルタ (Murta)

伯國珈琲樹現存數左表の如し (一九二九年六月現在)

州 別	樹 數	伯國珈琲樹總數 に對する割合	樹百本に對する平 均生産高 (一アロ バ) (五町) アロ バ
サン・パウロ	一、一八〇、九八三、〇〇〇*	四五・八%	五二

五五

ミナス・ジエラエス	六二、五七〇、〇〇〇	二四・一%	四五
エスセリト・サント	二七、九三九、八九九	九・二%	四六
リオ・デ・ジャネイロ	二七、四二九、〇二七	一〇・八%	三五
パナイ	七、二〇六、〇〇〇	二・八%	六〇
バルナシブコ	六六、〇八二、六〇〇	二・五%	一九
パラナ	三三、六七二、〇〇〇	一・三%	一五〇
其他	九二、二〇〇、〇〇〇	三・五%	一
合 計	二、五七九、八五八、七四六	一〇〇・〇%	

世界珈琲生産高及伯國珈琲生産高對照左表の如し (單位六〇斤入千袋)

年 次	伯 國	其他の諸國	合 計
一八八八—八九九	七〇、一五	三、八一九	一〇、八三四
一八八九—九〇年	四、四八二	四、二一五	八、六九七
一八九〇—九一年	五、五九二	四、七九〇	一〇、三八二
一八九一—九二年	七、五〇五	四、四二七	一一、九三二
一八九二—九三年	六、六六一	四、五七四	一一、二三五
一八九三—九四年	六、二六九	四、三一	一〇、五八〇
一八九四—九五年	七、二四二	四、二五七	一一、四九九
一八九五—九六年	六、〇〇七	四、五四六	一〇、五五三

五六

一八九六—九七年	九二、九八	四、六五一	一三、九四九
一八九七—九八年	一一、三七三	四、八四〇	一六、〇五三
一八九八—九九年	九、四四七	四、四〇五	一三、八五二
一八九九—〇〇年	九、五六四	四、三八〇	一三、九四四
一九〇〇—〇一年	一一、三七三	三、七八八	一五、一六一
一九〇一—〇二年	一六、二八三	三、六四六	一九、九二九
一九〇二—〇三年	一一、九九四	四、四九九	一七、四九三
一九〇三—〇四年	一一、一九三	四、六二八	一五、八二一
一九〇四—〇五年	一〇、五九七	三、八二〇	一四、四一七
一九〇五—〇六年	一一、〇五五	三、四八〇	一四、五三五
一九〇六—〇七年	二〇、四〇九	三、七二八	二四、一三七
一九〇七—〇八年	一一、三四九	三、四八二	一四、八三一
一九〇八—〇九年	一三、〇三九	三、五二七	一六、五六六
一九〇九—一〇年	一五、四四〇	三、五三〇	一八、九七〇
一九一〇—一一年	一〇、九四五	三、七八〇	一四、七二五
一九一一—一二年	一三、一一五	四、四四六	一七、五六一
一九一二—一三年	一一、一一一	四、二六五	一六、三七六
一九一三—一四年	一四、四二五	五、二八四	一九、七〇九

五七

伯國輸出總額と珈琲輸出額とを比較すれば左表の如し。									
年次	輸出	總額	輸出	總額	輸出	總額	輸出	總額	輸出
一九二〇年	一、七五二、四二一〇〇〇	一〇七、五二一、〇〇〇	一、七五二、四二一〇〇〇	一〇七、五二一、〇〇〇	一九二〇年	一、七五二、四二一〇〇〇	一〇七、五二一、〇〇〇	一九二〇年	一、七五二、四二一〇〇〇
一九二一年	一、七〇九、七三二〇〇〇	五八、五八七、〇〇〇	一、七〇九、七三二〇〇〇	五八、五八七、〇〇〇	一九二一年	一、七〇九、七三二〇〇〇	五八、五八七、〇〇〇	一九二一年	一、七〇九、七三二〇〇〇
一九二二年	二、三三二、〇八四〇〇〇	六八、五七八、〇〇〇	二、三三二、〇八四〇〇〇	六八、五七八、〇〇〇	一九二二年	二、三三二、〇八四〇〇〇	六八、五七八、〇〇〇	一九二二年	二、三三二、〇八四〇〇〇
一九二三年	三、二九七、〇三三〇〇〇	七三、一八四、〇〇〇	三、二九七、〇三三〇〇〇	七三、一八四、〇〇〇	一九二三年	三、二九七、〇三三〇〇〇	七三、一八四、〇〇〇	一九二三年	三、二九七、〇三三〇〇〇
一九二四年	三、八六三、五五四〇〇〇	九五、一〇三、〇〇〇	三、八六三、五五四〇〇〇	九五、一〇三、〇〇〇	一九二四年	三、八六三、五五四〇〇〇	九五、一〇三、〇〇〇	一九二四年	三、八六三、五五四〇〇〇
一九二五年	四、〇二一、九六一〇〇〇	一〇二、八七五、〇〇〇	四、〇二一、九六一〇〇〇	一〇二、八七五、〇〇〇	一九二五年	四、〇二一、九六一〇〇〇	一〇二、八七五、〇〇〇	一九二五年	四、〇二一、九六一〇〇〇
一九二六年	三、一九〇、五五九〇〇〇	九四、二五四、〇〇〇	三、一九〇、五五九〇〇〇	九四、二五四、〇〇〇	一九二六年	三、一九〇、五五九〇〇〇	九四、二五四、〇〇〇	一九二六年	三、一九〇、五五九〇〇〇
一九二七年	三、六四四、一八〇〇〇	八八、六八九、〇〇〇	三、六四四、一八〇〇〇	八八、六八九、〇〇〇	一九二七年	三、六四四、一八〇〇〇	八八、六八九、〇〇〇	一九二七年	三、六四四、一八〇〇〇
一九二八年	三、九七〇、二七三〇〇〇	九七、四二六、〇〇〇	三、九七〇、二七三〇〇〇	九七、四二六、〇〇〇	一九二八年	三、九七〇、二七三〇〇〇	九七、四二六、〇〇〇	一九二八年	三、九七〇、二七三〇〇〇
一九二九年	三、八六〇、四八一〇〇〇	九四、八三四、〇〇〇	三、八六〇、四八一〇〇〇	九四、八三四、〇〇〇	一九二九年	三、八六〇、四八一〇〇〇	九四、八三四、〇〇〇	一九二九年	三、八六〇、四八一〇〇〇
一九二八—二九年に於ける伯國珈琲輸出量價額及仕向地別左表の如し。									
伯國輸出總額と珈琲輸出額とを比較すれば左表の如し。									
仕向地別	一九二九年	一九二八年	一九二九年	一九二八年	一九二九年	一九二八年	一九二九年	一九二八年	一九二九年
アルゼンチン	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一九二九年	一、九二九、九二九	一九二八年	一、九二八、八八八	一九二九年
ブラジル	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一九二九年	一、九二九、九二九	一九二八年	一、九二八、八八八	一九二九年
ペルー	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一九二九年	一、九二九、九二九	一九二八年	一、九二八、八八八	一九二九年
エクアドル	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一九二九年	一、九二九、九二九	一九二八年	一、九二八、八八八	一九二九年
コロンビア	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一九二九年	一、九二九、九二九	一九二八年	一、九二八、八八八	一九二九年
ベネズエラ	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一九二九年	一、九二九、九二九	一九二八年	一、九二八、八八八	一九二九年
キューバ	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一九二九年	一、九二九、九二九	一九二八年	一、九二八、八八八	一九二九年
メキシコ	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一九二九年	一、九二九、九二九	一九二八年	一、九二八、八八八	一九二九年
セント・ペウル	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一九二九年	一、九二九、九二九	一九二八年	一、九二八、八八八	一九二九年
英領南アフリカ	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一九二九年	一、九二九、九二九	一九二八年	一、九二八、八八八	一九二九年
タンザニア	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一九二九年	一、九二九、九二九	一九二八年	一、九二八、八八八	一九二九年
トリニダード	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一九二九年	一、九二九、九二九	一九二八年	一、九二八、八八八	一九二九年
チニス	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一、九二九、九二九	一、九二八、八八八	一九二九年	一、九二九、九二九	一九二八年	一、九二八、八八八	一九二九年

年次	世界消費高	伯國消費高 (世界消費高ト割合)	其他ノ諸國消費高 (世界消費高ト割合)
一九二〇—二一年	一八、四六二、〇〇〇	二、四三六、〇〇〇 (一三、二%)	六、〇二六、〇〇〇 (三二、七%)
一九二一—二二年	一九、七七一、〇〇〇	二、八六四、〇〇〇 (一四、五%)	六、八五三、〇〇〇 (三四、八%)
一九二二—二三年	一九、一六二、〇〇〇	二、九五九、〇〇〇 (一三、五%)	六、二三四、〇〇〇 (三二、四%)

國別	樹數	國別	樹數
伯國	二、五七九、八五八、七四六	メキシコ	八〇、〇〇〇、〇〇〇
コロンビア	三〇、〇〇〇、〇〇〇	ハイチ	六三、六〇〇、〇〇〇
グエネズエラ	一三三、〇〇〇、〇〇〇	ボルト・リコ	五四、六〇〇、〇〇〇
エクアドル	七、六八〇、〇〇〇	ジャマイカ	八、〇〇〇、〇〇〇
開領ギヤナ	四、四四〇、〇〇〇	サント・ドミンゴ	六、〇〇〇、〇〇〇
英領ギヤナ	八一八、四〇〇	キューバ	二七、二四〇、〇〇〇
パナマ	三、六〇〇、〇〇〇	開領東印度	一二九、二四〇
グアテマラ	七五、二五〇、〇〇〇	英領印度	二五、〇〇〇、〇〇〇
サルヴァドル	七二、〇〇〇、〇〇〇	アンゴラ	一四、四〇〇、〇〇〇
コスタリカ	三二、〇〇〇、〇〇〇	英領東アフリカ	二八、二七五、〇〇〇
ニカラガア	二七、九六〇、〇〇〇	マダガスカル	二〇、〇八二、六九九
ホンジュラス	五、四〇〇、〇〇〇		

年次	世界消費高	伯國消費高 (世界消費高ト割合)	其他ノ諸國消費高 (世界消費高ト割合)
一九二三—二四年	二二、〇三六、〇〇〇	一五、三三二、〇〇〇 (六九、五%)	六、七〇四、〇〇〇 (三〇、五%)
一九二四—二五年	二〇、五〇六、〇〇〇	一三、六八二、〇〇〇 (六六、七%)	六、八二四、〇〇〇 (三三、三%)
一九二五—二六年	二一、七〇五、〇〇〇	一四、五六五、〇〇〇 (六七、二%)	七、一四〇、〇〇〇 (三二、九%)
一九二六—二七年	二二、二九八、〇〇〇	一四、二七六、〇〇〇 (六四、一%)	七、〇二二、〇〇〇 (三一、五%)
一九二七—二八年	二三、五三六、〇〇〇	一五、七六六、〇〇〇 (六六、九%)	七、七七〇、〇〇〇 (三三、一%)
一九二八—二九年	二二、四七九、六〇七	不詳	不詳



珈 琲 花 及 珈 琲 果

伯國珈琲生産分布圖

■ = 500,000 袋

(三) ブラジル・ナッツ

ブラジル・ナッツはアマゾン河流域地方に繁生せる大樹に生ずる栗状の果實にして果肉は食料に供せらるゝ外良質の食用油を含み製菓原料として多量に北米及歐洲諸國に輸出せらる。
ブラジル・ナッツの生産量左の如し。

年次	量(立)	年次	量(立)
一九二〇年	一九、六六八、〇〇〇	一九二五年	三三、〇〇二、八〇〇
一九二一年	五〇、〇六〇、七七〇	一九二六年	六九、八九七、三〇〇
一九二二年	六七、八二三、九〇〇	一九二七年	七二、一八〇、〇〇〇
一九二三年	四六、四三二、六〇〇	一九二八年	七五、四六〇、〇〇〇
一九二四年	七二、二二〇、六〇〇	一九二九年	四三、二〇〇、〇〇〇

ブラジル・ナッツ輸出量及價額左表の如し。

年次	量(立)	價額(ミルreis)
一九二一年	二二、一四八、六三一	二五、八八九、九六四
一九二二年	三四、五七五、五八三	三七、七七一、一九五
一九二三年	二二、四四三、一〇三	四五、一〇三、〇九五
一九二四年	三五、四三七、一三二	六二、四五八、二三九
一九二五年	一六、〇七九、二二〇	三九、九七一、一〇三
一九二六年	三四、〇四六、二九九	三二、七〇一、〇三六

六九



「ブラジル・ナッツ」樹

一九二七年
一九二八年
一九二九年

一五、二七五、一四五
二〇、六六六、一六二
三二、二四六、二〇〇

二八、七三三、八八一
三八、〇九七、三九五
三七、二六、一六五

セ

(三) カルナウバ

カルナウバは學名を *Copernicia cerifera* と稱し棕櫚樹の一種にして主としてリオ・グランデ・ド・ノルテ、バラ、バライバ、ビヤウイ、ベルナンブコ、セアラ、ゴヤース及マト・グロソンの諸州等の廣大なる地域に互り繁生し其高さ六十呎に達す。

樹幹は建築用材に用ひられ新芽はバルミトと稱して恰も我竹の子の如く食用に供せられ葉は扇、帽子、バスケット、簾、屋根葺材料其他原料として用途廣く葉柄は漁網製造原料に供せらるゝもカルナウバの經濟的價值として重要なものは其葉より抽出せらるゝ蠟なり蠟は毎年八月乃至九月又は自二月至三月の二回に互り採取せらる。毎八十本に付十五基瓦の蠟を得。

カルナウバ蠟輸出額は左表の如し。

年次	數量 (担)	價額 (ミレイス)
一九二二年	五、〇〇四、六四八	一四、一三八、二九二
一九二三年	四、三三二、二七二	一四、〇一四、九〇三
一九二四年	四、九九一、八〇一	一六、五七八、〇七〇
一九二五年	五、一四、五九二	一九、七六九、六二〇
一九二六年	五、七六八、〇〇〇	二三、四五六、〇二五



「カルナウバ」樹

一九二七年
一九二八年
一九二九年

七、〇三、五二〇
六、九八〇、七六二
六、四三二、六八六

三、一、六五六、七六四
二八、六二四、八五七
二四、七六五、八六四

七二

(四) 裸 麥

裸麥は小麥に酷似し北歐に於ては小麥の代用として栽培せらる伯國に於ても獨逸及波蘭人の如き北歐人の多く住居する南部三州には裸麥の栽培盛にして之を原料とする所謂黒パンは之等植民者間に大に賞味せらる。裸麥は小麥に比し栽培容易なる上收穫期も早く其貯藏力大なる等の理由に依り經濟的價值極めて大なる穀類なり。

裸麥產出高左表の如し。

州 別	一九二七年 數 量 (噸)	一九二八年 數 量 (噸)	一九二九年 數 量 (噸)
パ ラ ナ ー	六、二五九、〇〇〇	六、七六九、〇〇〇	六、六〇〇、〇〇〇
サンタ・カタリナ	四、七〇〇、〇〇〇	二、三六〇、〇〇〇	二、二五一、〇〇〇
リサ・カランダ・ド・スール	三、〇〇〇、〇〇〇	二、五三八、〇〇〇	六、七〇〇、〇〇〇

(五) 大 麥

伯國に於て大麥の栽培せらるはパラナー、サンタ・カタリナ及リオ・グランデ・ド・スールの三州に過ぎず其生産高最近の調査に依れば一千萬キログラムにして其麥芽は内國ビール醸造の需要を充すに足らず年々外國より之が輸入を仰ぎつゝある状態なり。

伯國に於ける大麥生産額左表の如し。

州別	一九二六—二七年 數(斤)	一九二七—二八年 數(斤)	一九二八—二九年 數(斤)
パラナ	一〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	九三,〇〇〇
サンタカタリナ	一七八,〇〇〇	一二七,〇〇〇	一三二,〇〇〇
リオグランド・スール	五〇〇,〇〇〇	七九二,〇〇〇	八七〇,〇〇〇

麥芽の伯國輸入量左の如し。

年次	數(斤)	年次	數(斤)
一九二二年	一二,〇六一,三八三	一九二六年	一九,三七三,二八一
一九二三年	一四,六七七,二九七	一九二七年	一八,五四二,八九九
一九二四年	一七,〇二八,三九七	一九二八年	二二,八六三,九五五
一九二五年	二〇,六九六,四〇五	一九二九年	二四,九七二,〇〇六

大麥の伯國輸入量左表の如し。

年次	數(斤)	年次	數(斤)
一九二二年	四一六,四八八	一九二六年	二一四,二二九
一九二三年	六四四,一四九	一九二七年	五九九,四二一
一九二四年	二一六,二五六	一九二八年	一八八,二八一
一九二五年	六一二,八四	一九二九年	一〇三,一八一

(六) 茶

伯國に於ける茶の栽培は今尙幼稚なるもミナス・ジェラエス、サン・パウロ、パラナ及びリオ・

グランデ・ド・スールの諸州は良く茶の栽培に適し將來の發展を期待せらる就中ミナス・ジェラエス州のオーロ・プレイト及サンタ・バルバラの兩郡は茶の生産地として名あるも伯國生産茶は全部國內の消費に充てられ未だ輸出品として經濟上重要な地位を占むるに至らずと雖も近來茶の需要増加し價格も昇騰しつつあるを以て伯國に於ける茶の栽培は將來有望視せられ新栽培は逐日隆昌に赴きつつあり今ミナス・ジェラエス州に於ける茶の栽培狀況を示せば左の如し。

所在地	樹數	年生産高 キログラム
パロン・デ・カマルゴ農業學校	六〇,〇〇〇	一五〇〇
イトコロミー茶園	同上	六〇,〇〇〇
テゾレイロ茶園	同上	二〇,〇〇〇
クレオウロス茶園	同上	一五〇〇
ロドリゴ・シルヴァ茶園	同上	一五〇〇
ドン・エルヴァシオ茶園	同上	一五〇〇
マリアナ郡	同上	一五〇〇

伯國に於ける茶の輸入額左表の如し。

年次	数 量(噸)	價 額(磅)	價 額(ミルレイ)
一九二一年	五四六九〇	一九、一六四	五五〇、八四六
一九二二年	二一三、二七二	六三、二八九	二、一七七、〇〇七
一九二三年	一九六、二一九	五四、七六一	二、四三六、五三八
一九二四年	二五五、六八二	八二、二五五	三、三五五、五五〇
一九二五年	一八九、七五三	六四、六九八	二、五六五、三九八
一九二六年	二二三、六二二	八二、一五七	二、七七四、一五
一九二七年	二四五、二二三	八五、六九五	三、五二〇、一五五
一九二八年	二四九、六六五	八九、一七二	三、六三四、一七七
一九二九年	二七七、七二五	九五、四五〇	三、八一八、九六七

(七) バイヤー・コナツ

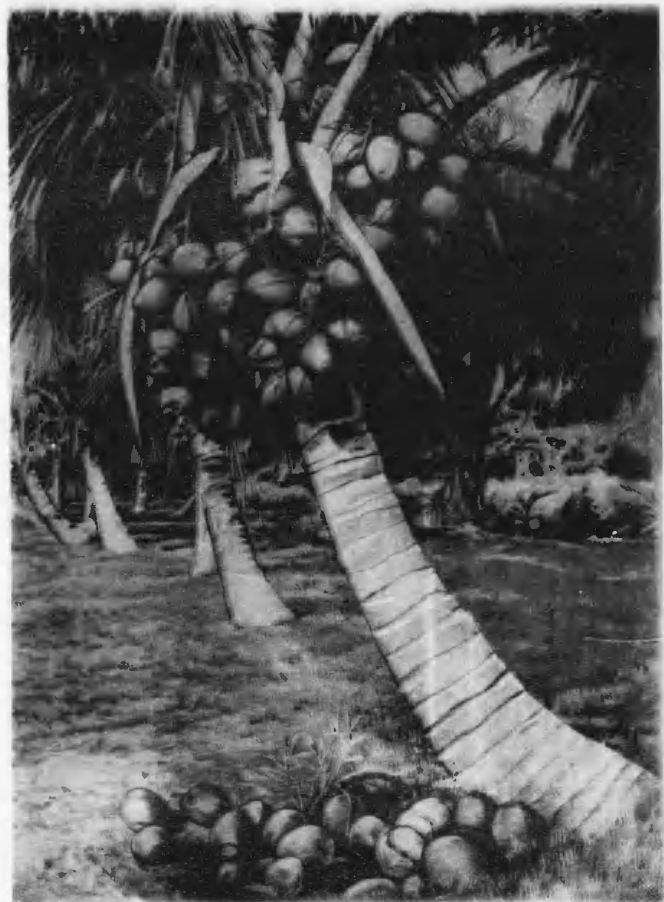
バイヤー・コナツハ棕櫚科に属する植物にしてブラー州よりリオ・デ・ジャネイロ州に至る海岸地帯に繁茂し伯國經濟上重要な地位を占む近年ココ椰子の需要逐日増加し來り殊に油及バター製造原料として需要極めて大なりココ椰子バターは動物性バターより品質優良にして英吉利、和蘭、白耳義及獨逸の歐洲諸國に大なる需要を有す。コナツ油はステアリア (Stearin) オレイン (Olein) 液體の二成分に分解せられ石鹼、蠟燭、機械油等の製造に使用せらるバイヤー産コナツ

ツ一個より平均百九十一瓦のコブラを得之を亞細亞産コナツの平均六十一瓦なるに比し約二割の多量のコブラを含み又バイヤー産コナツ果よりは其果實の六十三パーセントに相當する油を搾取し得るに反し亞細亞産コナツよりは五十四パーセントを搾取し得るに過ぎず之等の點より見てバイヤー・コナツは將來重要な國伯産業の一として大に矚目せらる。

伯國コナツ州別生産高左表の如し。

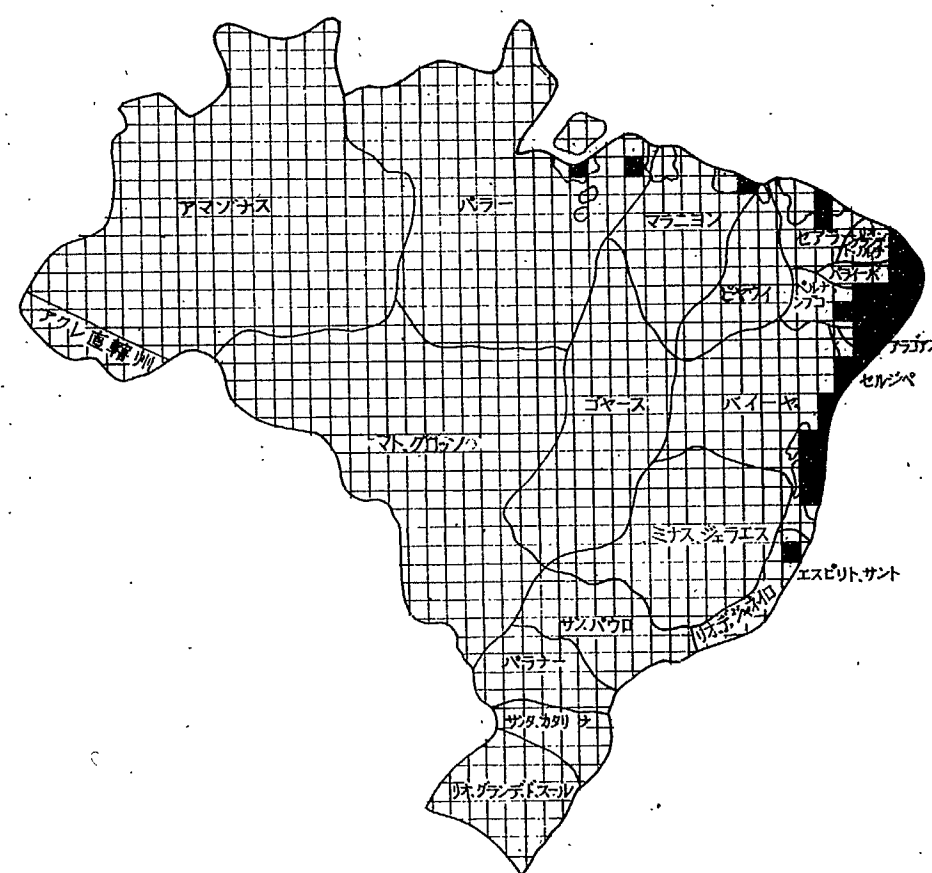
州 別	一九二六—二七年 数 量(噸)	一九二七—二八年 数 量(噸)	一九二八—二九年 数 量(噸)
パ ラ	八九、〇〇〇	九六、〇〇〇	八二五、〇〇〇
セ ア	五、五〇〇〇〇	五、五〇〇〇〇	五、五五〇、〇〇〇
リオ・ラテン・ド・ノルテ	一一五、〇〇〇	二八、〇〇〇〇〇	三、四〇〇、〇〇〇
パライバ	一九、〇〇〇〇〇	一六、九〇〇〇〇	七二〇、〇〇〇
ヘルナンデス	一八、七四〇、〇〇〇	二二、五〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
アラゴアス	二〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
セルジペ	五、〇〇〇、〇〇〇	二二、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
バイヤー	二〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
エスピリト・サント	三五、〇〇〇	三五、〇〇〇	八九、四〇〇
マラニオン	—	—	一、一七八、〇〇〇

七七



「パイヤ・ココナツ」樹及其果實

「パイヤ」 「ココナツ」 生産分布圖



■ = 50,000本

(六) フェイジョン豆

フェイジョン豆は其種類数種あるも伯國に於て主として栽培せらるるものはムラティニ^ニ及ブレ
トの二種なり年二回に互り收穫せらる價格比較的低廉にして營養價值極めて多く且伯國人の嗜好
に適するを以て各階級を通じ常食とす其生産年額約五億八千萬基瓦にして伯國農産物中に重要な
る地位を占む。

伯國に於けるフェイジョン豆栽培地面積左の如し。

州 別	面積(ヘクタール)	州 別	面積(ヘクタール)
サン・パウロ	七八、〇〇〇	マラニョン	三、八〇〇
リオ・グランデ・ド・スール	四二、〇〇〇	パラナイバ	二、〇〇〇
ミナス・ジェライス	三五、〇〇〇	リオ・グランデ・ド・ノルテ	二、〇〇〇
パラナ	一四、〇〇〇	アラゴアス	二、〇〇〇
セア	一二、〇〇〇	ペルナンブコ	二、〇〇〇
バイーア	一一、〇〇〇	ピアウイ	一、八四八
ゴヤス	七、〇〇〇	セルシペ	一、六〇〇
リオ・デ・ジャネイロ	四、〇〇〇	パラ	一、〇〇〇
サンタ・カタリナ	三、〇〇〇	マト・グロソ	八〇六
アマゾン	三、〇〇〇	エスピリト・サント	六〇〇

フェイジョン豆輸出額左表の如し。

年次	數	價額(ミレイス)
一九二二年	一六、七二三	九二、〇一〇〇〇
一九二三年	七〇四、六八二	三八三、一八三、〇〇〇
一九二四年	一一七、六一七	一〇三、二九四、〇〇〇
一九二五年	九四、〇二一	一一九、三六六、〇〇〇
一九二六年	八三、四四〇	六七四、七七七、〇〇〇
一九二七年	八三、七九五	四八、三三二、〇〇〇
一九二八年	五三、二九〇	六四、二九九、〇〇〇
一九二九年	四二、八六一	三九、四〇八、〇〇〇

フエイジョン豆州別生産高左表の如し。

州別	一九二八年 數	一九二九年 數
サン・パウロ	二二八、〇〇〇	一九五、三〇〇
リオ・グランデ・ド・スール	一〇三、九三七	一八七、〇〇〇
ミナス・ジエラエス	五〇、〇八〇	八三、七二〇
パラナ	三五、二六七	三六、三〇〇
セアラ	一四、二五〇	三五、七〇〇

州別	一九二八年 數	一九二九年 數
バイーヤ	二六、五九二	四二、八七〇
ゴヤー	二八、〇〇〇	三〇、〇〇〇
リオ・デ・ジャネイロ	一一〇、六六	九六、六〇
サンタ・カタリナ	一五、四三五	一六、一〇〇
アマゾン	四一三	三〇〇
パラナ	七、四五七	一〇、五〇〇
リオ・グランデ・ド・ノルテ	三、五〇九	七、〇〇〇
アラゴアス	九、四六〇	一〇、〇〇〇
ペルナンブーコ	四八、六四	五八、〇〇
ピアウイ	二〇、〇〇	四〇、〇〇
セルジペ	一〇、八〇	一一、〇〇〇
パラ	五九六	五六〇
マト・グロソ	三、四二八	二、二八〇
エスピリト・サント	三、〇〇〇	三、八五〇
マラニョン	一、一三六	一、九八〇
アクレ直轄州	—	一、〇三〇

(九) 煙草
 伯國煙草年産高は六千萬基瓦以上に及び北米、露西亞に次ぎ世界最大の煙草生産國なり全國到

る處煙草栽培に適し殊にバネーヤ、リオ・グランデ・ド・スール及サン・パウロの三州は多量に良質の煙草を生産すバネーヤ州産のものは特に有名なり。

伯國に於ける煙草生産状況を左に表記せん。

年次	數	價額(ミルレイス)
一九二一年	八六、六三二、〇〇〇	一二九、九五〇、〇〇〇
一九二二年	七九、七七一、〇〇〇	一五九、四三三、〇〇〇
一九二三年	七〇、八九六、〇〇〇	一七七、〇四一、〇〇〇
一九二四年	六二、六一一、〇〇〇	二二五、一四〇、〇〇〇
一九二五年	五九、一〇八、五四〇	二四八、二五五、〇〇〇
一九二六年	六三、三三九、〇〇〇	二五八、〇二九、〇〇〇
一九二七年	六五、二七五、〇〇〇	四六七、九三二、〇〇〇
一九二八年	六九、四二七、〇〇〇	二五六、八七九、〇〇〇
一九二九年	一〇八、四二二、〇〇〇	三二五、二三六、〇〇〇
伯國煙草輸出額左表の如し。		
年次	數	價額(ミルレイス)
一九一五年	二六、八九四	二二、三〇〇、〇〇〇
一九一六年	二二、〇二一	二九、八八九、〇〇〇

伯國全體とバネーヤ州との煙草輸出額を比較すれば左表の如し。

年次	伯國全體	バネーヤ州
一九二七年	二五、二八二	二二、三六五、〇〇〇
一九二八年	一九、〇一〇	四〇、一六〇、〇〇〇
一九二九年	四二、五七五	六九、九三六、〇〇〇
一九三〇年	三〇、五六一	三九、一八五、〇〇〇
一九三一年	三二、一六〇	五二、九二五、〇〇〇
一九三二年	四四、七〇八	四八、一二五、〇〇〇
一九三三年	三五、八〇五	五六、〇三二、〇〇〇
一九三四年	二八、四四九	七一、〇一九、〇〇〇
一九三五年	三五、一三八	九〇、一二七、〇〇〇
一九三六年	二七、九六九、二八八	六六、六六九、四二五
一九三七年	三一、八八五、一四七	七〇、六三三、九二二
一九三八年	二九、六〇七、六八五	六九、六六〇、二八三
一九三九年	三五、五三一、四一六	六七、三〇〇、九一六
伯國全體とバネーヤ州との煙草輸出額を比較すれば左表の如し。		
年次	伯國全體	バネーヤ州
一九二一年	三二、一六〇	二七、七四六
一九二二年	四四、七〇八	三九、九七五

伯國煙草の輸出先國別左表の如し。

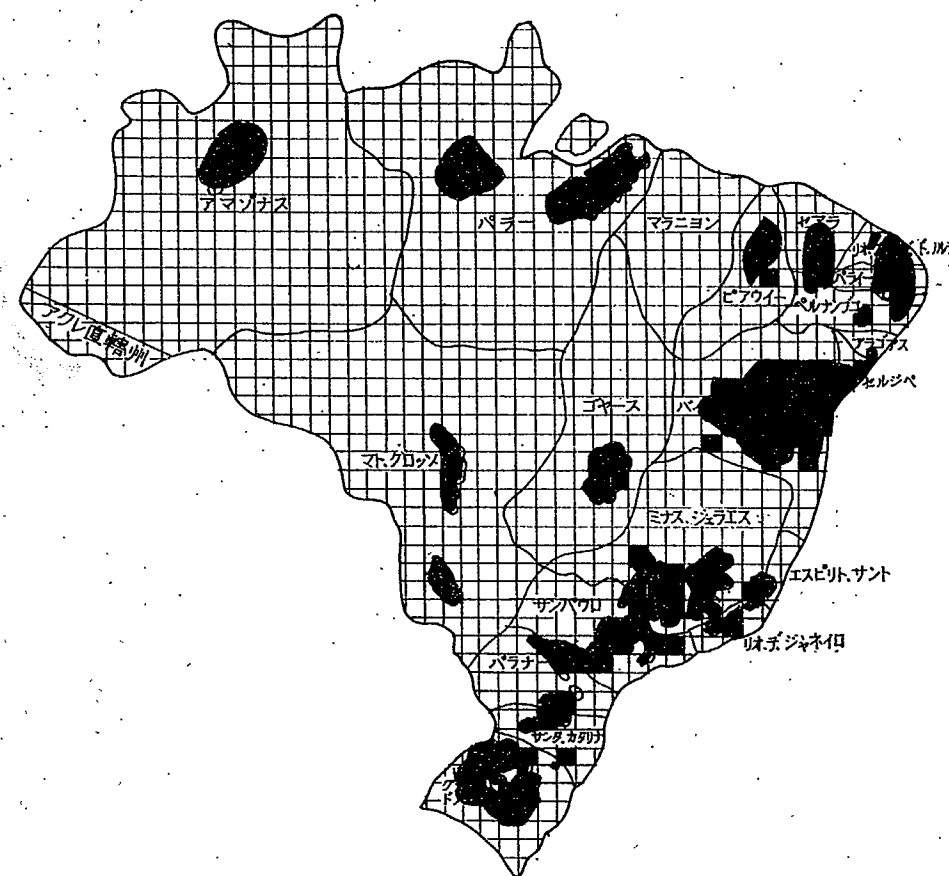
國別	一九二七年	一九二八年	一九二七年	一九二八年
ドイッ	一、九二七、三〇九	一、一五八、八四八	二五、八七一、一一九	二五、六三五、七九八
アルゼンチン	八、〇九六、六〇五	七、〇六四、九九七	一七、七〇〇、八一八	一六、〇四一、二八三
オランダ	五、二七二、〇〇八	五、〇八二、九〇一	一〇、九五九、九〇二	一一、七四四、六一七
スペイン	二、一〇七、五〇五	八七八、〇二六	四、六〇二、七九〇	二、〇二六、八七八
ウルグワイ	一、八八〇、一六二	二、三五八、七九七	五、八四五、六〇二	六、八九九、八一三
ペルギー	九一五、五〇〇	五二五、七九八	一、七三五、一四六	一、二四五、五五六
イタリー	七六七、八四一	一、〇一八、〇三二	一、七三八、三九二	二、五六七、九二五
スウェーデン	三八九、四三九	二五二、七八八	八六六、四五三	五九六、九二七
伯國煙草の輸出先國別左表の如し。				
一九二七年	三、五八〇、五	五、〇三二、〇〇〇	三二、八〇七	五〇、一五八、〇〇〇
一九二四年	二、八四四、九	七、一〇九、〇〇〇	二五、三九一	六四、二二二、〇〇〇
一九二五年	三、五一一、三八	九、〇二七、〇〇〇	三二、九三四	八五、〇六〇、〇〇〇
一九二六年	二、七八九、八	六、五七四、〇〇〇	二二、三九五	五五、三四三、〇〇〇
一九二七年	三、一八八、五	七、〇六三、五〇〇	三〇、三六六	六五、七九四、〇〇〇
一九二八年	二、九六〇、七	六、九六六、〇〇〇	二八、一八六	六四、二八一、〇〇〇
一九二九年	三、五五三、一	六、七三〇、〇〇〇	二六、七〇九	五五、九九八、〇〇〇

八四

イギリス	三、四〇〇、四四	二、二六、七六八	七、四〇、八八三	五、一七、四〇七
アルゼンチン	一、五一一、六二二	一、九八、〇八七	三三〇、一三七	四三、一、六九
デンマーク	七二、六二三		一、四八、四四二	
フランス	一、七、五〇〇		三三、二二七	
カナリヤ群島	九、一四八	七、四三、七五七	二、〇〇、五六	一、六九二、四〇一
ポルトガル	七、四二九	七〇四	一、五、八九七	一、五二二
シララルタル	五、七〇二	四、七七二	一、七、八四六	一、四、五二一
シララルタル	四、四〇〇	七二〇	九、七四二	一、八三三
コロンビア	二二〇		四八〇	
チリ		九、五、三〇〇		二、四二、六三四
合計	三、一八八、五四七	二、九六〇、七、六八五	七〇、六三五、九二二	六九、六六〇、二八三

八五

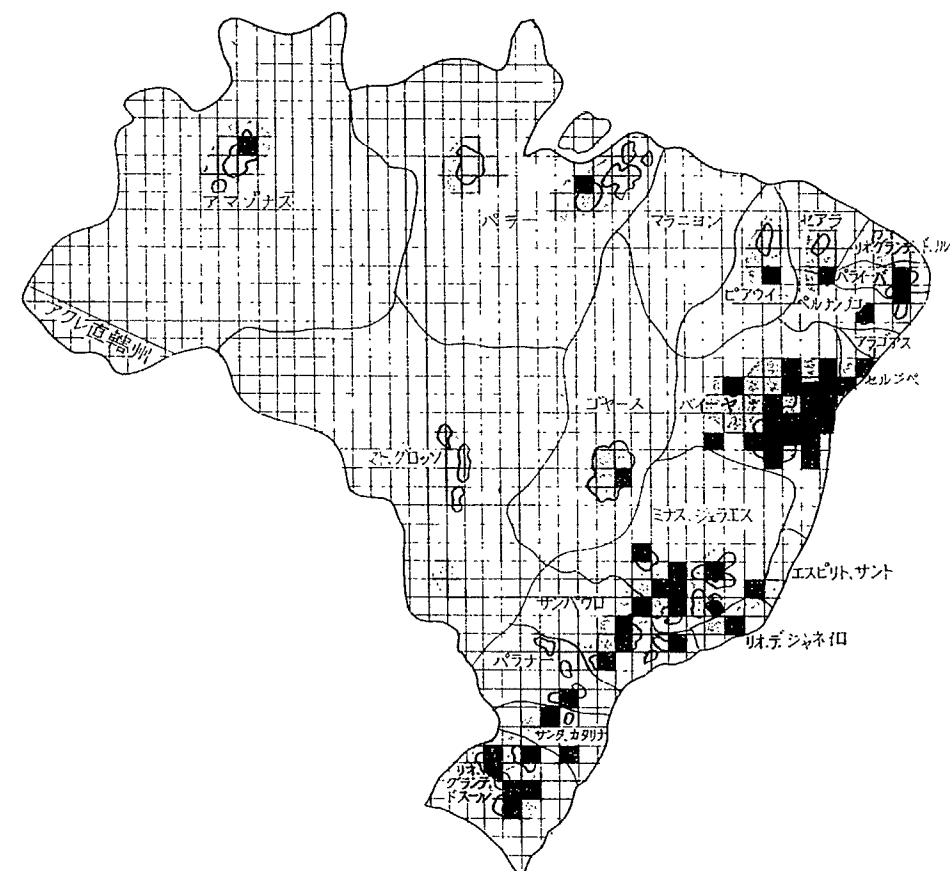
伯國煙草生産分布圖



■=2,000 噸

八五

伯國煙草生産分布圖



■=2,000 噸

(三) グアラナ

グアラナは伯國の原生植物にしてアマゾン河流域のマウエス、バレイリノノ、ボルバ及バレン
 ティンス地方に野生す果實は採取直後房付の儘水に浸し果肉を去り之を焙りて挽粉としパンス・
 デ・グアラナ (Pâte de Guaraná) の固形物を作り普通清涼飲料に使用する。多量にカフェインを含有
 するを以て強壯劑健胃劑として效力絶大なり伯國グアラナ年産額は約四十噸なり。
 伯國に於けるグアラナ輸出額は左表の如し。

年次	數 (噸)	價 (ミルレイス)
一九二二年	一、三八三	一、三六九
一九二三	八、九七三	八、九七四
一九二四年	二、八九五	二、七三四
一九二五年	四、九四四	五、七二八
一九二六年	六、六一三	八、〇六二
一九二七年	五、四九七	六、八三三
一九二八年	七、四七三	一、一九四〇
一九二九年	一五、三六一	二五、八五三

(三) ジャリナ

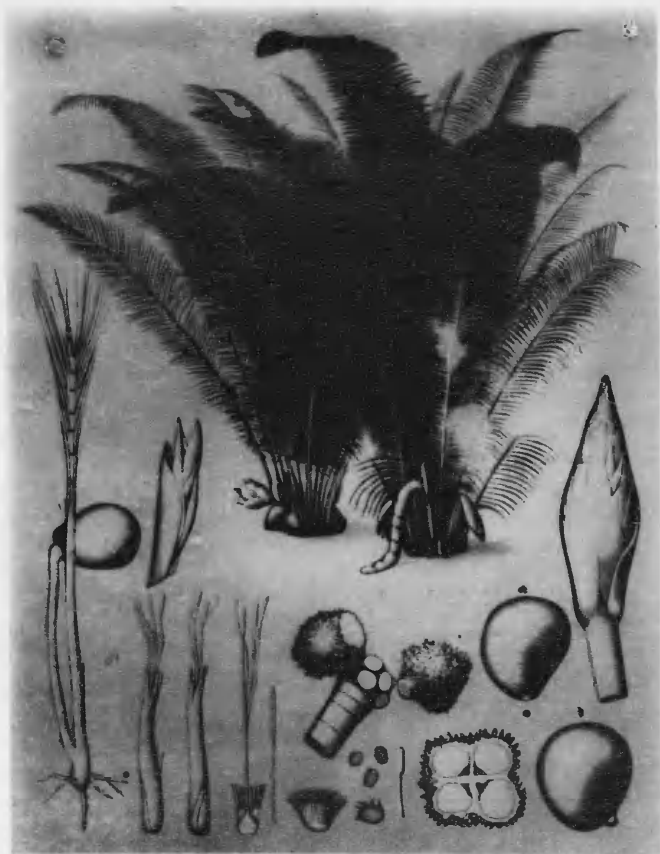
八七

八八

ジャリナは學名をフィテレファス・マクロカルバ (Phytelopus Macrocarpa) を稱する棕櫚科植物にして其果實は角質より成り象牙に類似するを以て象牙椰子の名あり現今世界象牙の供給額漸次減少の傾向あるを以てジャリナは其代用品として將來大いに需要を増加すべく従て之が經濟上の價值も増大するに至るべし現にボタン製造原料として重要視せらるジャリナの生産地方はアマゾンナス州及アクレ直轄州なり。

伯國ジャリナ輸出額左表の如し。

年次	數 (キログラム)	價 (ミルreis)
一九二二年	七一、六八〇	一四、九三九
一九二三年	三三六、四二九	四二、八一
一九二四年	五八三、六六七	三〇、四九八
一九二五年	二六三、一九六	二〇、六五九
一九二六年	七二、六二五	五七、八三〇
一九二七年	一六、四五八	一三、一九
一九二八年	三〇、二七七	二一、三五九
一九二九年	一〇、〇〇五	二、五三一



「ジャリナ」、其果實及種子

(三) 唐 胡 麻 (マモナ)

唐胡麻(マモナ)は伯國到る處に栽培せられ之より生産する油は粘性力強く最優良なる機械油なり
鑛油に混すれば著しく減擦力を増進す又燈油に用ひらるゝ外カスター油として廣く藥劑、石鹼
製造、グリセリン油の代用、化粧品製造及染料として用途頗る廣く獨、白、北米、佛、英、亞、
伊及ウルグワイの諸國に輸出せらる。

マモナ及マモナ油輸出額は左表の如し。

年 次	マモナ 數 (噸)	マモナ油 數 (噸)	マモナ 價 (圓)	マモナ油 價 (圓)
一九二二年	四、七二〇、三五二	一九六、〇七三	二、一三八、一六八	二、四五、七四三
一九二三年	七、六七三、〇二四	一七、七五〇	五、二四〇、七六一	二五、七六三
一九二四年	一〇、七四八、三五三	五三、四五一	九、三八四、〇四〇	一二二、一九六
一九二五年	一八、一九一、四二二	一九七、二〇七	一四、〇三三、五四一	四二七、八八九
一九二六年	一四、五七五、三三〇	二六、五七八	七、八五八、九三九	四二、〇一〇
一九二七年	一五、九七五、二八四	三六、一九〇	八、一七九、九三九	五六、六九〇
一九二八年	八、三五一、九八七	三〇、七三九	四、七九九、八四六	七〇、〇三〇
一九二九年	二〇、六六三、三四六	一一、一八〇	一二、三二五、五二二	二四、三八五

(三) マンデオカ

九〇

マンデオカは一般にマニオクの名を以て知られ原名を Manihot utilisima と稱す伯國農産物中重要な地位を占め一九二九年の産出高九十萬噸此の價額三億五千八百萬ミルレイズに達せり。

伯國全國に互り到る處栽培可能なるも特にバイーヤ、リオグランデ・ド・スール、バラール、ペルナンブコ、ミナス・ジェラエス、リオ・デ・ジャネイロ及サン・パウロの諸州に於て盛に栽培せらるマニオクは之を根狀の儘或は澱粉として國民の常食用に供せらるゝの外各種工業特に白色織物工業に使用せられ其用途大なり。

伯國マニオク生産額左表の如し。

年次	數量 (噸)	價額 (ミルレイズ)
一九二一年	五七二、三〇七、〇〇〇	一一四、四六一、〇〇〇
一九二二年	七一八、五二〇、〇〇〇	一四一、七〇四、〇〇〇
一九二三年	六七三、一七〇、〇〇〇	一三四、六三四、〇〇〇
一九二四年	八一〇、三九六、〇〇〇	二四六、一一八、〇〇〇
一九二五年	七九六、四七四、九六五	三二八、五八九、九八六
一九二六年	八五九、七八〇、一〇〇	三四三、九一六、〇〇〇

一九二七年	八〇〇、三二七、〇〇〇	三三六、一三四、〇〇〇
一九二八年	九四三、八七七、〇〇〇	四七一、九三八、〇〇〇
一九二九年	八九五、五七六、〇〇〇	三五八、二七〇、〇〇〇

伯國マニオク澱粉輸出額左表の如し。

年次	數量 (噸)	價額 (ミルレイズ)
一九二二年	一一、三六六、七一四	三、七一〇、〇二二
一九二三年	一一、〇八四、四六三	四、六三八、六二二
一九二四年	四、五一六、四一五	二、一一七、七三二
一九二五年	七、八七九、六八〇	四、二六二、三〇二
一九二六年	五、〇二二、〇〇〇	二、二七三、五四二
一九二七年	四、八一七、〇六七	二、一八七、〇一七
一九二八年	四、六五六、六〇〇	二、〇八三、一一三
一九二九年	五、七七四、四四六	二、四七三、五三一

伯國産マニオク澱粉の主要需要國はアルゼンチン、佛蘭西、英吉利、葡萄牙及ウルグワイ等なり。

マニオク澱粉州別生産量左表の如し。

州別	一九二八年 數量 (噸)	一九二九年 數量 (噸)
アタレ直轄州	五、三〇〇	五、五〇〇

九一

アマゾンナス	四、五六五	九二
パ	三、三三五	四〇〇〇
マラニョ	五〇〇〇〇	三、九一〇
ビ	二、〇〇〇	四九、九〇〇
セ	八、二六八〇	三〇、八〇〇
リボ・グラデ・ド・ノルデ	八、二六八	七、一〇〇〇
パライーバ	七九、六九八	一、一六〇〇
ハルナムアコ	四三、七〇〇	一〇三、六〇〇
アラゴアス	四〇、〇〇〇	四八、〇〇〇
セルジ	七五、〇六〇	四五、〇〇〇
バ	九六、二四五	七五、一〇〇
エスピリト・サント	二、五〇〇	一三八、九二二
リオ・デ・ジャネイロ	五七、五三四	四、一〇〇
サン・パウロ	五〇、四〇〇	二八、六五〇
パ	一八、九七〇	五四、〇〇〇
サンタ・カタリナ	二二、八七五	一九、三八〇
リオ・グラデ・ド・スール	七二、〇〇〇	二二、六六三
ミナス・ジエラエス	四九、九九七	八六、四〇〇
		二八、三〇〇

ゴ	三〇、〇〇〇	三五、〇〇〇
マ	七七〇	八五〇
ト・グロソ	八四三、八九七	八九五、六七五
合		

(三) マテ茶

マテ茶は伯國南部地方バラナ、サンタ・カタリナ、マト・グロソ及リオ・グラデ・ド・スールの諸州に於て大量に野生し未だ組織的に栽培せらるゝに至らざるも伯國農産品中相當重要な地位を占め毎年約一億ミルレイスのマテ茶を海外に輸出し居れりマテ茶は芳香を有する飲料にして又強壯劑、充奮劑、利尿劑として效能ある外呼吸器強壯劑、心臟、神經、筋肉調節劑、健胃劑として效能あるを以て飲料品として好適のものなり。

伯國マテ茶輸出額左表の如し。

年次	數量	價額
一九二二年	八二、三四六、六〇三	五三、五七八、七五九
一九二三年	八七、六四七、七七六	五五、一一七、九六八
一九二四年	七八、七五〇、三二八	八七、九五二、五二八
一九二五年	八六、七五四、九五三	一〇七、五一七、五三〇
一九二六年	九二、六五七、〇〇〇	一一四、二一九、七七七
		九三

一九二七年 九、〇九二、一七二
 一九二八年 八八、一八〇、三一九
 一九二九年 八五、九二一、二七

伯國マテ茶輸出先は左表の如し。

國別	一九二七年 數量	一九二八年 數量	一九二七年 價額	一九二八年 價額
アルゼンチン	六八、八六九、九六一	六三、二五三、〇八二	八〇、八一、九九五	七九、一〇九、六二八
ウルグアイ	一七、五二四、三四九	一八、〇四八、五一一	二三、四一八、八〇一	二五、九四〇、〇四七
チリ	四、六四〇、三四八	六、六六四、二八四	五、六一三、一七八	九、五七七、三二四
ドミニカ	八、五七七	七三、四〇三	一一、三五四	一〇、五、六七四
イギリス	八四五	四〇、六八八	一、五九一	六五、四九八
北米合衆國	六、三二六	三四、四七九	九、六九七	四七、六〇七
フランス	一、八三九	二四、七七七	一六、三八五	三五、五一
イタリア	二八、〇八五	二五、〇一〇	二〇、六一五	三〇、七八六
スウェーデン	七、一六二	八、七三三	一〇、一四六	一二、五五一
ポルトガル	九四七	四〇、一一	一、五三八	五、八四八
シリア	二、三一六	三、〇六四	三、一二二	四、四九八
モロッコ	一	二九五	一	四四二

九四

ベルギー	一八四	二四八	
ポリヰイア	一八〇	二四三	
カナダ	二八四	三八三	
南亞弗利加聯邦	七六九	一一、一四三	
合計	九、〇九二、一七二	一〇、九、九二、四三九	一一、四、九三五、四一四
	一九二七年	一九二八年	一九二七年
精製品	四九、四二五、〇八三	四九、二三一、六五〇	六五、六八二、五一一
包裝品	四一、六六七、〇八九	三八、九四八、六六九	四四、二三八、九二七
合計	九、〇九二、一七二	八八、一八〇、三一九	一一、四、九三五、四一四

九五



「マテ」茶灌木

(五) 玉 蜀 黍

玉蜀黍栽培は全國に亘り廣く行はれ特に養豚業盛なる南部諸州に於て著し伯國は北米に亞ぐ玉蜀黍產田國として世界第二位にあり其栽培面積百五十萬ヘクタール年產出高四十五億基瓦以上に上り此の價額約十億ミルレイズに達し家畜糧秣に供せられ珈琲に亞ぐ伯國重要產物なり近時伯國政府は玉蜀黍の栽培及其改良に關し腐心しつつあり。

伯國玉蜀黍生産額左表の如し。

年 次	數 量 (噸)	價 額 (ミルレイズ)
一九二二年	四、五八六、九一四	六八八〇、三七〇〇〇
一九二三年	五、一三六、四六四	一〇、二七二、九二〇〇〇
一九二四年	四、五六六、〇九五	一二、四三三、四五〇〇〇
一九二五年	四、一〇八、二二一	一〇、二六八、二〇〇〇〇
一九二六年	四、二五、四八七	一〇、三一一、三七一〇〇
一九二七年	四、一七四、三〇一	一〇、八五三、一八〇〇〇
一九二八年	三、三八三、六二一	一〇、三一四、一三〇〇〇
一九二九年	四、七九七、四九三	九五九、四九八、六〇〇

伯國玉蜀黍州別生産高左の如し。

伯國玉蜀黍輸出額左表の如し。

年次	数量 (担)	価額 (ミレイス)
一九二二年	一二、七三三、六六八	二、六二八、九二九
一九二三年	三四、五七八、〇六五	八、八七四、四六七
一九二四年	三、八〇一、九五七	一一、八七、七九二
一九二五年	二、二七一、八七七	六、四四、〇六三
一九二六年	六、一九二三	一七、四六七
一九二七年	二、九六、六一〇	九一、三九〇

州別	数量 (担)	九八
リオ・グランデ・ド・スール	一二、〇九〇、〇〇〇	五、四〇〇、〇〇〇
サン・パウル	八、四〇〇、〇〇〇	四、四〇〇、〇〇〇
ミナス・ジェライス	四、二六三、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
パラナ	二、六二九、五〇〇	一、五七〇、〇〇〇
リオ・デ・ジャネイロ	二、六〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇
ゴヤス	一、三四〇、〇〇〇	一、二二〇、〇〇〇
サンタ・カタリナ	一、〇四〇、〇〇〇	六、一一〇
セアラー	八七、四一三	四、六一〇
パイイーヤ	六三、七七〇	五、三〇〇
エスピリト・サント		

伯國に於ける小麦の栽培は容易なるも未だ充分なる發達を見ず近年政府の奨励に依り其産出高漸次増加の傾向を示しつつあるも國內産出高は全國需要の五分の一に過ぎず毎年四億ミレイスに相當する小麦を輸入しつゝあり。

伯國に於ける小麦生産高左の如し。

年次	数量 (担)	一九二七—二八年	一九二八—二九年
一九二二年	二〇、一三二、五四五	一九、二七二、二八二	一九、二八二、二九二
一九二三年	八、九六七、九〇二	一九、二七二、二八二	一九、二八二、二九二
一九二四年		一九、二七二、二八二	一九、二八二、二九二
一九二五年		一九、二七二、二八二	一九、二八二、二九二

州別	数量 (担)	一九二七—二八年	一九二八—二九年
パイイーヤ	五、一六六、〇〇〇	六、四八六、〇〇〇	二、六五〇、〇〇〇
パラナ	二、一五〇、〇〇〇	二、八六〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
サンタ・カタリナ	一、三〇〇、〇〇〇	一、〇六七、七六〇	一、四二二、〇〇〇
リオ・グランデ・ド・スール			

一九二六年	二二一、三五六、三一二	一九二八年	二〇九、一五六、九九二
一九二七年	二〇四、一六七、三九〇	一九二九年	一六二、八七八、〇〇〇

伯國に於ける小麦穀粒輸入量左の如し。

年次	數	量(噸)	
一九二二年	四三六、三五八、三六八	一九二六年	五四二、六五七、九八二
一九二三年	四九七、三三二、九六四	一九二七年	五九五、五三六、九三八
一九二四年	五二五、八九六、八〇三	一九二八年	六九五、四〇七、一六四
一九二五年	五二一、五三、九〇〇	一九二九年	七四六、二四二、二七

伯國に對する小麦粉主要輸出國及其輸出量左の如し。

國別	數	量(噸)
アルゼンチン	八、九二八、五六五	一二、五三、一一九
北米合衆國	六八〇、二、四〇一	四〇、三八八
ブラジル	三七四、四四〇	一六二、八七七、九一三
合 計		

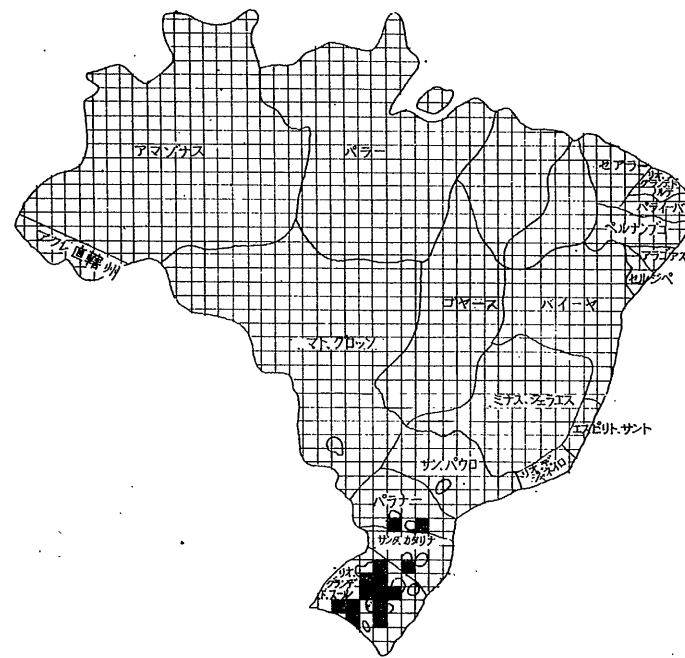
伯國に對する小麦穀粒主要輸出國及其輸出量左の如し。

國別	數	量(噸)
アルゼンチン	七二九、一七〇、七八四	一三、二九九、二五八
北米合衆國	四四二、五〇	四九九、二二七
合 計	三、三三〇、六〇八	七四六、二四二、二七

伯國輸入總額と小麦輸入額とを對比すれば左表を得。

年次	輸入總額 (噸)	小麦輸入額 (噸)	輸出總額に對する小麦輸入額ノ割合 (%)
一九二〇年	二、〇九〇、三六二	二二一、七七一	一〇、六%
一九二一年	一、六八九、八三九	二二六、七七八	一四、〇%
一九二二年	一、六五二、六三〇	二二七、七六二	一四、三%
一九二三年	二、二六七、一五九	二八八、五九五	一二、五%
一九二四年	二、七八九、五五七	三六二、八一六	一三、〇%
一九二五年	三、三七六、八三二	四三九、九五五	一三、〇%
一九二六年	二、七〇五、五五三	四〇七、五八七	一五、〇%
一九二七年	三、二七三、一六三	二九八、九五〇	九、一%
一九二八年	三、六九四、九九〇	三二二、六五八	八、七%
一九二九年	三、五二七、八三八	四一〇、八〇八	一一、六%

小麥生産分布圖



■ = 1,000 ไร่

(三) 果 物

伯國の氣候多樣にして従て果物の種類も極めて多く果物は重要な伯國富源の一をなす伯國諸州中果物栽培の盛なるはサン・パウロ、ミナス・ジェラス、バラナー及リオ・グランデ・ド・スール等なり近來國內に於ける果物消費高及國外輸出高漸増の傾向を示し伯國內に於て果樹園の創設せらるゝもの多し伯國輸出果物は之が貯藏方法等の宜しきを得ざる關係上現在に於てはオレンジ、バナナ及パイナップルに限られ居るも其他の果物にして輸出上適當なる方法を講ずるに於ては將來其の輸出の増大を見るに至るべし。

伯國に於けるオレンジ樹數及栽培面積左表の如し。

州 別	樹 數(本)	栽培面積(ヘクタール)
サン・パウロ	七、三六、〇〇〇	一八、〇七セ
リオ・デ・ジャネイロ	四、六〇、〇〇〇	一一、五〇〇
パイレーヤ	四、〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇
メルナンブゴ	二五、〇〇〇	六二
エスピリト・サント	四〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇
ミナス・ジェラス	一、四六五、〇〇〇	三、六六二
マト・グロソ	一四五、〇〇〇	三六〇

101

伯國に於ける食卓用果物の輸出額左表の如し。
 一九二八年 一八、九〇九、八〇〇
 一九二九年 一八、五〇五、〇〇〇
 四三、一四四、一四五
 四一、〇七三、〇〇〇

年次	数量 (担)	価額 (千円)
一九一八年	二、三、九八八、七五三	二、八二八、〇八一
一九一九年	二、三、三八三、九九九	二、七三二、八二〇
一九二〇年	四〇、九三〇、九一〇	四、四六一、四二〇
一九二一年	四〇、三三九、九〇五	五、一三五、七三四
一九二二年	五五、二二六、五七九	九、五八〇、八四三
一九二三年	六七、九五、三一八	一七、七四一、八八六
一九二四年	七〇、一七、二九五	二、一七四、〇五二
一九二五年	六五、八七八、二八三	一七、六、九六九
一九二六年	六九、六二、五二四	一七、〇六六、五二二
一九二七年	七六、六二八、五七五	一九、三八七、五四一
一九二八年	九六、三六三、六四七	二七、一三三、九七六
一九二九年	九九、八二五、五〇八	三七、四七六、二七一

食卓用果實種類別輸出货量左の如し。

種別	一九二八年 数量	一九二九年 数量
アパカテ	一、二七八、九五九	一、六七四、四六〇
パイナップル	五、三〇三、一五〇	五、八〇七、八五六
バナナ	二、一、〇〇〇	四五四、四七一
ブラジル胡桃	九八五、六五八	一、九四五
椰子	四九、八三〇	一、七八七、七三〇
オレング		三六、八五〇
マンゴエリナ		六二、一九六
其他		

伯國産食卓用果物仕向國別輸出額左表の如し。

國別	一九二七年 数量	一九二八年 数量	一九二七年 価額 (千円)	一九二八年 価額 (千円)
アルゼンチン	六、一六二、七三二	七、一三〇、六六四	一五、三一七、二六六	一九、一五二、六二七
イギリス	九、二二二、二二三	一七、六〇五、七二二	二、三三九、一九三	五、三〇九、七一九
ウルグワイ	四、五〇七、〇二二	四、三六七、〇八四	九、五三、〇一一	九九六、〇四八
ドミニカ	九三、一七、七	一、七二五、七九八	六一五、七六六	九一四、七四三
オランダ	二、三三、三五〇	一、四〇七、〇七〇	一三五、九九二	七四〇、七八〇

チリ	二、三、四三五	一九〇四〇	五、四三二	六、一七〇
フランス	六、九〇〇	一〇、五〇一	三、二八八	五、六九八
スウェーデン	—	二、二〇二	—	七、三九五
スウェーデン	—	一、〇五〇	—	六、〇〇〇
北米合衆國	八五、二三五	四四〇	一六、六三三	一四六
ポルトガル	二二五	七六	二二〇	五〇
イタリヤ	一、一六〇	—	七五〇	—
合計	七六、六二八、五七五	九六、三六三、六四七	一九、三八七、五四一	二七、一三三、九七六
産地を州別表示すれば左の如し。				
サン・パウロ	六四、〇四九、〇〇九	七九、一二三、一一一	一三、二九七、六〇二	一七、三四〇、五三〇
リオ・デ・ジャネーロ	一〇、五五六、〇四〇	一五、二五一、一四八	五、六三八、三一九	九〇九八、二九二
パラナ	二、一〇五、〇九一	一〇、九七、二五〇	二五七、五四八	二九七、七六六
サンタ・カタリ	四六、二〇二六	四九四、五七二	六七、二一一	一〇三、七四九
メルナンブコ	一〇、一八四五	一六九、一九〇	七二、六一九	一四九、六九〇
リオ・グランデ・ド・スール	二五四、五六四	一六八、三五九	五四、二四二	五九〇、五四
バイーヤ	—	七〇〇、一七	—	八四、八九五
合計	七六、六二八、五七五	九六、三六三、六四七	一九、三八七、五四一	二七、一三三、九七六

一九二八—二九年度オランダ、バナナ及バイン・アップル産出額は二億三千九百五萬二千八百二十
 ミルレイスに達す之を數址別に表示すれば左の如し。

オレンデ	五百二十萬一千百箱
バナナ	六千一百八十九萬六千二百二十房
バイン・アップル	五千九百二十萬八千四百九十二個

(元) タンニン生産植物

伯國は國內到處タンニン酸を多量に含有する植物に富む其最も代表的なる種類はアンジコス
 (angios) バルバタイモン (Barbaines) マングロープス (Mangroves) にして之よりタンニン酸を
 抽出す今之等植物より抽出せらるゝ其タンニン酸含有量比率を表示すれば左の如し。

バルバタイモン種	二十五乃至四十八%
アンジコス種	二十七乃至四十五%
マングロープス種	二十乃至三十%

現今伯國にはアンジコス、マングロープスを原料とするタンニン酸製造工場數個あり。

(元) 製油用果實

伯國には製油用果實を生ずる植物の種類極めて多く之が開發は伯國經濟上頗る重要なものなり殊にアマゾン河流域の大森林は油、脂肪、蠟、香液、香油、樹脂等の原料植物に富めること世界中に其の比を見ず從て之が完全なる開發を見るに至らば伯國財源の大宗を占むるに至るべきは予見するに難からず。

伯國產製油用果實輸出額左表の如し。

輸出先	一九二七年 數量	一九二八年 數量	一九二七年 價額	一九二八年 價額
イギリス	二、三、七、二、四、三〇二	二、五、四、九、二、〇、三、五	一、六、〇、六、九、四、四、八	二、四、〇、五、八、四、五、〇
ドイツ	一、九、六、四、二、九、〇、八	一、四、六、九、七、九、八、〇	一、六、七、〇、〇、二、六、八	一、五、一、四、五、〇、三、六
北米合衆國	一、四、二、二、四、八、一、九	四、二、〇、六、三、八、四、五	二、〇、二、八、八、八、七、六	一、九、〇、四、〇、〇、三、三
ベルギー	九、四、七、八、〇、九、八	五、〇、四、九、七、七、三、〇	五、二、四、三、八、二、二	二、七、八、九、九、九、〇
フランス	六、二、七、五、九、九、七	一、七、五、三、三、五、一	四、六、一、三、二、五、九	一、六、九、三、七、〇、八
オランダ	五、九、二、六、四、八、〇	七、五、一、〇、三、六、一	五、二、七、〇、三、〇、一	六、一、九、二、七、六、九
デンマーク	一、七、〇、一、四、五、六	二、一、〇、五、五、四、三	一、三、五、二、七、二、七	一、九、二、〇、六、七、九
ポルトガル	四、九、七、六、一、六	九、四、七、一、九、一	四、〇、六、〇、一、一	八、七、一、三、五、八
イタリア	九、〇、三、六、七	三、三、六、五	五、〇、六、〇、九	一、四、六、二、八
ウルグアイ	三、八、七、八、七		二、一、四、八、九	

仕出地左の如し。

仕出地	一九二七年 數量	一九二八年 數量	一九二七年 價額	一九二八年 價額
アルゼンチン	二、〇、四、〇、七	一、七、九、五、四	三、四、四、六、七	一、四、八、三、五
フィリピン	一、〇、五、〇、〇	五、七、七、五、〇	一、〇、五、〇、〇	九、六、六、〇、八
カナダ	八、一、六、三、一、七、三、七	六、九、六、九、九、一、〇、五	七、〇、〇、六、一、七、七、七	七、一、八、三、八、〇、八、五
マラニオン	一、五、二、三、六、〇、〇、五	一、一、八、五、二、七、七、〇	一、二、九、六、〇、四、五、一	一、〇、二、七、一、三、五、六
カシウエル島	一、四、九、一、一、〇、一、八	一、四、一、八、二、六、五、〇	一、二、六、五、八、〇、八、〇	一、二、四、六、一、〇、一、一
フアルタレザ	一、二、四、〇、一、四、一、六	七、八、四、五、九、四、五	三、八、六、一、〇、九、四	二、四、七、五、二、六、四
ペレム(パラ)	一、〇、九、八、六、六、六、四	一、六、〇、六、三、九、〇、九	一、三、八、六、三、〇、六、一	二、二、七、七、二、四、五、九
マナオス	八、六、五、七、一、二、一	九、一、九、二、一、九、五	一、六、四、七、三、四、八、九	一、七、七、六、七、三、〇、九
ヘルナムプロ	五、九、〇、一、〇、五、八	三、〇、八、九、六、六、〇	二、八、四、五、五、八、八	一、八、三、一、一、九、〇
サントス	四、八、一、九、二、九、五	二、二、一、〇、九、三、五	二、六、二、九、一、四、四	一、四、三、二、三、〇、一
バイーヤ	四、五、六、六、一、〇、三	一、〇、三、九、三、五、二	二、四、七、九、六、五、一	七、四、六、九、六、七
ナタール	二、〇、二、二、五、〇	二、四、五、九、三、九、〇	六、六、四、一、〇、〇	七、〇、六、五、七、〇
カモシン	七、四、三、七、三、七	六、六、三、九、八、五	四、一、七、四、六、〇	三、五、九、八、〇、〇
マセイオ	七、一、六、四、九、二	五、八、五、六、九、〇	二、八、六、七、四、八	二、九、二、三、五、六
イタコアティアラ	三、八、〇、七、〇、〇	二、四、四、八、八、〇	七、三、七、二、四、九	三、九、四、二、二、二
リガ・ブ・ジャネ	二、五、一、〇、九、一	二、四、三、六、六	一、六、四、一、七、三	二、〇、七、八、二
イロ				

伯國産油輸出額左表の如し。			
輸出先	一九二七年 数量	一九二八年 数量	一九二九年 数量
北米合衆國	一一、八八〇	九〇、九二七	六五、六三二
イギリス	五五、〇〇一	四〇、〇四五	二五、四七五
アルゼンチン	三八、〇〇〇	一一、二二七	一〇、七九三
フランス	二五、五五六	二九、四九四	五〇、八四七
オランダ	六、七七一	六、五五〇	二九、八五〇
ベルギー	一、〇〇八	一八、五〇一	八、二八四
合計	一一、六三一、七三七	六九、六九九、一〇五	七〇、〇六一、七七七
リヂモンド	三六、二四五		二〇、二五九
ペロタス	一、八七〇		七五〇
ボルト・アレン	六七二		四八〇
リヂ・グラント		二九、六七〇	二〇、八三五
サン・ボルシア		一八四、三七九	八、一八九
サンフランシスコ		五〇	一五〇
カベテロ		二八、六七九	二四、三二四
合計	八、六三一、七三七	六九、六九九、一〇五	七〇、〇六一、七七七
伯國産油輸出額左表の如し。			
輸出先	一九二七年 数量	一九二八年 数量	一九二九年 数量
北米合衆國	一一、八八〇	九〇、九二七	六五、六三二
イギリス	五五、〇〇一	四〇、〇四五	二五、四七五
アルゼンチン	三八、〇〇〇	一一、二二七	一〇、七九三
フランス	二五、五五六	二九、四九四	五〇、八四七
オランダ	六、七七一	六、五五〇	二九、八五〇
ベルギー	一、〇〇八	一八、五〇一	八、二八四
合計	一一、六三一、七三七	六九、六九九、一〇五	七〇、〇六一、七七七
リヂモンド	三六、二四五		二〇、二五九
ペロタス	一、八七〇		七五〇
ボルト・アレン	六七二		四八〇
リヂ・グラント		二九、六七〇	二〇、八三五
サン・ボルシア		一八四、三七九	八、一八九
サンフランシスコ		五〇	一五〇
カベテロ		二八、六七九	二四、三二四
合計	八、六三一、七三七	六九、六九九、一〇五	七〇、〇六一、七七七

仕出地左の如し。			
仕出地	一九二七年 数量	一九二八年 数量	一九二九年 数量
ベトナム・パラー	一七〇、六二九	一三三、四二二	八五二、五六四
インドネシア	二五、一九〇	二五、九三三	五〇、五四七
マナオス	二八、三五九	三六、九四三	一四六、一六九
サントス	一八、八一四	一七、六一七	一七、六四六
イタコア・タイアラ	六、四六〇	五、六一〇	三一、四一八
サン・ルイス・ド・マラニオン	一、六一四	二、三六	六、五二四
ベルナンブコ	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二、一四三
パイヤ	一七〇	五、五〇〇	二、〇〇〇
フォルタレザ	二五、二二六	二、六四八	二、〇七二
合計	二五、二二六	二、六四八	二、〇七二
尙一九二九年中伯國産油用果實及油輸出量及價額左の如し。			
輸出数量	一九二七年 数量	一九二八年 数量	一九二九年 数量
ベトナム・パラー	一七〇、六二九	一三三、四二二	八五二、五六四
インドネシア	二五、一九〇	二五、九三三	五〇、五四七
マナオス	二八、三五九	三六、九四三	一四六、一六九
サントス	一八、八一四	一七、六一七	一七、六四六
イタコア・タイアラ	六、四六〇	五、六一〇	三一、四一八
サン・ルイス・ド・マラニオン	一、六一四	二、三六	六、五二四
ベルナンブコ	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二、一四三
パイヤ	一七〇	五、五〇〇	二、〇〇〇
フォルタレザ	二五、二二六	二、六四八	二、〇七二
合計	二五、二二六	二、六四八	二、〇七二

製油用果實 九四、〇三七、一〇七
油 一五八、二七九
六六、六九七、〇六六
五四二、三五九

(口) 林 業

伯國は熱帶亞熱帶及溫帶の三地帯に互り氣候氣溫多様なる上降雨の分布狀態も良好なるを以て諸種の植物天然に繁茂し大森林をなす伯國森林地帯を大別すればアマゾン及外部アマゾニアの二地帯に分る其の面積三億九千萬ヘクタールに及ぶと稱せらる之等地帯より産出する木材は其質世中最優良と稱せられ重硬材、輕軟材、粗密材等凡有る種類の木材を網羅す、重硬材は濕潤土中にも十二年以上の保存力を有し久しく風雨に耐へて腐朽せず鐵道枕木等として使用せられ其外觀美麗なるものは高級家具、ピアノ製造用に供せらる之等の樹木は他の雜木と共にアマゾン大原始林に廣大なる面積に互り混生するも同一種類の樹木のみを以て大森林を形成するものあり即ち大なる密林をなすパラナ松の如きなり斯の如く伯國は木材豊富なる事想像も及ばず既述の如く伯國は尤大なる面積に互り多種の良質なる樹木繁生するも他の一般産業と同じく努力と資本とを缺くを以て今尙未開發の儘に放置せられ居る狀態なるを以て之に大なる資本と努力を加へ其開發を計らば伯國木材業は將來最も有望なる伯國産業の一をなすに至るべし以下伯國産主要輸出木材

に付き其材質、特徴及用途を概説すれば左の如し。

- アカブー (學名ウアカボウア・アメリカ) 荳科に屬す伯國木材中最も堅く強靱にして黒色を呈す蟲害を蒙ることなく床張材として最も重用せらる。
- セドロ (學名カブラリア・ラエグイス) 棟科に屬す種類に依り暗褐色、帶赤色、帶黃色又は帶褐色を呈するものありて多少の香氣を有し保存力強きが上に加工し易く重さの割合に強靱にして割裂し難し其用途は造船、建築、家具、指物用、鐵戸、葉巻煙草入函等の製造に使用せらる。
- ゴンサロ・アルヴェス (學名アストロニウム・フラクシニ・フラリウム) 漆樹科に屬す伯國産木材中最美麗なるものの一にして材は稍々赤味を帶び其中に濃淡の脈線あるものと淡き黄褐色の地に堅に不規則なる波狀の黒斑を有するものとあり強靱性に富み家具用材、唐木細工に頗る珍重せられ又保存力大にして建築、鐵道枕木に使用せば殆んど腐朽する事無し。
- ジャカランダ (學名ダルベルグ・ニア・ニグラ) 荳科に屬す材色は多くは暗褐色なるも殆んど黒色のもの又は煤色に色稍淡き條紋を有するものもあり最高級の家具及ピアノの製造用に供せらる
- 佛國人は伯國より木材を輸入し鐵戸、家具及ピアノに製造したるものを外國に輸出す。
- マッサランドゥバー (學名ミムソプス・エラータ) 赤鐵科に屬す本樹は高さ五十米直徑二米
- Massaranduba (Mimosa elata)

に達する巨木にして材の色は赤褐色又濃赤色なり伯國産木材中最優良品なり纖維は直通し且緻密なるが故加工稍々困難なるも不撓にして耐久力に富む用途は建築、土木、造船、鐵道枕木、ステッキ、車輛の輻等なり。

パウ・ブラジル (學名セサルピニア・エチタナ) 荳科に屬す本樹は伯國より外國に輸出せられたる木材の嚆矢をなしパウ・ブラジルなる名稱は此處に起因す材は紅色にして暗黒色の斑があり纖維は細く且縫る造船用材、橋梁用材に適し濕氣に對し數百年間耐へ得る抵抗力を有す、又赤紫色の染料を供するを以て知らる。

パウ・ムラト (學名カリコビリウム・スプルシアナム) 荳科に屬す濃褐色の美麗なる材にして纖維組織甚だ緻密なり建築、土木、唐木細工、鐵道枕木に使用すパラ州にてはパウ・レド (Pau Red) と稱せらる。

パウ・ロシ (學名ペルトシネ・デンスイフロラ) 荳科に屬す材は美麗なる紫赤色を帶び纖維緻密にして頗る堅重なり縞子木材、淡色木材と交互に床張に使用せられ大なる需要を有し唐木細工用材として重用せらる。

パウ・セタイム (學名アスピドスペルマ・エブレウム) 夾竹桃科に屬す色は帶青黄色にして

纖維組織甚だ密なる重硬材なり床張材、家具、指物用に供せらる別名パウ・アムロ (Pau amarello) (黄色材) とも稱せらる。

ペキアー (學名カリオカル・ブラジリエンスイス) カリオカル科に屬す材は縞子の如き光澤を有する黄色又褐色を呈し纖維は撓曲性に富み且互に交錯せるため甚だ強靱にして抵抗力大なり建築、土木、家具、造船肋材、丸木船材、杵等に使せらる。

ペローバー (學名アスピドスペルマ・ダスカルボン) 夾竹桃科に屬す伯國産木材中最も豊饒なるものの一にして淡黄色を帶び纖維緻密なる重硬材なり抗、電柱、甲板、鐵道枕木、家具、窓扉の枠、建築等に使せらる。

松 (學名アラウカリア・ブラジリアナ) 松柏科に屬す建築、家具、床、天井張材、包装箱、建築足場、土木に使用せらる伯國輸出木材中其數量に於て首位を占め主要需要國はアルゼンチン國なり。

サブピラー (學名ボウデチア・ニタイダ) 荳科に屬す材は光澤ある濃赤褐色を呈し淡褐色の條紋を有し且濕氣に對して抵抗力大なる重硬材なり建築、土木、造船、家具指物、電柱等に使せられ鐵道枕木として最優良なるものなり。

グインバタイコ (學名エンテロブイウム) 一一八
 Vinbaco (Enterolobium ellipticum)
 昔科に屬す高級家具指物、建築、造船等に重用
 せらる。

伯國產主要木材の比重は左表の如し。

品 目	比 重	品 目	比 重
アカブー	〇、九三六—〇、九八	カネーラ	〇、六七六—〇、七二
アカブー・ラナ	—、〇八八	カネーラ・バダラー	—、〇七五八
アソイダ・カザアルロ	—、〇八五八	カネーラ・デ・マダ	—、〇九一二
アメルロ	—、〇五〇九	カネーラ・デ・サエアド	—、〇九〇七
アンチエリン・アマ	〇、六三八—〇、八二四	カネーラ・ゴスメンタ	〇、四八四—〇、四九八
アンチエリン・ベドラ	—、〇九八〇	カネーラ・インハイバ	—、一四三—、二四三
アンチエリン・ロザ	—、〇六三三	カネーラ・リマン	〇、四五三—〇、四五七
アン	—、〇七〇	カネーラ・マサナライバ	〇、六二八—〇、九〇三
アラリ	〇、九七一—〇、九九	カネーラ・メスカラ	—、〇九八八
アラリ・アマソルロ	〇、八五二—〇、八八〇	カネーラ・カレロ	〇、五七一—〇、五七八
アラリ・バ・ロザ	—、〇九二六	カネーラ・バルダ	—、〇八〇〇
アルコ・デ・ビバ	—、〇七一	カネーラ・ブレダ	〇、七〇二—〇、九一四
カビウナ	—、〇八一五	カネーラ・サンタ	〇、五八七—〇、六五三

カネーラ・サツサフラス	—、〇四八—、〇八二	イペーブレト及イペ	—、〇四六
セド	〇、五一五—〇、七一四	イペー・タバコ	〇、九六二—、一九四
セドロ・アロマティコ	—、〇七二三	シアカランダ	—、一一九
セドロ・バタダ	〇、五三八—〇、五八七	シアカランダ・アラソコ	—、〇七六〇
セドロ・ダ・パイア	—、〇四三七	シアカランダ・カビウナ	—、〇八一四
セドロ・ド・モアラ	—、〇五五八	シアカランダ・ロシヨ	〇、九二三—、一二三
ド・ウラ	—、〇八三六	シアカラン	—、〇八五〇
ガメルレイラ	—、〇五九八	アマレロダ・タン	—、〇二九
ガニ	〇、七三六—〇、八〇五	シアカランダ・タン	〇、九九四—、〇二七
ゴンサロ・アルグエス	〇、八五七—、一八五	シエキテイバ・ロザ	—、〇六九一
ガラウナ	—、〇四一	ロウロ・アマレロ	〇、五二—〇、五三〇
ガラウナ・ブレタ	〇、九三六—〇、九八七	ロウロ・パイアノ	—、〇八三六
グアラ	—、〇一七一、二八四	ロウロ・アラソコ	—、〇六六一
グアラ・アラソコ	—、〇〇五—、〇一〇	ロウロ・セドロ	—、〇九〇一
グアラ・カルネ・ロシヨ	—、〇九三五	ロウロ・シエイロソ	—、〇七五三
グアラ・ブレト	—、一六四	ロウロ・バルド	〇、三五三—〇、四〇一
イペー	—、〇八五八	ロウロ・サエルメイリヨ	〇、六二二—〇、八四八
イペー・ミリア	—、〇一〇		

マカカウバ	〇、七五四一〇、九一七	ベキア・イランシア	一一、四〇〇
マサランバ	一、〇二九一、四〇九	ベキア・マルフィム	〇、八六八一、二四八
マリブ・ブレダ	〇、九五八一、〇四一	ベキア・ロ	一〇、四三二
ムラヒランガ	〇、九〇九一、四五四	ベロバ・アメルラ	〇、八九五一〇、九一六
ギティシイカ	〇、六七六一〇、七四九	ベロバ・ブランカ	一〇、七三九
オイトイ・ブレト	〇、六五二一〇、七三	ベロバ・バルダ	一〇、八六八
オレオ・デ・シアター	〇、九三四一〇、九三八	ベロバ・ラシアダ	一〇、七八八
オレオ・デ・シアタ	〇、八三七一、二七	ベロバ・レベッサ	〇、七三三、一〇一八
オレオ・バルド	〇、七三〇一〇、九九二	ベロバ・エルメリヤ	〇、七三七〇、九四三
オレオ・グエルメロ	〇、九〇三〇一〇、九四七	ベロバ・ロザ	〇、八七一〇、九八六
オレオ・グエルメリヨ	一〇、五〇	ビニョ・ド・バラナ	一〇、六〇四
(ド・エス・フイデリス)	〇、九〇〇一〇、九二四	サ・ブ・カイア	〇、九九二一、〇七七
バウ・アマレルロ	一〇、〇二九	サ・ブ・カイア・アッス	〇、六八六一、一〇六
バウ・アラシ	一〇、八六一、二九七	サ・サ・フラス・フランコ	一〇、〇六二
バウ・フエツロ	〇、七六六一〇、八九四	サ・サ・フラス・バルド	一〇、九九九
バウ・ロザ(エス・ダツルダ)	一、二二一、六四九	セバスティアン・ダッ	〇、七六六一〇、八九四
バウ・サント	一〇、七八五		
ベキア	一〇、八四五		

伯國産木材の輸出額を左に表示せん。

種目	一九二五年 数 量(噸)	一九二六年 数 量(噸)	一九二七年 数 量(噸)	一九二九年 数 量(噸)
アカブ	六二、二二六	四四、一七三	五六、七八三	三五〇、五七五
アンデイロバ	二、四三九、五四〇	七二七、二七〇	一、二六八、一〇四	二、一八五、二五六
バグアッス	六三九、九三〇	二八四、四〇〇	七九、〇八五	二九、二五〇
セロ	一、二〇四五、三三九	五、〇八七、四〇一	四、四七一、六〇九	一、七五六、四九〇
フレイショヨ	七〇、六一九	一四八、五九五	一五七、八九六	二、六八六、三三六
ゴンサロ・アルゲス	二、四一四、三八五	二、八三六、〇四七	三、七八七、七五一	七三、五九〇
グアシュグイラ	二二、三三〇	四九四、八二二	八七七、四九〇	七三六、一〇五
イムブイア	九三五、三〇五	五三一、七八一	三三三、一〇九	一九九、三五二
イタウバ	二七九、七〇二	二、五二七、一六四	三、四三四、七八三	二、八八七、六二九
スクビラ	〇、九九五一、〇二六			一〇、九六一
スクビラ・アマレルラ	一〇、〇九二			一〇、四六〇
スクビラ・アクト	一〇、八七七			一〇、七五七
スクビラ・バグアキム	一〇、九四四			一、二二〇
スクビラ・バルダ	一、二一六			
スクビラ・グエルゲテイヤ				一〇、九六一
グイナティコ・フロ				一〇、四六〇
グイナティコ・ダス				一〇、七五七
グイナティコ・ボイ				一、二二〇
グイナティコ・カランダ				

伯國產主要木材輸出圖
(單位 噸)



シアカランダ	二、六〇二、三四三	二、七六三、一五一	三、一〇三、二〇五	二、二九八、五四九
ラバシヨ	—	九三、四〇〇	—	三五六、〇〇〇
ロウロ・ダエルミロ	—	四二、九九五	—	一七、〇六六
マカカウバ	一、〇九三、〇六五	七四〇、一九六	一、五〇九、二五九	一、八七二、八九七
マカカウバ	一、〇九三、〇六五	—	一六、七一〇	三、五〇〇
マッサランドバ	一、三四六、三五〇	四六〇、四〇〇	一、八九九、九六五	一、五一二、九六六
マウ・ダエルメロ	八二、七九九	一〇六、八〇七	四八九、七五七	三七、七四九
マウ・ブラシル	五〇、九〇一	二一、一九六	一三三、五九五	一六二、八六四
マウ・ロシガ	二八、五七四	一一、二一四	四三、四九九	二一〇、四六八
マウ・ロシガ	八、六九八	二二、四〇六	九〇、五九八	四四三、六二〇
マウ・ロシガ	二五、七二四	—	一〇三、四八六	一九二、三二二
マウ・ロシガ	九五、八四四、四六八	七九、九三九、〇〇五	八八、七九一	九、九一七、七五九
マウ・ロシガ	四六八、五一五	一九八、七六六	一五七、二五五	二一〇、九四八
マウ・ロシガ	七九〇、三一九	八六、一八三〇	四四二、〇〇九	一二五、四八六
マウ・ロシガ	九八三、四〇三	八〇、二七九	一一、四八、七一	九四六、〇二八
マウ・ロシガ	七、八二三、七八七	八、四三九、五九九	七、〇二二、一五二	五、六三三、九八九
マウ・ロシガ	一三三、二九三、二二三	一〇七、二九一、九六二	一一九、六一、二九六	一二七、二一九、七八四

(ハ) 纖維植物

伯國の氣候は纖維植物の生育に適し其の種類頗る多く纖維原料として甚だ優良なるものあるを以て之を組織的に栽培し合理的に經營するに於ては現に伯國に於て農産物の表装用として多量に使用しつゝある袋は自國産品を以て之に充て得るのみならず大量輸出を見同國の大なる財源となるべきも今の處伯國纖維植物の開発加工を見るに至らず年々二十二萬噸此の價額英貨百二十萬磅の印度産デュートを輸入し居る状態なり。

伯國産植物纖維輸出額左の如し。

種目	張	力(噸)	種目	張	力(噸)
ヒテエイラ・ジャイガント	一五・三		ガナーモカ・ペリニイ	二〇・五	
サイ・ザル	二二・五		ジュ・ユート	二九・〇	
ジアカンダ・アラダ	一七・五		ダブソラ・ミネイラ	四二・五	
ツグ	三六・〇		サンセグイェラ	六七・二	
カナ	一七・〇		ガラダ	四八・二	
リノ	三九・二		ジアンガデイナー	四七・五	
アラミナ	二四・〇				

伯國産植物纖維種別輸出量左表の如し。

伯國產植物纖維種別輸出量左表の如し。

年次	數	價額(ミルreis)
一九二二年	三、三九三、二八六	二、一五四、七三〇
一九二三年	三、一七八、三八六	二、五八七、九九八
一九二四年	三、七六八、二〇九	三、二二一、二四八
一九二五年	三、七三六、五四一	四、一八七、七五三
一九二六年	四、〇四四、一五	三、八二七、八五七
一九二七年	四、一五四、三四八	三、七八〇、一一五
一九二八年	四、〇四四、九九七	三、七四一、五〇九
一九二九年	四、一九四、七九四	四、六八二、九七五

伯國產植物纖維種別輸出量左表の如し。

種別	一九二五年	一九二六年	一九二七年	一九二八年	一九二九年
カ	一九二五	一九二六	一九二七	一九二八	一九二九
クリナ・ツエ	三七、九四九	三八、四六〇	四二、三七一	七三、九九九	三四、七五四
タル	一三、三八〇	一	一	三七五	七、〇一六
ピアッサ	三、六七〇、三六九	三、九九九、五二三	四、〇九七、八〇〇	三、九六三、五八七	四、一四一、九四三
ツ	一〇、六五六	四、七二二	四、八一八	六、四八六	四、一四〇
其	四、一八七	一、四二〇	九、三五九	五五一	六、九四一
計	三、七三六、五四一	四、〇四四、一五四	四、一五四、三四九	四、〇四四、九九七	四、一九四、七九四

カロア(學名ネオグラズイオヴァ・ツアリエガタ)鳳梨科に屬し、脆弱なる砂礫性土壤に野生す葉の長さ一米半乃至二米半に及び一本の樹より三乃至四枚の葉を得平均二十五瓦の纖維を生産す。伯國各地に生育しシュートに比し其品質優良にして各種荷造用袋の製造に適し現今伯國に於ては繩、紐、魚網製造に使用せらる。

カロア纖維輸出額左の如し。

年次	數	價額(ミルreis)
一九二〇年	一四、六八三	〇、二一七
一九二一年	三一、七二〇	一、〇七一
一九二二年	一、二〇二	〇、九一五
一九二三年	五五八	〇、九一四
一九二四年	一、一七八	〇、七五五
一九二五年	三七、九四九	一、二〇二
一九二六年	三八、四九六	〇、九〇九
一九二七年	四二、三七二	〇、七九〇
一九二八年	七三、九九八	〇、七四九
一九二九年	三四、七五五	〇、九〇〇

カロア纖維仕向國別輸出額（一九二八年）左の如し。

國 別	數	量 (財)	價 額 (ミルレイズ)
オランダ	一〇七	八二〇〇〇	
イギリス	二五、五四八	二四、七三八〇〇〇	
ドイツ	一、一〇〇	一、一〇〇〇〇〇	
アルゼンチン	三三	三〇〇〇〇	
北米合衆國	一一、六六八	一一、三〇〇〇〇〇	

グラヴィタ・デ・ガンシヨ（學名プロメリア・カラタス）鳳梨科に属し多くの別名を有す。葉の長さ二米半幅五センチに及び土壌を擇ばず野生し其纖維は柔く絹狀なるを以て織物には適せざるも葉より産する白色良質のバルブは優良なる製紙原料なり。

グラヴィタ・デレデー（學名アナ・ス・ブラクテアタス）鳳梨科に属しロア、クロアタ、カロア、グラヴィタ等の別稱を有しリオ・デ・ジャネイロ州よりペルナンブコ州に至る伯國海岸地帯に亘り繁茂す一本の樹木より約三十枚の葉を得、絹の如き光澤を有する長き強靱なる良質の纖維を供し製紙原料として優良なり。

ピアサヴァー（學名アッタリア・フニフェラ）棕櫚科に属すバイヤー州の海岸地帯の乾燥地に野

生す其葉は眞直にして長さ十二米に及ぶ之より採取する纖維は抵抗方極めて強く長年間鹹水中に於て腐敗せざる異常の特長を有す其の主要用途は床蓐、刷毛、爪楊枝、船舶綱繩の製造なり。

伯國ピアサヴァー輸出額左表の如し。

年 次	數	量	價 額 (ミルレイズ)	一財價額 (ミルレイズ)
一九一五年	二、一五二、六三四	一、〇〇二、九二八	〇・四六五	
一九一六年	一、七一一、三六八	八九四、五五四	〇・五二二	
一九一七年	二、五九八、一四九	一、三三二、三一一	〇・四七四	
一九一八年	二、〇六五、五三七	一、三〇五、五三〇	〇・六三二	
一九一九年	三、九七九、九二二	二、八四七、〇五六	〇・七一五	
一九二〇年	二、六五五、四三三	一、七〇七、六八四	〇・六四三	
一九二一年	二、三四四、七八三	一、四八三、一四三	〇・六三二	
一九二二年	三、三七三、三四七	二、〇九二、六三八	〇・六二〇	
一九二三年	三、六八五、四五三	二、四八五、七七七	〇・六七四	
一九二四年	三、七四九、九六六	三、〇五二、八二〇	〇・八一四	
一九二五年	三、六七〇、三六九	四、〇一九、四三二	一・一〇一	
一九二六年	三、九九一、〇九三	三、七四六、四三八	〇・四九一	
一九二七年	四、〇九七、八〇〇	三、七二〇、〇〇〇	〇・九〇七	

一二七

一九二八年 三、九六三、五六七
一九二九年 四、一四一、九四三
ツクム又はライクン（學名バクトリス・セトサア）
[Lecum or Licum] (Bactris setosa) 棕櫚科に屬しアマゾン溪谷及同河流地帯
に多量に産出す纖維は強靱性に富み羊毛と酷似し織物原料として有用なり殊に羊毛と混用し得る
を以て價值極めて大なり美麗なるハンモック、魚網、靴紐、網繩類製造に使用せらる尙ツクム織
維を原料とせる製品は保存力大にして能く鹹水に腐蝕せず摩擦に對し大なる抵抗力を有するに依
り索具として最好適なるものなり。

伯國ツクム纖維輸出額左の如し。

年次	数量	貨價 (ミルレイス)	一担價額 (ミルレイス)
一九二〇年	九、一二四	三、一〇三	二、〇四三
一九二一年	九、八一六	三、四一五	三、四七九
一九二二年	一、五三四六	五、四一七	三、五三〇
一九二三年	七、五五五	四、四六一	二、五一三
一九二四年	六、八八九	二、三九八	三、四八〇
一九二五年	一〇、六五六	五、四七六	四、七三七
一九二六年	四、七二二	一、四九一	三、一七二

一九二七年 四、八一八 一、六、一三三 三、三四九
一九二八年 六、四八六 三、一七九 四、九六一
一九二九年 四、一四〇 二、一九三 五、一九三
ジャシタラス或はウルバムバス（學名デモンクス）
[Jajitars or Urubambus] (Dunorus) 棕櫚科に屬す通稱ジャシタラ (Jajitars) と呼
ばるゝ美麗なる植物にして幹は細く屈曲性及抵抗力に富み磨拭すれば甚だ良き光澤を發す纖維は
椅子、長椅子の背當其他一般輕家具、籠、扇子等の製造に供せられ又籐及柳の代用品として用ひ
らる伯國中到處多量に産しアマゾン大平原に最も多くリオ・デ・ジャネイロ州海岸地帯にも野生
繁茂す。

伯國籐細工原料輸入額左の如し。

年次	数量	貨價 (ミルレイス)
一九二〇年	四、八六、五九五	一、七八二、〇四三
一九二一年	三、〇八七、三三三	六、五八、三八九
一九二二年	四、九四二、八八	一、〇六四、一〇〇
一九二三年	三、九五、一八八	一、六五五、〇二八
一九二四年	四、七九、二七二	一、五二二、八四三
一九二五年	六、一六、二八四	一、五九〇、四四六

0250

調一0723

一九二六年 六三、〇二四
一九二七年 六二、九三三
一九二八年 七九、四二四
一九二九年 七三、七八六
グアタマラ・ローシヤ(學名ウレナ・ロハタ) 錦葵科に属し伯國全土に普く繁生す、纖維は細柔強靱にして白黄色を帯び絹の如し長さは一米以上に及び綱、繩製造、黄麻粗布其他纖維及珈琲袋製造原料として最合適なり現今右の纖維を原料とする袋製造工場はサン・パウロ州に一箇所あり八十萬袋を製造す。
パコ・パコ(學名ウイッサドウラ・スピカタ) 錦葵科に属し地方によりて名稱を異にすパコ・パコ纖維はシュートに比し耐久力劣り製袋用として不適當なるも綱繩製造及粗布織物の原料として使用せらる。
ピタイラー(學名フオウルクロヤ・シガンラニヤ) 石蒜科に属し伯國至る處に繁生し其纖維は長短に依り二種に分つ綱繩等の製造に用ひらるゝものは其纖維にして刷毛筆等の製造に用ひらるゝは短纖維なり。
エムビラ・ブランカー(學名ダブノブス・ブラシリエンシス) 瑞香科に属し主としてサン・パウロ及ミナス・ジラエス州に野生す發育生長共に迅速なり材は白色輕緻材にして容易に割裂することを得家具指物荷造包装用函等の製造に適し又製紙原料として價值大なるも織物用としては不適當なり。
サンセヴィエラ(學名エス・ゼーラニカ) 百合科に属し纖維產出量極めて高率なり即百噸の葉より十二乃至十四噸の纖維を產出す質極めて強靱なり。
ジュート(學名コルチヨルス・カプスラリス) 田麻科に属す。
ジュート(學名コルチヨルス・カプスラリス) 田麻科に属す。
ジュートは珈琲袋用として絶大なる需要を有し一九二九年ジュートの伯國輸入量は二千七百萬基瓦、此の價額四千九百萬ミルレイスに達し主として印度產に之を仰ぎつゝある状態なるも伯國政府は近年ジュートの自給を計らんとし之が調査獎勵に力を致し現に國內に二十五のジュート織物工場を有するも未だ以て之を外國輸入を防止するに至らず。
伯國に於けるジュート輸入額左の如し。

年	次	數	英圓	價	額(ミルレイス)
一九一八年					一、〇三、〇六〇
一九一九年					二六、〇一七、五七八
一九二〇年					二二、〇二七、二七五

一三二

タリナ州に到る海岸地帯に繁茂す其花は美麗にして香氣強し本植物の纖維は強靱にして弾力性に富み製紙原料として優良なり近來之を原料とする製紙工場の設立せらるるもの多く伯國製紙業の將來有望なりと云ふべし。

今伯國に於ける紙の輸入状況を表示せば左の如し。

年次	數	價
		額(ミレイス)
一九二〇年	四七、八一七、三九九	七五、三七四、八二五

年次	數	價
		額(ミレイス)
一九二一年	一六、一三五、五八七	三二、三三三、七四五
一九二二年	一七、四五七、一六〇	二五、五六四、七二八
一九二三年	三二、〇二二、二九三	五二、八六六、四六〇
一九二四年	二〇、七九三、二〇八	三四、〇九四、八八〇
一九二五年	二二、七一八、七八九	五〇、二八六、七一五
一九二六年	二〇、五八二、〇〇〇	四二、八〇一、七四一
一九二七年	二八、四七五、〇〇〇	五二、六六五、〇〇〇
一九二八年	二〇、七六四、二二五	三九、六一四、六九六
一九二九年	二六、九八四、〇〇〇	四八、八二三、〇〇〇

リ、オ・デ・ブレジョー(學名ヘデチウム・コロナリウム
Liriodendron chinensis) 藥科に屬し、バレーヤ洲よりサンタ・カ

年次	數	價
		額(ミレイス)
一九二一年	二九、二六七、二二一	五九、一七八、二二五
一九二二年	四三、九二三、二二三	五一、七〇三、七五七
一九二三年	四八、三六六、五二三	七五、八六〇、〇二一
一九二四年	五二、八九四、四九二	七三、三八一、〇四五
一九二五年	六二、一六七、二七二	七九、〇三二、二八七
一九二六年	五三、九一七、八八四	五九、二三一、四五六
一九二七年	四七、七二二、四三九	六二、九九五、〇〇〇
一九二八年	五八、二九五、五五八	七六、二六二、九三三
一九二九年	六二、三〇一、〇〇〇	七三、八一三、〇〇〇

(二) 牧畜業

伯國の氣候は能く牧畜に適し其の地勢も平原、丘陵相交互して變化に富むを以て各種獸畜の生育と風土化に都合よく又舊來の野生牧草に依る牧畜業は漸次優良なる栽培牧草に代へられ近來伯國の牧畜業は著しく發達し來れり。

現今伯國の家畜數は七十萬頭に達す伯國政府は牧畜業の開發と改善とに努め年々數百頭の純血種畜を輸入して之を各地の牧畜地に配布し其品質の改良に當りつゝあり。

世界主要畜産國と伯國との家畜數を比較すれば左表の如し 單位(頭)

州別/種別	生産高	消費高
ミナス・ジェラース	一五〇〇〇	九〇〇〇
リオ・グランデ・ド・スール	三三〇〇〇	一五〇〇〇
リオ・デ・ジャネイロ	三〇〇〇〇	一五〇〇〇
サン・パウロ	二五〇〇〇	一五〇〇〇
パラナ	一〇〇〇〇	二五〇〇〇
サンタ・カタリナ	五〇〇〇	二五〇〇〇
サンタ・ペドロ	五〇〇〇	二五〇〇〇
ゴヤス	五〇〇〇	二五〇〇〇
マト・グロソ	五〇〇〇	二五〇〇〇
その他の州	五〇〇〇	二五〇〇〇
外国からの輸入数量	二七〇〇〇	二七〇〇〇
合計	四七五〇〇	四七五〇〇

伯國に於ける畜産加工品産出高左表の如し。

品別	一九二八年	一九二九年
切干し牛肉	九五、三二〇	二〇、九八四
牛脂	一四、七三五	七、五九三

品目	数量	品目	数量
生皮	四二、八三五	生皮	一四、六六九
牛乳	二一、一六八	牛乳	二、三四〇〇〇
バター	一、一八〇、八〇〇	バター	一、一九五〇〇
チーズ	三〇〇、〇〇〇	チーズ	三八〇〇〇
練乳	一五〇〇〇	練乳	一七〇〇〇
生乳	一〇〇〇	生乳	一、二五〇

一九二八年中に於けるサン・パウロ州畜乳及其加工品産出高左の如し。

品目	数量	品目	数量
生乳	一六、七五〇、五四二	生乳	二、二四〇〇〇
殺菌乳	五、六、五二七、五四四	殺菌乳	一、六二一、二三八
煉乳	四、八〇〇、〇〇〇	煉乳	一、二四〇〇〇

伯國配乳場の現存数は三〇箇にして資本金累計一七、七五〇、〇〇〇ミルレイスなり。

家畜及畜産物輸出荷量及價額左の如し。

年次	数量	價額(ミルレイス)	磅換算額
一九二〇年	一四九、四七三	二三五、一二九、四四一	一四、六二八、二三四
一九二一年	一三九、五三〇	一八六、〇八八、六八九	六、四五九、四七七
一九二二年	一〇七、九六八	一八二、七六九、〇三一	五、三九八、二六九

一九二三年 一九八二五六 三四四〇〇七三七八 七、六五〇、七五〇
一九二四年 一六〇、八〇一 二八、六三〇、八〇八 七〇二、八七四五
一九二五年 一四二、六八七 二七、八七九、七五八 六、八〇〇、一九七
一九二六年 七五、七七一 一八、八八七、二〇〇 五、五七三、六一九
一九二七年 二二、四二七 二八、八八八、六三三 六、八五七、三八〇
一九二八年 一七、七〇二 四二、五、一六四、二四一 一〇、四三二、四四三
一九二九年 一六六、六七六 三、五二七、二四、六六九 八、六六四、五六四

(ホ) 鑛山業

伯國には鑛物の種類非常に多く其の埋藏量も極めて多量なるも地域の廣大なると資本の不足等に原因し未だ充分に之が開發を見るに至らず。
今伯國鑛産物に關し其の概要を述べ左の如し。
金—金は伯國の殆ど全州に互り埋藏せられ特にミナス・ジェラエス、ゴヤース、マト・グロソ、サン・パウロ、リオ・グランデ・ド・スール、バイーヤ及マラニヨンの諸州に多し現今探掘せられ居る金山はミナス・ジェラエス州のバルバセナよりバイーヤ州のジャコビーナに至るエズビニョーサ山脈に屬するものにして延長實に千二百基米に及ぶ。

一八二四年より一九二二年間に於ける伯國金産額左の如し。

現今休鑛の分 八八、二七一、四〇九
サン・ジョアン・デル・レイ(モロベリカ町) 二五、七一〇、〇〇〇
カロー・プレント金鑛(バウサージエン町) 二、三、四六四、〇〇〇
モロベリカ・フラーガ礦山會社 三三、九八七
計 二二七、四八九、三九六

一九二七年度モロベリカ及バウサージエンの鑛産高は三、二〇八、六八八瓦に達せり前記鑛山の外ミナス・ジェラエス、バイーヤ及ゴヤースの諸州に自然金の發見せらるるものもあるも其探鑛法頗る幼稚にして未だ開發の域に至らず。

鐵—伯國は世界中最大の鐵鑛埋藏國と豫想せられミナス・ジェラエス、サン・パウロ、バイーヤ、サンタ・カタリナ、エスピリト・サント、マト・グロソ、ゴヤース及リオ・グランデ・ド・スールの諸州等には特に多量に埋藏せりと稱せらるるも未だ殆んど開發の域に達せず。

工業用鐵鑛埋藏量國別比率は左表の如し。

國 別	比 率	國 別	比 率
ブラジル	二二〇%	フランス	一六、三%
北米合衆國	二〇〇%	ニュージーランド	一、二%
			二二%

ニッケル・ミナス・ジュラエス州南部のリブラメントノ古代層にはニールカレドニア鑛石に彷彿たる桂苦土ニッケルの状態にて存在す。
金剛石―伯國に於て始めて金剛石の發見されたるは一七九七年なるが之が採取事業に着手したるは一八二七年なり。

伯國到る處良質の金剛石を産しミナス・ジュラエス州を最とす、同州に於てはデアマンチーナ附近のジェキチニョニヤ川・ア・パテ川、グラン・モゴール川、ゴヤース州に於てはクラール川、ビロエンス川、フォルツナ川、デゼンカノ川、トレス・バラス川、カイアボジニョ川、及グラサス川、マト・グロソ州に於てはアレイアス川、ブリチザル川、デアマンチーノ川、スミドウル川、アクノス川及州バラグアイ州等に於て發見せられ又サン・パウロ、バラナー及バトーヤ州に於ても發見せらる殊にバラナー州のチバジの礦層は有望視せらるゝも伯國中最良質黑色金剛石を産出するはバトーヤ州にして近代的工業用、就中鑛鑿用に供せらる一八九五年同州レンソエスに於て發見せられたる黒ダイヤハ其重量實に三千百五十カラットにして伯國産黑色金剛石中の最大なるものなり尙伯國産金剛石中著名なるものを舉ぐれば一八五三年バギーシェン州に於て發見せられたるものにして「南方の星」と稱せられ二百五十五カラットを有し我邦貨に概算し千二百萬圓に

て賣却せられたりと云ふ一八五七年發見せられたドレスデン金剛石は百十七カラット半を有せり。

南亞に於ける金剛石母岩の發見は伯國に於ける金剛石の産出に一大痛棒を與へたるが其品質に於て伯國産金剛石は世界最上のものと評價せられ其探掘も現今相當發達の域に達せり。

黒鉛(石墨)―伯國中最も有名なる黒鉛鑛はミナス・ジュラエス州ジェキチニョニヤ州の溪谷のエンバレダード地方に於て産せらる又同州のマリオ・ノヴァイス、サン・ミゲル及イタビラ地方リオ・デ・ジャネイロ州のサン・フイデリス、バトーヤ州の北東部に當るアンブランダス及マラニオン州のシャバード地方にも産出せらる。

硫黄―リオ・グランデ・ド・ノルテ州クラエス・ノーヴオスに於て大量に産出し又バトーヤ州サン・ト・アマロの硫化鐵は主として硫黄採取の目的を以て探掘せらる。

アルミニウム―ミナス・ジュラエス州のモッカには古くより鐵礬土の埋藏するもの多量なり又同州ボーン・デ・カルダスに於ては火山岩の分解の結果アルミニウムの埋藏するものありアマゾン河の沖積層の鐵礬土中アルミニウム層の形成するものあり。

石英―石英即ち水晶は伯國到處に産し就中レンズ用の最高品はゴヤース及ミナス・ジラエス兩州の州境をなすクリスタエス山に産しバイーヤ州に於ても各地に良質の水晶を産し北米、日本及獨逸等に輸出せらる。

モナザイト砂―主としてバイーヤ、エスピリト・サント及リオ・デ・ジャネイロ州の海岸に於て採取せられ之よりトリウム及セリウムを抽出し工業價值大なり。

瀝青炭―サン・パウロ及サンタ・カタリナ州の二疊紀土中に多量に存在し従て同地方には石油の存在すること明なるも未だ石油採掘の域に達せず。

泥炭―泥炭は植物性より成る可燃性物質の稍炭化したものにして伯國中有名な泥炭層はバイーヤ州カマムー州灣奥のマラクー川岸にありマラウー泥炭は之を蒸溜し噸當り四百基瓦の可燃油を得其他伯國には各地に互り泥炭層多し。

アスファルト―バラナー州の二疊紀土層サン・パウロ州プエテ山脈並バイーヤ州イリオエス及サント・アマロ島並トードス・オス・サントス海中にアスファルト層あるも未だ之が採掘に至らず。

石灰及大理石―石灰岩は諸種工業上の有用材料にして自然狀態に於ける用途廣く、又硅質及マグネシウムを含有するものは高熱溶鐵爐に使用せられ純粹なるものは鋼鐵の鑄造、炭酸曹達、

硝子、鹽酸加里、無水炭酸の製造に缺くべからざるものなり尙各種の建築に使用せらる伯國は石灰岩の種類に富み良質の大理石を産すボドケナ大理石(マト・グロソ州産)は多様の色斑を有し之を磨けば美麗なる光澤を呈すガラデラ大理石(ミナス・ジラエス州産)も亦多様の色斑を有す。

ダイヤマンチナ(バイーヤ州)及アラリベ山脈(セアラ州)より産出する石灰岩は印刷板として其用途頗る廣し石灰石の用途中最も重要なものはセメント製造にありセメントは石灰土及硅土の混合に依り成るものなるが或種の石灰石は既に適當量の粘土を含有し他物の混合を用ひず既にセメントを構成するものありて之を天然セメントと稱し人爲的に混合し製造したるものをポルトランドと稱す伯國には其何れをも産出するも其量尙多からず。

雲母―雲母の主産地はゴヤース、バイーヤ及ミナス・ジラエス州にして就中ミナス・ジラエス州サンタ・ルジア・ド・カラソゴラ及ゴヤース州のミカ・ボンテの鑛層は最も著名なり。

石綿―主として不燃性物質の製造に使用せらるミナス・ジラエス州に於てはオーロ・ブレト、サブラ及ボンボ、バイーヤ州に於てはカエテ及イタビラに産す。

石炭―サンパウロ州南部よりリオ・グランデ・ド・スール州に至り石炭の存在すること實證せられ居るも石炭採掘は未だ發達の域に達せず。

現今探炭中の炭坑を列擧すれば次の如し。

サンタ・カタリナ州

アラランゲア炭坑、ラウロ・ミレル炭坑、ブロスベラ炭坑、ウルスンガ炭坑及クレシマ炭坑

リオ・グランデ・ド・スール州

サン・ジエロニモ炭坑及ブチアー炭坑

伯國炭を特別裝置を以て粉炭とし之を使用すれば頗る効果ありて其火力カーディフ炭と異なる所なし。

石油—アラゴアス、バイーヤ、セアラ、セヤース、マラニョン、ミナス・ジェラエス、パラナ—及びリオ・グランデ・ド・スールの諸州に於て石油存在の徴候あるも未だ之が採掘の運に至らず只近來サン・パウロ州に於て工業的に石油製造を計畫し近々國産ガソリンの低價供給を企てつゝあり。

鑛泉—伯國は到る處鑛泉に富む其著名なるものを擧ぐれば次の如し。

セアラ州—タンボールの硫化泉アラカチー附近のサンタ・キテリア温泉バルバリオ近傍カ

ルタズ鑛泉カリリ地方の硫黄泉並同温泉。

パライーバ州—サンジョアン・ドリオ・デ・ペイシエには温泉二ヶ所あり。

ベルナンズコ州—バジレイ・デ・フロレスの炭酸泉。

バイーヤ州—イタビクル川畔には鹽素酸カリウムに富む温泉數ヶ所ありミナス・ドリオ・ダス・コンタスには曹達鹽を含有せる温泉あり又尚リオ・シボアの冷泉はラヂウム活泉として有名なり。

リオ・デ・ジャネイロ州—バラヒハ・ド・スールには鑛泉、炭酸泉及重炭酸曹達泉の湧出するありマゲー郡のサンタリタ町の重炭酸曹達泉は肝臓病及胃病に特效あり。

聯邦府—チジェカに湧出する鑛泉は炭酸化鐵及アルカリ性炭酸を多量に含有するを以て有名なり。

パラナ州—シャベコの鑛泉は溫度三十四度以上に達する硫黄にしてカンボ・ラルゴ郡オリロ・フィノ鑛泉は重炭酸曹達を含有す。

サンタ・カタリナ州—同州には温泉多くツパロシエス、ペドラス・グランデス温泉は溫度四十一度カルダス・ダ・インペラトリス温泉は四十度に達す。

一四八

リオ・グランデ・ド・スール州―サン・ガブリエル温泉は炭酸化合物及沃化鐵を多量に含む。
 サン・パウロ州―同州には多數の温泉ありて既に完全なる開發を見ヴァリニョス、及リンドー
 ヤの強力なるラヂウム温泉として有名なり。
 マト・グロソ州―クヤバー川岸に位するフラード温泉はマグネシウム泉として有名にして
 其溫度攝氏四十二度に達す。
 ミナス・ジェラス州―同州ハ伯國中温泉最も多く且其種類も多様なり。
 伯國に於ける礦物輸出狀況左の如し。

年次	數量	指數	價額(コント)	指數
一九一〇年	二七一	一〇〇	一四、九五六	一〇〇
一九一一年	一七九	六六	一三、九八三	九三
一九一二年	一六一	六〇	一三、二五七	八九
一九一三年	一三〇	四八	一〇、五九〇	七一
一九一四年	一八七	六九	一三、一七二	八八
一九一五年	三〇三	一一二	二二、八七〇	一五三
一九一六年	五二二	一八九	四三、〇三九	二八八
一九一七年	五三六	一九八	七二、四四一	四八四

一九二九年中伯國に輸入されたる魚類中干鰯のみにて三萬七千七百八十噸、此價額伯貨七千
 一四九

年次	數量	指數	價額(コント)	指數
一九一八年	四〇〇	一四八	五四、一八七	三六二
一九一九年	二二二	七八	二八、二五六	一八九
一九二〇年	四三七	一六九	五一、一二三	三四二
一九二一年	二七二	一〇二	三二、七二八	二一九
一九二二年	三四三	一二七	三五、三六〇	二二六
一九二三年	二四二	八九	四四、八八五	三〇〇
一九二四年	一六五	六一	三五、七六八	二二九
一九二五年	三二〇	一一八	四六、三九五	三一〇
一九二六年	三三四	一二三	四一、四五五	二七七
一九二七年	二五九	九六	四〇、三九八	二七〇
一九二八年	三八〇	一四〇	五八、七二二	三九三
一九二九年	三二七	一二〇	四五、三九六	三〇三
合計	五、九八五	一一〇	七一八、九七一	一
英貨單位(一〇〇)	二九八	一	三五、九四八	一
換算單位(一〇〇)	一	一	二九、〇六八	一
換算年平均額	一	一	一、四五三	一

八百六十萬ミルreisに達し之を英貨に換算すれば約二百萬磅に相當す。
然るに伯國の沿海並河川には數百種の魚族あるのみならず食用魚類も極めて多量棲息するを以て組織的に漁獵を行ふに於ては祐に自國產魚類を以て國內需要を充し得べきや必せり従て伯國政府も此點に着眼し近年内國漁業の保護獎勵に關し大に努力する所ありたり然れども未だ所期の目的を達するに至らず。

伯國に於ける鱈輸入状況左の如し。

年次	數量	價額(ミルreis)
一九二二年	一六、三二〇、五一四	三一、六七三、八三三
一九二三年	一五、八一七、七六七	三〇、九一〇、八六二
一九二四年	一九、三九四、一二二	四二、三三一、三四五
一九二五年	二二、七八一、三七四	五三、二四〇、八四一
一九二六年	三六、九七八、〇〇〇	六三、一八〇、〇〇〇
一九二七年	三六、〇八七、九六二	六六、五六八、二八五
一九二八年	四一、〇三二、一八九	八〇、八六四、三七五
一九二九年	三七、七八〇、〇〇〇	七八、六〇七、〇〇〇

伯國に於ける罐詰魚類輸入状況左の如し。

年次	數量	價額(ミルreis)
一九二二年	一、二〇二、二四三	三、二六三、五六五
一九二三年	一、二七六、三八六	四、八一三、六六〇
一九二四年	一、二二二、八五四	九、二八七、四一八
一九二五年	八一六、七六四	二、九六三、六四九
一九二六年	七六一、六一九	二、五七五、六三三
一九二七年	五六〇、九〇四	二、二九九、〇七八
一九二八年	九二八、一六六	三、六〇一、一五三
一九二九年	八三五、六〇〇	三一〇〇、七三九

(ト) 工業

伯國は從來農業國にして工業は同國産業上重要な地位を占め來りざりしも歐洲大戰の結果從來外國に仰ぎたる加工品の輸入減退等に歸因し大戰中より戰後に互り伯國工業は急激なる進歩を來し今や工業は伯國産業中重要な地歩を占めつつあり殊に同國は各種工業用資源に富み且水力豊富なるを以て將來世界的工業國として有望なる未來を有す今伯國工業の發達状況を概観せんに一九二〇年に於ける伯國王場數は一萬三千五百、之に對する投下資本額約二十億ミルreis、使用勞働者數二十七萬五千人にして其生産額約三十億ミルreisなしかが一九二六年に於ては其生産

額七十二億ミルreisに達し工業の急激なる進歩を窺ふことを得べし。
 伯國に於ける工業生産額左の如し (單位：キルreis)

年次	數	價額(ミルreis)
一九一九年	三、七三、三五九	一五二
一九二〇年	一、三五二、三三七	
一九二一年	三、〇〇〇、〇〇〇	
一九二二年	七、二〇〇、〇〇〇	

(一) 紡績業 紡績業は伯國製造工業の首位を占め一九二八年現在の工場數三四七、其資本總額六六九、九二二、九二六ミルreis社債一八〇、七九六、五〇九ミルreis積立金三三六、二〇〇、二八九ミルreisにして之に使用する労働者は約二十萬人なり。

伯國に於ける綿織物輸入状況左の如し。

年次	數	價額(ミルreis)
一九一八年	四、六九九、六七三	六、五二一、七三九
一九一九年	三、七二三、四七三	五三、〇〇七、四七〇
一九二〇年	四、八六七、三八八	九八、五二三、〇四二
一九二一年	二、〇一六、二五二	一〇五、七七五、二六六

伯國に於ける綿織物輸出状況左の如し。

年次	數	價額(ミルreis)
一九一八年	一、一三〇、三五五	一、一〇六、二二五
一九一九年	一、一〇、四五〇	八七三、七二四
一九二〇年	一、三五、一九九	一、六四八、五二五
一九二一年	五、五五、四二七	四、九五六、三一〇
一九二二年	七、七九、三六五	六、二二一、〇六九
一九二三年	七、八五、七七一	九、七五二、四三四
一九二四年	五、七、二四二	六、七九二、二六
一九二五年	二、三、三四二	二、四一、五二八

伯國に於ける絹織物生産状況左の如し。

年次	数量	價額(ミルレイズ)
一九二六年	二四、九九六	二〇、六五四
一九二七年	七、九八四	七、六三四
一九二八年	二六、七五四	二二、三三一
一九二九年	一九、九六〇	一八、二〇七

伯國に於ける紡績工場数左の如し。

年次	数量	價額(ミルレイズ)
一九二四年	六三六、九五二、八六〇	七七五、七九一、〇五三
一九二五年	六七〇、五七七、九六二	九七四、三四〇、四〇八
一九二六年	六九〇、九〇三、七四三	九八、一〇八、三二七
一九二七年	六九五、〇六三、八二六	九七四、五五五、三五三
一九二八年	六二九、九四二、五八七	九二九、三〇八、〇六七

(二) 絹織物業 晩近伯國に於ける絹織物の擡頭著しく一九二八年に於けるサン・パウロ州産蠶

年次	数量	價額(ミルレイズ)
一九一五年	二四〇	三五四
一九二四年	二四四	三四七
一九二五年	二五七	三四七
一九二六年	三二九	三四七

繭二十萬基瓦に達せり伯國は其の氣候地味等良く養蠶に適し年五回乃至八回の上簇を見るを以て將來伯國の養蠶業は日本及伊太利を凌駕するの目を見るも敢て過言に非ざるべしと信せらる。ミナス・ジウリス州バルバセナ市附近に於ては既に五十萬株の桑樹栽培せられ一九二九、一九三〇年度蠶繭豫想高は約六千基瓦なり現今サン・パウロ州には絹織物工場四十ありて之が就業職工五千人以上に達し織機二千臺此の紡績數二萬以上にして其總資本額五千二百四十萬ミルレイズなり。尚サン・パウロ市には年四十萬基瓦を生産する人絹工場あり又最近英國實業團は五、五七五、〇〇〇磅を投じてサン・パウロ、パラナノ及サンタ・カタリナ州内に絹糸工場の設立を計畫中なり。

伯國に於ける絹織物輸入状況左の如し。

年次	数量	價額(ミルレイズ)	磅換算(磅)
一九二二年	五一、六〇三	六、五六〇、〇一〇	一九六、八七三
一九二三年	三七、四三八	五、九二八、四〇五	一三三、六二七
一九二四年	六七、〇〇七	九、七六六、四六五	二四〇、〇九七
一九二五年	八五、七九八	一一、四五〇、三五二	二八二、九三四
一九二六年	九〇、六九〇	一〇、七九五、三〇〇	三一九、〇三九
一九二七年	四八、一八八	八、〇四七、九四一	一九五、六四一
一九二八年	三九、九三〇	七、四七一、九三八	一八三、三三九

一五五

一九二九年 二〇、四五九 三、七三六、七四五 九一、七九八
(三) 製紙業 伯國に於ける製紙工業は一八八八年其の端を發し一九二〇年伯國に於ける製紙工場數十七、其投資額二二、九九五、二七〇ミルreisなりしが現在に於ては工場數二十三、此の投資額七八、八六〇、〇〇〇ミルreisに達し重要な伯國工業の一を成す。
(四) 冷凍肉工業 最近に於ける伯、亞兩國の冷凍肉輸出狀況を對比する時伯國に於ける冷凍肉工業の著しき發展を窺知し得べし素より伯國の冷凍肉工業は尙近年の事業に屬し之を亞國の夫れに比し尙及ばざる所ありと雖伯國が牧畜に好適する其自然的環境を利用し斯業の開發を計らば其冷凍肉輸出國として將來洋々たるものあり現今伯國に設立せられたる大規模冷凍肉工場十五に上る。
(五) 其他の農産加工工業 一九二九年伯國農産物總生産高は重量に依るもの二一、〇七一、二九一噸容積に依るもの二九四、〇二〇、七〇〇リットルにして此價額七、六四九、四九四、五八九ミルreisに達せり是等農産物は國內の需要に充てらるゝものと海外に輸出せらるゝものとの別無く之が市場に搬出以前に於て或る程度の調整加工を受けるが故に農産加工工業も從て相當の發達を見つあり。

(六) 其他の工業 製材業、冶金業、陶器業、化學工業等の工業もあるも未だ特記すべきものなし。
リオ・デ・ジャネイロに於ける工場數及其資本額左表の如し。

工場の種類	工場數	就業人員	資本額(ミルreis)
織物業	一〇八	二四、八三六	二七九、二七六、〇〇〇
獸皮業	三三	七九二	八、三三三、〇〇〇
製材業	一一二	二、二〇六	二二、三四五、〇〇〇
製絲業	二〇六	七、一〇五	三三、五五四、〇〇〇
陶磁器業	一〇六	三、〇二二	一六、三九七、〇〇〇
化學工業	二九〇	四、七四六	六七、二二九、〇〇〇
食料品業	二四〇	九、一一二	一一、一五二、〇〇〇
衣服、化粧品業	四七六	一二、七九九	五二、三三一、〇〇〇
家具製造業	一八五	四、一二三	一一、二四〇、〇〇〇
建築業	七五	一、〇九三	四、五六七、〇〇〇
運送業	六〇	二、六三三	一六、五九八、〇〇〇
動力工業	三	六四八	一五、二一八、〇〇〇
美術工物品工業	三四	四一一	二、四五七、〇〇〇
合計	一九三七	九三、五二五	六四一、六六一、〇〇〇
			一五七

五、外國貿易

伯國の外國貿易は逐年隆盛に赴き一九二九年に於ける輸出總額三十八億六千四百八十八萬二千ミル
 レイス輸入總額三十五億二千七百七十三萬八千ミルレイスに達せり。
 伯國輸出入貿易狀況左の如し（風袋込重量）（單位千噸）

年次	輸入	輸出	總量	重差 （出超）（入超）
一九〇六年	二、八七一	一、三九四	四、二六五	一、四七二
一九〇七年	三、二七〇	一、五四九	四、八一九	一、七二一
一九〇八年	三、三〇〇	一、二九三	四、五九三	二、〇〇七
一九〇九年	三、四一四	一、七〇七	五、一二一	一、七〇七
一九一〇年	三、九六五	一、二八六	五、二五一	二、六七九
一九一一年	四、二五五	一、二八〇	五、五三五	二、九七五
一九一二年	五、二〇七	一、三〇一	六、五〇八	三、九〇六
一九一三年	五、九三八	一、三八二	七、三二〇	四、五五六
一九一四年	三、四七八	一、三一〇	四、七八八	二、一六八
一九一五年	二、八〇〇	一、八〇九	四、六〇九	九九一

一五八

伯國輸出入貿易額左の如し。（單位千噸）

年次	輸入額	輸出額	總額	重差 （出超）（入超）
一九〇六年	四、九二八	七、九六七	一二、八九五	三、〇三八
一九〇七年	六、四四九	八、六〇八	一五、〇五七	二、一五五
一九〇八年	二、六四四	二、〇一七	四、六六一	七三三
一九〇九年	二、七四〇	一、七七一	四、四六一	一、〇六九
一九一〇年	二、七七八	一、九〇八	四、六八六	八七八
一九一一年	三、二七二	二、一〇一	五、三七三	一、一七一
一九一二年	二、五七八	一、九一九	四、四九七	六五九
一九一三年	三、二六四	二、二二二	五、三八六	一、〇四二
一九一四年	三、五七六	二、二二九	五、八〇五	一、三四七
一九一五年	四、四二八	一、八三五	六、二六三	二、五九三
一九一六年	五、〇一八	一、八五八	六、八七六	三、〇八八
一九一七年	四、九四六	一、八五八	六、八〇四	三、〇八八
一九一八年	五、五二〇	二、〇一七	七、五三七	三、五〇三
一九一九年	五、八三九	二、〇七五	七、九一三	三、七六三
一九二〇年	六、一〇八	二、一八九	八、二九七	三、九一九

一五九

一九〇八年	五九七、二七二	七〇五、七九一	一、二七三、〇六三	一三八、五九一
一九〇九年	五九二、八七六	一、〇一六、五九〇	一、六〇九、四六六	四二二、七一四
一九一〇年	七三三、八六三	九三九、四一三	一、六五三、二七六	二二五、五五〇
一九一一年	七九三、七一六	一、〇〇三、九二五	一、七九七、六四一	二一〇、二〇九
一九一二年	九五一、三七〇	一、一九七、三七七	二、〇七一、一〇七	一六八、三六七
一九一三年	一、〇〇七、四九五	九八一、七六八	一、九八九、二六三	二五、七二七
一九一四年	五六一、八五三	七五五、七四七	一、三一七、六〇〇	一九三、八九四
一九一五年	五八二、九九六	一、〇四二、二九八	一、六二五、二九四	四五四、三〇二
一九一六年	八一〇、七五九	一、一三六、八八八	一、九四七、六四七	三二六、二九
一九一七年	八三七、七三八	一、一九二、一七五	二、〇二九、九一三	三五四、四三七
一九一八年	九八九、四〇四	一、一三七、一〇〇	一、一二六、五〇四	一四七、六九六
一九一九年	一、三三四、二五九	二、一七八、七一九	三、五二二、九七八	八四四、四六〇
一九二〇年	二、〇九〇、六三三	一、七五二、四一一	三、八四三、〇四四	三三八、三二二
一九二一年	一、六八九、八三九	一、七〇九、七三二	三、三九九、五六一	一九、八八三
一九二二年	一、六五二、六三〇	二、三三二、〇八四	三、九八四、七一四	六七九、四五四
一九二三年	二、二六七、一五九	三、二九七、〇三三	五、五六四、一九二	一〇二九、八七四
一九二四年	二、七八九、五五七	三、八六三、五五四	六、六五三、一一一	一〇七三、九九七
一九二五年	三、三七六、八三二	四、〇二一、九六五	七、三九八、七九七	六四五、一三三

一九二六年	二、七〇五、五五三	三、一九〇、五五九	五、八九六、一一二	四八五、〇〇六
一九二七年	三、二七三、一六〇	三、六四四、一一八	六、九一七、二八一	三七〇、九五五
一九二八年	三、六九四、九九〇	三、九七〇、二七三	七、六六五、二六三	二七五、二八三
一九二九年	三、五二七、七三八	三、八六〇、四八二	七、三八八、二二〇	三三二、七四四

伯國輸出入貿易額
(單位 コト)

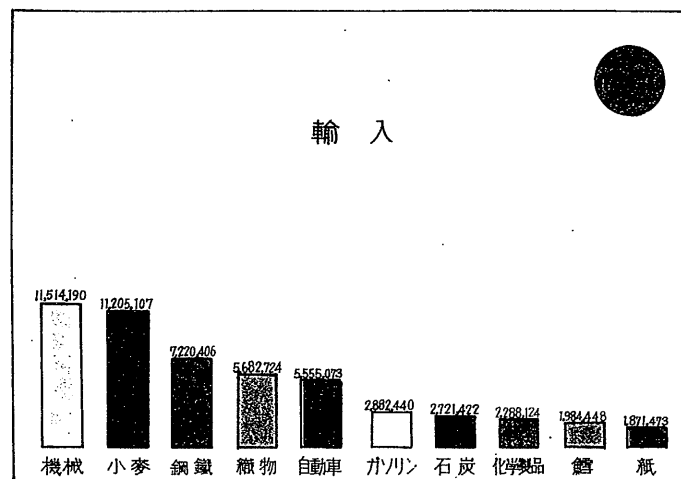


輸入 輸出

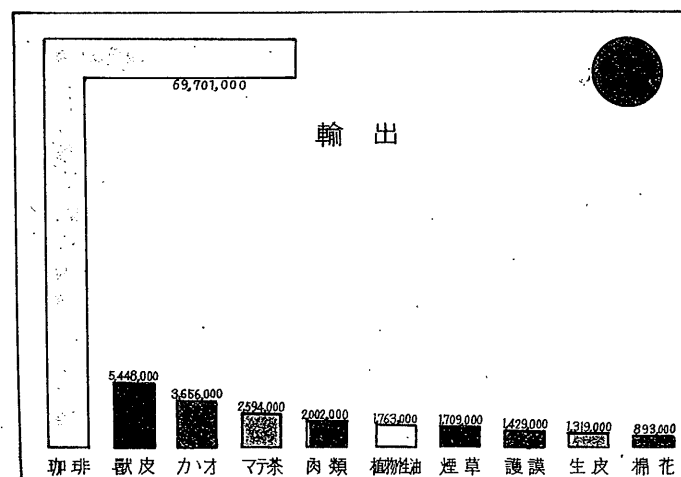
一九二八年ニ於ケル伯國主要輸出入品價額圖表

(單位 磅)

輸 入



輸 出



(一) 輸 出 貿 易

仕向地方別伯國輸出貿易状況左の如し。(単位 ミルレイズ)

地方別/貿易額	一九二七年	一九二八年	一九二九年
亞 非 利 加	七八、三三八、〇〇〇	七八、八八八、〇〇〇	八七、五八六、〇〇〇
北部並中央アメリカ	一、六一七、四六四、〇〇〇	一、八一三、八三五、〇〇〇	一、六四五〇、四六〇、〇〇〇
南アメリカ	三三二、四二九、〇〇〇	三六二、一九五、〇〇〇	三八三、九二五、〇〇〇
亞 細 亞	二、七八六、〇〇〇	二、四九一、〇〇〇	五、一〇三、〇〇〇
歐 羅 巴	一、五八二、三七九、〇〇〇	一、七二一、八〇三、〇〇〇	一、七三八、五八八、〇〇〇
太 平 洋	四一、〇〇〇	六一、〇〇〇	二三四、〇〇〇
合 計	三、六〇三、四〇五、〇〇〇	三、九七〇、二七三、〇〇〇	三八六〇、四八二、〇〇〇

仕向國別伯國輸出貿易状況左の如し。(単位 ミルレイズ)

國 別/貿易額	一九二七年平均額	一九二八年	一九二九年
北 米 合 衆 國	一、六〇八、八〇五、〇〇〇	一、八〇四、四四二、〇〇〇	一、六二九、八〇七、〇〇〇
フ ラ ン ス	四〇二、〇八九、〇〇〇	三六三、九五六、〇〇〇	四二九、四四〇、〇〇〇
イ タ リ ヤ	二七二、三七七、〇〇〇	四四四、五八二、〇〇〇	三三八、一二二、〇〇〇
オ ー ス トラ リ ア	二二六、九二二、〇〇〇	二二八、六八五、〇〇〇	一八九、九四二、〇〇〇
イ ン ド	二二五、四九七、〇〇〇	一九七、〇二二、〇〇〇	一八〇、〇四四、〇〇〇
イ ン ドネシア			一六三

伯國產主要品輸出状況左の如し。(単位 ミルreis)

品目/貨名	一九二一年平均額	一九二八年	一九二九年
アルゼンチン	二〇四三九八、〇〇〇	二三五六八〇、〇〇〇	二四五、二七九、〇〇〇
イギリス	一五九、二〇三、〇〇〇	一三六、七〇一、〇〇〇	二五二、三七七、〇〇〇
ウルグアイ	一〇二、二五二、〇〇〇	一〇二、九二〇、〇〇〇	一一八、四〇三、〇〇〇
ペルギ	九四、七一六、〇〇〇	一〇八、八八一、〇〇〇	一〇七、八四二、〇〇〇
スウェーデン	八〇、九四八、〇〇〇	九二、八六二、〇〇〇	八七、八九六、〇〇〇
デンマーク	三七、八二三、〇〇〇	三八、二八九、〇〇〇	四〇、六四七、〇〇〇
ポルトガル	二九、二五五、〇〇〇	一七、五六八、〇〇〇	二〇、六九八、〇〇〇
カカオ	一九、二二一、二七一年平均額	一九二八年	一九二九年
珈琲	二、五七五、三一、〇〇〇	二、八四〇、四一四、〇〇〇	二、七四〇、〇七三、三一四
カカ	一、六四三、五〇〇	一、四八、九六六、〇〇〇	一、〇四、九四三、八八〇
カカ	一、〇九四、四四、〇〇〇	五八、九八八、〇〇〇	六二、一四〇、三三九
カカ	一、〇九〇、一七、〇〇〇	二、二二、一三八、〇〇〇	一、九四二、八五二、〇〇
カカ	九四、九四五、〇〇〇	一一四、八三五、〇〇〇	一一四、九三五、四一四
カカ	一八、七九七、五九四	二七、一三三、九七六	三七、四七六、二七一
カカ	七三、一六九、〇〇〇	三六、三九二、〇〇〇	一五三、九一四、八〇九
カカ	六八、五三六、〇〇〇	六五、九六六、〇〇〇	六一、五九九、七四七
カカ	四一、八三〇、〇〇〇	二〇、八三二、〇〇〇	九、〇二九、七三一

最近十ヶ年間に於ける伯國輸出状況左の如し。

品目/貨名	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年	一九二七年	一九二八年	一九二九年
アラビヤ胡椒	四一、七八〇、〇〇〇	三八、〇九七、〇〇〇	三七、二一六、一六五						
胡椒	四一、〇三〇、〇〇〇	五三、七三三、〇〇〇	四九、五五四、二一〇						
胡椒	三八、二八二、〇〇〇	七四、八三九、〇〇〇	一〇一、〇七六、七〇七						
胡椒	二七、〇四二、〇〇〇	二二、五二一、〇〇〇	二六、六六二、〇一八						
胡椒	二四、六〇九、〇〇〇	三七、〇四三、〇〇〇	二八、五七九、〇九六						
胡椒	二二、四四〇、〇〇〇	二六、八八四、〇〇〇	三〇、四〇一、〇七八						
胡椒	二一、〇九四、〇〇〇	二八、六二四、〇〇〇	二四、七六五、八六四						
胡椒	七九、一二三、〇六九	七一、八五五、五五〇	六六、六九七、〇六六						
胡椒	九、七九一、〇〇〇	八〇、三〇一、七	五、五七四、六三二						
胡椒	三、〇九五、〇〇〇	二、〇八三、〇〇〇	二、四七三、五三一						
胡椒	一九、〇八〇、〇〇〇	二、一七八、七一、九三七六							
胡椒	一九、〇一〇、〇〇〇	一、七五二、四一〇、八七一							
胡椒	一九、一九〇、〇〇〇	一、七〇九、七三二、三八一							
胡椒	一九、二二〇、〇〇〇	二、三三二、〇八四、四三一							
胡椒	一九、二二〇、〇〇〇	二、二九七、〇三三、〇九九							
胡椒	一九、二二〇、〇〇〇	三、八六三、五五四、〇三四							
胡椒	一九、二二〇、〇〇〇	一、八三五、〇〇〇							

伯國州別主要輸出品目左の如し。

州別

品目

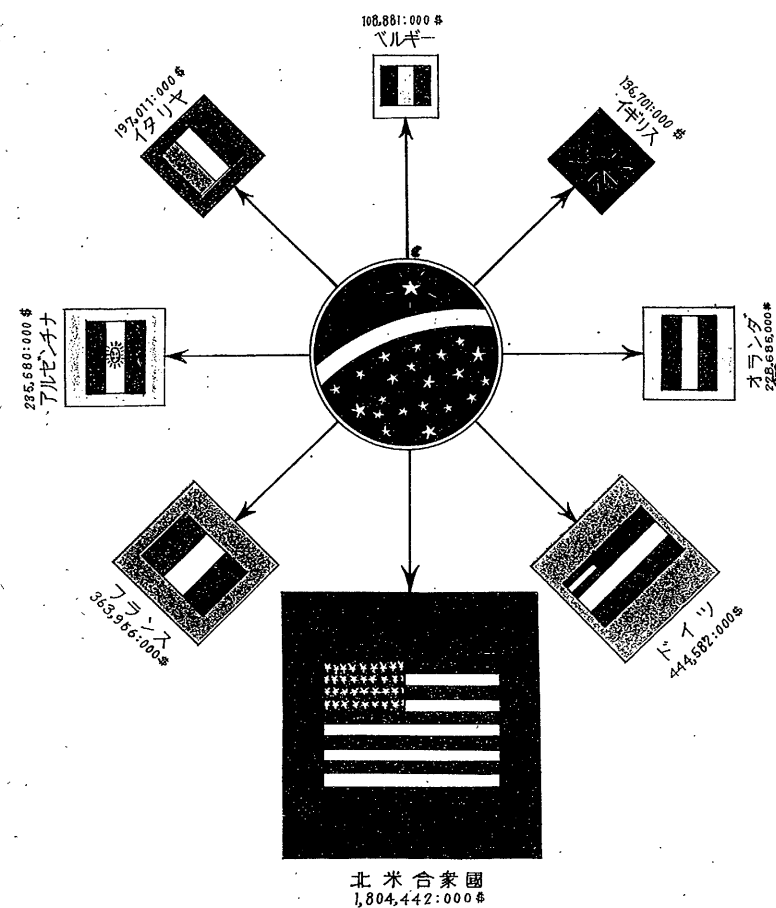
一九二五年	一、九二五、〇〇〇	四、〇二二、九六五、二五一	一六六
一九二六年	一、八五八、〇〇〇	三、一九〇、五五九、三二八	
一九二七年	二、〇一七、〇〇〇	三、六四四、一七、五五五	
一九二八年	二、〇七五、〇〇〇	三、九七〇、二七三、〇〇〇	
一九二九年	二、一八九、〇〇〇	三、八六〇、四八一、六八一	
アマゾナス	護謨、ブラジル胡桃、材木、コ、ア、製油用果實、魚膠、ビ アサグア		
パラナ	護謨、材木、ブラジル胡桃、製油用果實、コ、ア、グアラナ 玉蜀黍、米、棉花、マニオク澱粉、ババース		
マラニョン	ババース、米、生皮、棉花、其他十五種		
ビアラウイ	ババース、米、生皮、棉花		
セアラ	棉花、砂糖、織物、護謨、コ、ナツ		
リオ・グランデ・ド・ノルテ	棉花、鹽、砂糖、カルナウバ臘、護謨、コ、ナツ		

パラナ	棉花、砂糖、油類		
ペルナンブコ	砂糖、綿織物、棉花、珈琲、生皮製油用果實、酒精、コ、ナ ツ、唐胡麻、食卓用果物		
アラゴアス	砂糖、酒精、棉花、コ、ナツ、綿織物		
セルジペ	砂糖、綿織物、棉花、米、煙草、生皮、コ、ナツ		
バイヤ	コ、ア、煙草、珈琲、獸皮、生皮、砂糖、コ、ナツ、ビアサ グア、カルナウバ臘、マニソウバ、寶石、唐胡麻		
エスピリト・サント	珈琲、材木、モナザイト砂、穀類、コ、ア		
リオ・デ・ジャネイロ	珈琲、砂糖、米、玉蜀黍、果物、牛肉、鹽、豆、牛乳、煙草 バター		
サン・パウロ	珈琲、牛肉、獸皮、果物、棉花、織物、帽子、米、豆、煙草 葡萄酒		
パラナ	珈琲、マテ茶、材木、穀類、家畜、家具、葡萄酒、豚油、チ ーズ		

サンタ・カタリナ リオ・グランデ・ド・スール	マテ茶、材木、豚油、織物、バター、米、豆、石炭、チーズ、豚油、乾肉、米、獸皮、木材、豆、煙草、葡萄酒、荒粉、マニョク澱粉、冷凍肉、材木、洋葱、織物、アルファルファ、石炭	一六八
ミナス・ジエラエス マト・グロッソ	珈琲、鑛石、家畜、米、豆、煙草、チーズ、バター、葡萄酒、護謨、マテ茶、金剛石、珈琲、生皮、獸皮	
ゴヤース	珈琲、家畜、米、煙草、寶石、豆	
伯國港別輸出状況左の如し。(単位: コント)		
港別/輸出額		
サンタ・カタリナ	一九二二七年平均額	一九二八年
リオ・グランデ・ド・スール	一九二二七年平均額	一九二九年
サン・サルヴァドル	一九二二七年平均額	一九二九年
グアイクトリア	一九二二七年平均額	一九二九年
マナオス	一九二二七年平均額	一九二九年
レシフ	一九二二七年平均額	一九二九年
ベレム	一九二二七年平均額	一九二九年
リオ・グランデ	一九二二七年平均額	一九二九年
伯國州別輸出状況左の如し。(単位: コント)		
州別/輸出額		
アマゾン	一九二二七年平均額	一九二八年
パラナ	一九二二七年平均額	一九二九年
フカルタレザ	一九二二七年平均額	一九二九年
アントニナ	一九二二七年平均額	一九二九年
サン・フランシスコ	一九二二七年平均額	一九二九年
アラウイ	一九二二七年平均額	一九二九年
セアラ	一九二二七年平均額	一九二九年
リオ・グランデ・ド・ノルテ	一九二二七年平均額	一九二九年
パラナ	一九二二七年平均額	一九二九年
ペルナンブコ	一九二二七年平均額	一九二九年
アラゴアス	一九二二七年平均額	一九二九年
セラ	一九二二七年平均額	一九二九年
パルミヤ	一九二二七年平均額	一九二九年
エスピリト・サント	一九二二七年平均額	一九二九年

伯國輸出額主要國別圖

(一九二八年)
(單位 ミルreis)



リト・デ・ジャネイロ
サン・パウロ
パラナ
サンタ・カタリナ
リオ・グランデ・ド・スール
マト・グロッソ

一二五、〇九三
一、九一九、九一九
八七、三九九
三二、四〇五
一五八、二九二
一〇、一六二

五八四、五七八
二、〇九五、七八八
一六三、七五九
四一、九九二
二二〇、九六七
三二、八四七

一七〇

五〇八、〇二一
二、〇九八、〇〇三
一三七、四四二
三三、一九五
二〇八、三三二
五八、三六三

(二) 輸入貿易

伯國は天然資源に富むも製造工業の未だ充分發達せざる爲め農産品を除き製造加工品は之を外
 國よりの輸入に仰ぎつゝある現状なり。

今伯國輸入主要品の價額を表示すれば左の如し。(單位ミルreis)

品目/輸入額	一九二七年(平均額)	一九二八年	一九二九年
小麦	二六、二六六、〇〇〇	三、九八八、九七四	三、一〇二、〇七〇
小麥	二五、八八九、〇〇〇	一、三六、七六四、三九四	九、九六〇、一〇〇
鐵製	三、七四一、八〇〇	二、九四二、五九、一二二	二、九一八、八九〇、〇〇
機械	三、八四二、二二〇	四、六九二、四四〇、〇〇三	五、三二七、一五〇、〇〇
織物	一、五二、三四三、〇〇〇	二、三、六〇九、二六四	一、三、七九〇、〇〇〇
綿織	一、四三、五七三、〇〇〇	一、二七、三三三、〇〇〇	一、四六、〇五九、〇〇〇
石炭	一、〇一八、三三、〇〇〇	二、二六、三七六、五六五	二、二七、二四二、〇〇〇
自動車	八〇、七三三、〇〇〇	一、一七、四六四、七七一	一、四七、一三〇、〇〇〇
ガソリン	七〇、〇九九、〇〇〇	七、六二六、二九三	七、三八一、三〇〇
紙	六五、八一八、〇〇〇	九三、二四七、九四七	八〇、七一三、〇〇〇
化學製	五八、四七五、〇〇〇	六、七、六〇〇、四六四	五、九一三、〇〇〇
飲料	五、一二三、〇〇〇	八〇、八六四、三五七	七、八六〇、七〇〇
干鰯			一七一

品名	一九一八年	一九一九年
石油	四九、一四四、〇〇〇	五〇、六三六、三四八
石炭	一九、〇四九、〇〇〇	三、四、五七、〇〇〇
セメント	四三、九五七、〇〇〇	五七、一六五、五四五
陶磁器、硝子製品	三七、一四〇、〇〇〇	四五、八八五、四〇六
羊毛	三六、四六一、〇〇〇	四六、八三四、〇〇〇
生皮、獣皮	三四、一七七、〇〇〇	四六、五九九、〇〇〇
護膜製品	三一、四〇七、〇〇〇	四五、九四二、三四四
燃料	三〇、四六五、〇〇〇	三三、〇二九、〇〇〇
食卓用果物	二七、三三七、〇〇〇	四三、一四四、一四五
オリーブ油	一九、二四二、〇〇〇	三八、四九三、〇八一

右表の如く輸入品中之を自國産品の供給に俟ち得べきもの多々あるに拘らず内國工業未だ發達せざる爲め之を外國に仰ぎつゝある状態なるが同國の有する工業動力並原料品を利用するに於ては同國産業の發達は期して見るべく從て將來同國の輸入は大いに減退するに至るべし。

伯國輸入貿易狀況左の如し。

年次	数量	價額(ミルレイズ)
一九一八年	一、七四〇、〇〇〇	九八、九、四〇四、六〇三
一九一九年	二、七八〇、〇〇〇	一、三三四、二五八、五六三

品名	一九二〇年	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年	一九二七年	一九二八年	一九二九年
石油	三、二七、〇〇〇	二、五七、八〇〇	三、二六、四〇〇	三、五七、六〇〇	四、四二、八〇〇	五、〇一、八〇〇	四、九四、六〇〇	五、五二、〇〇〇	五、八三、九〇〇	六、一〇、八〇〇
石炭	二、〇九、〇〇〇	一、六八、九〇〇	一、六五、二〇〇	二、二六、七〇〇	二、七八、九〇〇	三、三七、六〇〇	二、七〇、五〇〇	三、二七、三〇〇	三、六九、四〇〇	三、五二、七〇〇
セメント	一、六八、九〇〇	一、六五、二〇〇	二、二六、七〇〇	二、七八、九〇〇	三、三七、六〇〇	二、七〇、五〇〇	三、二七、三〇〇	三、六九、四〇〇	三、五二、七〇〇	三、五二、七〇〇
陶磁器、硝子製品	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇
羊毛	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇
生皮、獣皮	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇
護膜製品	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇
燃料	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇
食卓用果物	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇
オリーブ油	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇	一、〇六、一〇〇

仕出地方別伯國輸入貿易狀況左の如し。(單位コント)

地方別/輸入額	一九二二—二八年平均額	一九二八年	一九二九年
亞弗利加	八三、五、一一一	一〇六、一、九七七	一、一四六、〇四七
アメリカ並ニ中央アメリカ	三七、一、九〇五	五〇、四、八一三	四六、四、二三七
南アメリカ	四三、四、二一一	三五、四、八五五	四六、四、六五五
歐洲	一、六二九、二八六	二〇、九〇、七九五	一、八六八、〇五五
大洋洲	七〇〇	六四八	六二七

仕出別伯國輸入貿易状況左の如し。(単位コント)

國別/輸入額	一九二二—二七年平均額	一九二八年	一九二九年
北米合衆國	七五〇、三〇五	九八一、七二〇	一〇六三、一〇〇
ドイッチ	三六四、八五七	四六〇、六六五	四四七、五二四
フランス	一八二、一二三	二三四、五五二	一八七、三六三
アルゼンチン	三三三、六八二	四二六、三五七	三八五、六七五
イギリス	六四五、〇七〇	七九五、四七八	六七七、七五七
ペルー	一〇九、九〇九	一四五、五九九	一五七、五〇七
オランダ	三七、九三八	六九、三三五	六二、八二〇
スウェーデン	二二、一二〇	二九、三九四	三八、二六七
ウルグワイ	二九、三三八	四〇、六〇一	二八、二二八
ポルトガル	五四、九七六	七五、七一七	五四、六七〇
スペイン	三〇、二三五	三五、七四二	三〇、二七八
ノルウェー	二二、二五三	三〇、八二六	二五、四一四
カナダ	二八、二五三	一二、四九七	一一、八〇七
デンマーク	一〇、九三三	一四、四三〇	一四、二八〇
フィンランド	八八、四四	一三、八四五	一二、四四二
南亞弗利加聯邦	八二三	四二二	一、六三一

一七四

伯國港別輸入状況左の如し。(単位コント)

港別/輸入額	一九二二—二七年平均額	一九二八年	一九二九年
リオ・デ・ジャネイロ	一、二〇〇、五八八	一、四七五、六六〇	一、二九四、〇一三
サン・トス	一、〇六〇、〇九七	一、四七九、三八九	一、四〇七、四九一
レシフ	一四三、八二二	一六八、一二九	二〇八、九三四
サン・サルヴァドル	九一、九九八	一七〇、〇一八	一〇三、一五七
ホルト・アレカレ	八一、三九九	一一八、〇二八	一五四、〇五三
リオ・グランデ	六六、四九五	七四、四一三	七五、四二八
ペレム	四一、四二二	五〇、七二三	四五、八二二
フォルタレザ	二四、二〇〇	二五、一四九	二八、八六〇
マセイカー	二〇、七六八	二二、五〇三	二四、二七四
サン・フランシスコ	一八、八八七	一六、〇一七	一六、一五三
マナガス	一七、五六七	一四、〇四一	一三、二六七
パラナグア	一七、〇六〇	二〇、七四八	三〇、六二八
伯國州別輸入貿易状況左の如し。(単位コント)			
州別/輸入額	一九二二—二七年平均額	一九二八年	一九二九年
聯邦	一、二〇五、八八八	一、四七五、六六〇	一、二九四、〇一三

一七五

サン・パウロ	一、〇〇〇、九七七	一、四七九、三八七	一、四〇七、四九一
リオ・グランデ・ド・スール	一、七三三、七二四	二、三三三、九二二	二、六三三、一六四
メルナン・アゴ	一、四三三、八二八	一、六八八、二二九	一、〇八八、九三四
バ・イ・イ・ヤ	九一、九八〇	一、一七〇、〇一八	一、〇三三、一五七
バ・ラ・ラ・イ	四一、四二二	五〇、七二三	四五、八二二
サンタ・カタリナ	二七、七六九	二七、五七二	二八、一九一
セ・ア・ラ・イ	二四、二三〇	二五、一四九	二八、八六〇
バ・ラ・ナ・イ	二二、五八二	二二、四七六	三四、五一一
アラゴ・アス	三〇、八三九	二二、五三三	二四、三〇九
アマゾン・ナス	一七、九七二	二四、二二四	一三、四一七
パラ・イ・イ・パ	一三、二二八	一七、〇一一	一三、五八六
マ・ラ・ニ・ヨ	一一、六六七	一一、六二四	一一、四二一
エスピリト・サント	八〇、一五	一一、三四五	九六、九七
リボ・グランデ・ド・ノルテ	六〇、二六	九、八五六	一一、三七〇
マ・ト・グロソ	四六、三九	六、一七三	七、四〇一
セル・ジ・ベ	四一、一六	六、七七九	七、二八八
ピ・ア・ウ・イ	二六、〇一	四、四一七	四、一〇六

伯國沿岸貿易状況左の如し。

年次	國産品	輸入品	合計	國産品	輸入品	合計
一九二五年	一、五五七、七六	一、五八五、〇五	三、一四二、八一五	二、五五七、七六	二、五八五、〇五	五、一四二、八一五
一九二六年	一、五五七、七六	一、五八五、〇五	三、一四二、八一五	二、五五七、七六	二、五八五、〇五	五、一四二、八一五
一九二七年	一、五五七、七六	一、五八五、〇五	三、一四二、八一五	二、五五七、七六	二、五八五、〇五	五、一四二、八一五
一九二八年	一、五五七、七六	一、五八五、〇五	三、一四二、八一五	二、五五七、七六	二、五八五、〇五	五、一四二、八一五
一九二九年	一、五五七、七六	一、五八五、〇五	三、一四二、八一五	二、五五七、七六	二、五八五、〇五	五、一四二、八一五

(三) 日伯貿易

一九二八年に於ける本邦の對伯輸出額は八、二四八、九一八ミルreis（邦貨約二百萬圓）輸入一、六一一、六〇〇ミルreis（邦貨約四十萬圓）に過ぎず其内譯を見るに左の如し。

日本よりの輸出	二、二二〇、九二三
陶 磁 器	一、六四二、五八〇
卸	一、三四六、四四二
ゴム製以外の玩具	四九五、五一九
繭及綿狀絹	三八六、二九三
魚肉類罐詰	一七七

植物纖維類		一七八
其他紙類、紡績機械、食料品等		二七六、四四九
計		八、二四一、九一八
日本への輸出		
一、動物		
乾肉	三〇一	八〇〇
鹽漬牛皮	七九五	二、一一三
乾牛皮	六八	二〇四
爪	一七、五二七	九、三三〇
骨	一〇、一四八	二、七〇〇
雜皮	二四	八〇〇
牛莖ウシビョー	一〇三、九一三	一三〇、四三五
二、礦物		
水晶	二六四、八三〇	九四八、一一〇
三、植物		
珈琲	二、三二一	一、〇〇〇
蓄音機用板	三八〇	四八七、一七七
香水原料	六六〇	五、〇〇〇
吐根(藥劑)	二五	一、二、八〇〇
藥用葉、根樹脂	二、〇〇〇	七五〇
木材	六〇五八	二、〇〇〇
木材製品	六三〇	一、三〇〇
藥製品	三八四	一、〇〇〇
象牙棕櫚	一〇、一〇五	三、六〇〇
植物油	二四〇	二、五三一
合計	一六〇	四五〇
輸出總計	五五八	五一六、六〇八
		一、六二一、六〇〇
		三九、五九三
		一七九

六、財 政

聯邦豫算は左の如し。(單位ミルレイス)

年 次	入	出
一九二七年	二、四〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇九、〇〇〇、〇〇〇
一九二八年	二、二一七、〇〇〇、〇〇〇	二、〇一八、〇〇〇、〇〇〇
一九二九年	二、三九九、〇〇〇、〇〇〇	二、〇一七、〇〇〇、〇〇〇

(註)金貨勘定は紙幣に換算)

一九〇〇年より一九二九年に至る歳入實收額左の如し。(單位ミルレイス)

年 次	金 貨	紙 幣
一九〇〇年	四九、九五五、五二一	二六三、九八七、九二二
一九〇一年	四三、九七〇、六二六	二三一、四九五、四八七
一九〇二年	四二、九〇四、八四四	二四三、一八四、一〇五
一九〇三年	四四、八五二、一〇六	二九二、五八六、三〇六
一九〇四年	五〇、〇五一、三三三	二七八、九四七、三八八
一九〇五年	五六、二一〇、八七五	二九九、八四五、五三二
一九〇六年	八八、〇三六、四二七	二七三、二一九、〇九〇

一九〇七年	七一七、七七八、四九八	三二四、〇五八、九七七
一九〇八年	九四、六二〇、三二七	二七〇、九四二、七八九
一九〇九年	九一、九〇二、三七七	二八四、四七三、九七〇
一九一〇年	一二〇、二八五、五二九	三二一、九五〇、五三一
一九一一年	一二三、四二二、七四六	三五五、二七一、五八一
一九一二年	一三八、四〇六、一四五	三八一、八三〇、五七一
一九一三年	一五三、七一九、三三二	三九四、一六〇、三三五
一九一四年	七四、〇四九、九四六	二九二、二四二、七六三
一九一五年	八六、五四一、一〇六	二九五、一六二、三一一
一九一六年	九五、四九七、六四八	三二五、六四六、八九三
一九一七年	六二、七二一、三三八	三四六、七〇一、七一一
一九一八年	四〇、〇一三、八五八	三六九、七七九、四七六
一九一九年	八八、五一〇、〇九一	四三七、一九六、二二八
一九二〇年	一一、七〇〇、五七〇	五一、四三七、六七七
一九二一年	七五、六二〇、七六二	五二〇、九三七、一九八
一九二二年	七八、一〇三、二六九	六六七、一〇九、九六〇
一九二三年	一〇〇、一八二、九四七	七五四、三二九、九五六
一九二四年	三一、六八五、七五七	九四六、六〇一、五八八

一九二五年 一九二六年 一九二七年 一九二八年 一九二九年

一九三〇年伯國歲入豫算査定額は金貨一九九、二七一、七〇〇ミルレイス、紙幣一、三七一、四三三、三〇〇ミルレイスなり今其主要收入科目を表示すれば左の如し。(單位ミルレイス)

科目	金貨	紙幣
輸入税	一、六〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇
金貨拂還二歩税	一、六〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇
煙草消費税	六、〇〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇
飲料品消費税	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇
機寸消費税	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
鹽消費税	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇
履物消費税	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
香水消費税	八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇
寶藥消費税	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇
罐詰消費税	六、〇〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇
織物消費税	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
衣服消費税	一、六〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇
化粧用品消費税	一、六〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇
印花紙消費税	六、〇〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇
運輸税	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
商品取引税	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
所得税	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
郵便收入	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
電信收入	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
國營鐵道收入	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
西部ミナス鐵道收入	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
西北鐵道收入	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇

聯邦區營業稅 國營鐵道建設改良基金 一九二九年主要實收入を税別に表示すれば左の如し。(單位ミルレイス)

税別	金貨	紙幣
消費税	一八五、九二、六六〇	四二六、七四八、九七七
輕入税	一九、三六七	一一八、二一三、七〇〇
通行税	一一、三〇〇	二五九、五三二、四九〇
所得税	三、一三四、六七六	七五、六六〇、二一〇
富彙税	一五、七四八、四〇〇	二、二六〇、〇〇〇
其他ノ收入	二八、一一八	三、九一一、九四二
國有財産收入	一、〇〇九、〇〇〇	一六、一九八、九〇九
營業稅	一九一九年	二九二、七七〇、〇〇〇
特別收入	一九一九年	二五〇、三九七、四七五

伯國總歲入左の如し。(單位ミルレイス)

都	州	聯邦	市
一九一九年	一九一九年	一九一九年	一九一九年
六二五、六九三、三八八	二、二一〇、七七〇、四一九	一、三〇五、六〇五、五二四	八〇〇、〇〇〇、〇〇〇
三四五、九八〇、九五六			
一七、一一六、三三二			

一八三

アラバ	三、九四〇、五二九、九一六	一八六
ベルナ	三、五、一八二、三三、七一四	九、二八六、六七、五四七
アラゴ	五、四三、四七、九四、七九四	七、一三五、七、八八、六三、二五
セル	一、三三、九七一、九二、八三	二、一九九、八、三八、九四、三
パイ	二、九、六四〇、六二、三、七四二	六、二、三六、三六、一〇、五
エスピリト・サント	三、三八一、九九、六、八七、七	六、三、二、四八、三、四、七、四七
リサ・デ・サント	三、四、七二〇、〇五二	一〇、〇二六、六〇、〇〇、六六
サン・パウル	四、四、四二六、九九、二、六三、三	三、八、八五、六、九五、九、五二〇
サン・カタリナ	三、八七、一〇六、五三、五、四九三	九、三六、三三、三、二六、八、一、四九
サンタ・カタリナ	七、四二七、三、五、四、六、六、四	七、〇八、六二、七、四、八、七、三三
リオ・グランデ・ド・スール	六、八四七、九四〇、三六、三	二、八、七、一六、二、四二、二、九、四
ミナス・ジラエス	五、九、八五七、四五一、九一、五	一、七、三、一五、六、五、四、二、六〇
ゴヤ	二、一四、六九七、三〇、九	二、五、五〇五、六、四、四、二、六〇
マト・グロソ	二、九二、二二七	六、一、八四、六、四、五、六、八、九〇
計	二、〇四、一、二〇〇、九三、九	一、〇九七、四三、二、六、七、九
	九七、八、六一八、二、四一、六、二八	四、一、五〇〇、五〇、三、一、四
		二、二、六、五、一一、五、三、五、〇、三三

一九二八年伯國聯邦歳出に對する各州納金額

州別	聯邦歳出に對する制當額	(+)は制當額決裁後聯邦歳入超過に基く返還額
アラゴ	一、一八七、四二〇、一三〇、三	四、九、一、五、五三、二、四、四、三
ベルナ	一、四二、五、六、七、九、六、五、八、七	一〇、七、七、〇、七、三、二、四、二、一
アラゴ	一、一六、三、二、九、一、七、〇、九、七	二〇、四、二、〇、九、七、九、二、一
セル	五、八、八、八、五、三、〇、五、〇、〇	二、二、四、八、八〇、七、三、二、一
パイ	二、七、二、〇〇、六、七、八、〇、二	三、三、七、四、五、九、八、一〇、九、一
エスピリト・サント	九、〇、五、八、四、〇、六、七、九、七	二〇、四、五、三、〇〇、〇、七、七、一
リサ・デ・サント	一〇、〇、二、四、九、四、六、三、四、七	八、九、六、二、七、八、〇、〇、〇、一
サン・パウル	二、一、六、四、三、七、八、七、五、二、八	四、九、七、一、四、〇、九、八、七、九、七、七
サン・カタリナ	六、八、一、六、六、七、六、五、二、九	五、一、八、一、四、六、二、四、一、四、四
リオ・グランデ・ド・スール	五、七、八、五、一、九、一、六、二、九	四、五、一、一、六、九、四、七、六、六
ミナス・ジラエス	二、八、七、七、二、二、七、二、二、四	三、三、四、六、二、五、六、二、〇、三、三
ゴヤ	五、六、九、八、三、七、八、九、三、二	二、八、〇、四、九、六、一、六、八、五、三、三
マト・グロソ	一、〇、八〇、七、三、四、二、六、六、七	一、一、四、二、九、六、三、一、四、四、三、八
計	一、〇、五〇、六、二、九、五、八、二、五、八、七	六、一〇、六、九、四、八、四、五、五〇、二、二
	九七、九、三、二、六〇、三、二、三、一	一、二〇、五、一、〇、一、六、五、二、五、四
	一、六、六、五、二、二、五、七、六、九	八、六、三、二、二、五、四、九、三
	一、八、一、七、八、八、六、九、七、五、三	一、八、七

各州府歳入左の如し。(単位ミルreis)

州別/歳入額	一九二〇年	一九二八年
アラゴアス	六、四六〇、七四九	一四、三八一、〇八五
アマゾン	五、八八七、九八五	一一、九二二、四〇三
バイーア	三〇、一八二、二〇二	七五、三三三、五四九
セアラー	五、三六〇、五六三	一四、三八一、〇〇〇
エスピリト・サント	八、八八九、八五四	三二、九二二、九一〇
ゴヤス	二、七二九、七九四	六、二五九、九一六
マラニオン	六、五九一、九四五	一一、四五二、四四六
マト・グロソ	四、七二八、二二一	九、四六四、四八六
ミナス・ジェライス	五、六一八、〇五七	一八、五三〇、二〇〇
パラナ	八、五二六、六一九	一四、二四六、〇〇四
リオ・グランデ・ド・スール	六三、四七六、四三三・七五九	六二、〇二九、二〇七・三二(4)
ミナス・ジェライス	五、一三八、九三〇・三六〇	一〇、七〇七、五二六・五三〇(4)
ゴヤス	二、七〇一、九三三・三七三	一、六〇四、五〇〇・六九四(1)
マト・グロソ	七、五八九、二〇二・七〇四	二、三四六、九五〇・二九七(1)
計	二〇、一八、一五八、三三八・三六七	四九八、八七五、五三七・〇七五(1)
		一九八、三五四、一九六・六五六(4)

各州府歳入左の如し。(単位ミルreis)

州別/歳入額	一九二〇年	一九二八年
アラゴアス	五、七二〇、二一九	一一、五二〇、二〇四
アマゾン	一一、五九二、八八六	二八、八〇一、三三九
バイーア	二六、〇七六、八六八	五六、八四七、三二四
セアラー	一九三二、八七二	五、一五二、〇四一
エスピリト・サント	二、四八二、一一九	三九、九七三、三四二
ゴヤス	三、六〇九、五〇五	一〇、六二四、三〇八
マラニオン	三七、四八八、三〇一	一七〇、三七四、一一七
マト・グロソ	七、六九八、八六四	一七、七八七、五〇七
ミナス・ジェライス	一七、五七六、九八五	四〇、八二四、三四三
パラナ	五、四八九、七四八	九、〇八八、〇〇〇
リオ・グランデ・ド・スール	五、七二〇、二一九	一七、四一三、四〇〇
政府並銀行發行紙幣總額左の如し。(通貨単位 コント)		
年次	政府發行紙幣	銀行發行紙幣
一九二五年	二、二四、九七七	五九二、〇〇〇
一九二六年	一九七七、三〇四	五九二、〇〇〇
一九二七年	一九七七、三〇四	五九二、〇〇〇
一九二八年	一九五二、七二五	五九二、〇〇〇
一九二九年	一九五二、七二五	五九二、〇〇〇
計	二、七〇六、九七七	二、五六九、三〇四
		三、〇〇四、八六四
		三、三七九、〇二八
		三、三九四、三四七

内債		外債	
一九二八年	二、三九二、七四六、二〇〇	一九二八年	一、〇六九、六八〇、〇〇〇
一九二九年	二、三八一、二九二、二〇〇	一九二九年	一、〇四二、八五〇、〇〇〇
			一、四八〇、〇〇〇、〇〇〇
			三、三三七、七六二、〇〇〇
各州外債左の如し。(単位磅)		各州外債左の如し。(単位磅)	
州別		州別	
アマゾンナス	一、三四七、一七八	アラゴアス	一、〇四、四九三
パラナ	八、三二一、五二七	セルジペ	一、九六九、三三〇
マラニョン	五、二四、四一九	バイーア	四、一五、二二
ピアウイ	四、〇七、四〇八	エスピリト・サント	四、七二、九八〇
セアラ	五、六二、六五	リオ・デ・ジャネイロ	一、三七六、六八七
リオ・グランデ・ド・ノルテ	二、二四、〇〇九	サン・パウロ	二、〇一、四一、六三八
パラナ	二、二四、〇〇九	パラナ	二、〇〇、〇〇〇
サンタ・カタリナ	一、一八八、一五		
リオ・グランデ・ド・スール	二、〇五三、六〇一		
ミナス・ジェライス	九、九一八、四六八		
計		計	
	七九、〇六一、六四〇		七九、〇六一、六四〇
註 伯國各州外債は磅外債、法外債、弗外債及フロリオン外債よりなるも本表数字は英貨磅に換算作成せり並換算割合は英貨一磅に對し法二四、四一、弗四、八六、フロリオン二、一二、二五なり。			
伯國諸州に於ける内國銀行營業狀況左表の如し。(単位、ゴント)			
年次	割引手形	當座貸付	當座預金
一九二二年	三、一九〇、三四	三、一五〇、四四	七、〇〇、五四〇
一九二三年	三、九四、四五〇	四、三七、〇〇六	七、二八、三九六
一九二四年	二、六二、一三九	三、九一、八二九	六、四九、九七三
一九二五年	二、四三、二二一	三、八九、一六〇	七、一三、二四三
一九二六年	三、三一、六八	四、六二、三八四	九、二五、一七九
一九二七年	四、一七、四〇八	五、四九、〇一四	一、〇六五、六〇三
一九二八年	五、六五、八三〇	八、〇一、六三五	一、五五〇、二一九
一九二九年	七、〇八、三二二	一、〇九、二四二	二、九〇八、八五四
一九三〇年	八、二七、五三六	一、二七、四八二	二、二一九、六九八
一九三一年	一、二六三、一五三	一、六三七、一〇五	三、〇七四、五五九
一九三二年	一、七三五、六一五	一、三三七、六一四	三、四一五、一一〇
一九一			

銀行取引額左の如し。(単位 ユント)

年次	内 國 銀 行	外 國 銀 行	合 計
一九二三年	二二七、七〇七	一、六〇一、四八五	三、六〇九、三六八
一九二四年	二二二、〇六八	一、八〇六、三三六	三、八三〇、四〇四
一九二五年	一九八、七三三	一、八七五、九〇三	三、六六二、四四七
一九二六年	一九六、五四一	一、七九七、六九三	三、七九〇、四二七
一九二七年	二七九、八〇六	二、一六四、〇五五	四、九二九、五三一
一九二八年	三〇八、一二二	三、〇〇一、〇〇〇	五、八八二、二二六
一九二九年	二四八、〇〇〇	三、五八八、〇〇〇	五、九八四、〇〇〇
平均	二二二、〇六八	一、八〇六、三三六	三、八三〇、四〇四

伯國に於ける内國銀行及外國銀行營業狀態を對照すれば左表の如し。(単位 ユント)

年次	内 國 銀 行	外 國 銀 行	合 計
一九二四年	一〇二、三二〇	五、八五八、八五四	一六、〇八八、八七八
一九二五年	一〇二、三二〇	五、七七七、一三三	一五、八九八、四四八
一九二六年	一〇七、七三六	五、八〇七、五三六	一六、五八四、八七二
一九二七年	一四八、五五〇	五、八七九、六八四	二〇、七三〇、二三四
一九二八年	一八二、九八六	六、五〇一、五四五	二四、八〇〇、二〇九
一九二九年	一九六、四三三	六、六八五、〇二二	二六、三三八、二六〇
平均	一三九、九三二	六、〇八四、六二九	二〇、〇七二、五六一

資 産 表

資 産 表	一九二四年	一九二五年	一九二六年	一九二七年	一九二八年	一九二九年	平均
資本金	七、七〇	七、七〇	七、七〇	七、七〇	七、七〇	七、七〇	七、七〇
準備金	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇
定期預金	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
合 計	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
現金保有額に對する割合	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
定期預金	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
平均	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇

伯國に於ける各銀行資本拂込額左の如し。(単位 ユント)

資 産 表	一九二四年	一九二五年	一九二六年	一九二七年	一九二八年	一九二九年	平均
資本金	七、七〇	七、七〇	七、七〇	七、七〇	七、七〇	七、七〇	七、七〇
準備金	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇
定期預金	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
合 計	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
現金保有額に對する割合	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
定期預金	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
平均	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇

伯國に於ける各保險會社收入保險料總額左の如し。(單位 ミルレイス)

年次	內國銀行	外國銀行	合 計
一九二四年	六二八、三〇五	一一九、六一八	七四七、九二三
一九二五年	六三四、二九八	一二二、二五八	七五六、五五六
一九二六年	六四三、三八九	一一五、六〇〇	七五八、九八九
一九二七年	七〇〇、〇〇〇	一一三、〇〇〇	八三三、〇〇〇
一九二八年	八七三、五六八	一一三、二二五	九八六、七八三
一九二九年	八六〇、〇〇〇	一三三、〇〇〇	九九三、〇〇〇

簡易貯蓄銀行預金狀況左の如し。

年次	掛 金 額
一九二四年	二七、二〇〇、五五〇・九四三
一九二五年	一四六、二七八、三一・八八四
一九二六年	一五三、一四〇、三九三・四五四
一九二七年	一六一、二五四、九二五・七七六
一九二八年	一八二、三〇七、八五二・九七七

伯國爲替相場變動狀況左の如し。

年次	預金額(單位 ユント)	指 數	預金額(單位 千磅)	指 數
一九一三年	一一一、三四四	一〇〇	一三、六二六	一〇〇
一九一四年	一八三、八三一	八七	一一、二二六	八二
一九一五年	一八四、一三七	八七	九、五五四	七〇
一九一六年	二〇九、四四七	九九	一〇、四一八	七六
一九一七年	二二〇、五〇七	一〇四	一一、六七一	八五
一九一八年	二六二、五九六	一二四	一四、一〇四	一〇四
一九一九年	二九七、八七一	一四一	一七、八六一	一二一
一九二〇年	三二〇、五七〇	一五二	二〇、六六二	一五二
一九二一年	三三八、九四五	一六一	一一、六九五	八六
一九二二年	三九五、一八四	一八七	一一、七八三	八七
一九二三年	四二二、九八二	二〇〇	九、一一五	六七
一九二四年	四二六、八〇七	二〇二	一〇、四四七	七七
一九二五年	四二九、〇六八	二〇三	一二、六二六	九三
一九二六年	四二八、三〇四	二〇三	一〇、四八五	七七
一九二七年	四五六、三八七	二一六	一一、二一九	八二
一九二八年	四八六、四〇五	二三〇	一一、九五七	八八

年次	倫敦相場	紐育相場
一九一〇年	一六、六四分の五	三〇、八〇
一九一一年	一五、三二分の三	三〇、九八
一九一二年	一六	三〇、九〇
一九一三年	一五、六四分の六	三、一〇九
一九一四年	一四、三二分の二	三、四一七
一九一五年	一二、六四分の二九	四、〇五三
一九一六年	一一、一六分の五	四、二五四
一九一七年	一二、六四分の四五	三、九八八
一九一八年	一二、六四分の五七	三、九四七
一九一九年	一四、六四分の二五	三、八一六
一九二〇年	一四、三二分の九五	四、七五八
一九二一年	八、三二分の九	七、七六六
一九二二年	七、二分の五	七、七四〇
一九二三年	五、八分の三	九、二八六
一九二四年	五、一六分の五	九、一八一
一九二五年	六、一六分の一	八、三一四
一九二六年	六、六四分の九	七、〇〇一
一九二七年	五、三二分の二七	八、四五七
一九二八年	五、六四分の五七	八、三六三
一九二九年	五、二八分の二七	八、四七九

七 交 通

伯國交通及通信狀態一般は左の如し。

鐵道線延長 (一九二八年)	三、〇〇〇、二八一	(杆)
機關車數	三、三〇六	(輛)
貨物車及貨物自 動車數	四三、五九六	(輛)
旅客車數	三、九三三	(輛)
船舶總噸數 (一九二九年)	七六一、九一〇	(噸)
同排水噸數	四九九、一九五	(噸)
汽船數	七六九	(隻)
帆船數	一、〇三二	(同)
補助船數	七三五	(同)
燈臺數	一一九	(個)
港數	一四七	(個)
築港數	六三	(個)
放光浮標數	九	(個)
岸壁延長	一五、六九五	(米)
倉庫數	一七七	
倉庫面積	三八〇、八二六	(平方米)
起重機數	二六〇	(個)
可航河川延長	三五、〇〇〇	(杆)
自動車道路延長	一三、五七〇	(同)
電信線延長 (一九二九年)	五八、四二五、八〇一	(同)
電報線延長	九六、三四三、七四六	(同)
郵便局數	四、八七〇	(個)
郵便取扱件數 (一九二九年)	二、一九八〇、七三六	(件)
電話局數	一四三	(個)
電話機數	七〇〇	(個)
都市電氣局數	二一、七三三	(個)
自動車及貨物自動車 數(一九二九年)	四	(輛)
航空運輸會社數	六〇	(處)
運輸飛行機數		

伯國州別鐵道延長左の如し。(一九二八年現在)

ア、クレ直轄州	五、〇八七	延長
アマゾンナス	三七四、三〇〇	
マラニョン	四五六、八二七	
マラニョン	一六四、〇九四	
セアラ	一、七六八、一七	
セアラ	四三五、三四五	
リオ・グランデ・ド・ノルテ	四一八、三二三	
パラナ	九七、七四五	
ヘルナンデス	三二六、八〇一	
アラゴアス	二九七、七九六	
セルジペ	二、〇八三、八一七	
パイイ		
合計		

伯國鐵道發達狀況左の如し。

年次	延長	年次	延長
一八五四	一四、五〇〇	一八八五	六、九三〇、二八五
一八五五	一四、五〇〇	一八九〇	九、九七三、〇八七
一八六〇	二二、六九六	一九〇〇	一二、九六七、〇九八
一八六五	四九八、三九三	一九〇五	一五、三一六、四〇〇
一八七〇	七四四、九二二	一九一〇	一六、七八〇、八四二
一八七五	一、八〇〇、八九五	一九一五	二一、四六六、五五六
一八八〇	三、三九七、八七二		二六、六四六、五九二

一九九

伯國各州自動車道路延長左表の如し。(一九二八年現在)			
州別	一等道路	二等道路	合 計
アクリ直轄州	一〇〇,〇〇〇	一五八,〇〇〇	二五八,〇〇〇
アマゾナス	一〇五,〇〇〇	二八九,四三五	三九四,四三五
パラナ	四七九,〇〇〇	二六四九,〇〇〇	三,一二八,〇〇〇
マラニョン	一八一,五〇〇	二,八三二,五〇〇	三,〇一四,〇〇〇
ピアラウイ	六三五,〇一四	二,九三二,二一〇	三,五六七,二二四
セアラ	五四六,五七〇	三,四二六,〇〇〇	三,九七二,五七〇
リオ・グランデ・ド・ノルテ	七五〇,二九二	三,〇六二,五八七	三,八一二,八七九
パラíba	一,一七六,九八〇	三,七二六,〇〇〇	四,九〇二,九八〇
ペルナムブコ	一四四,〇〇〇	一,四二七,〇〇〇	一,五七一,〇〇〇
アラゴアス	一六八,八四〇	一五九,六六〇	三二八,五〇〇
セルジペ	一三九,八四三	三,五〇二,〇三八	四,九〇〇,四七三
バイーア	五〇七,五三五	六二七,〇三〇	一,一三四,五八五
エスピリト・サント			
合 計	三,〇八七,〇二〇	二八,〇六二,〇〇〇	三,〇八七,〇二〇

伯國州別自動車数左の如し。(一九二八年現在)			
州別	旅客自動車	貨物自動車	合 計
アクリ直轄州	一三三	六三	一九六
アマゾナス	三六六	二六三	六二九
パラナ	二五九	六二	三二一
マラニョン	一八六	七八	二六四
ピアラウイ	五四五	二七六	八二一
セアラ			
合 計	一,一三三	五五五	一,六八八

リオ・グランデ・ド・ノルデ	五九六	一九四	七九〇
パラ・イ・バ	九三三	二六七	一、二〇〇
バルナン・アゴ	三、三一五	一、一八九	四、五〇四
アラゴ・アス	五六一	一二二	六八二
セル・ジ・バ	三七九	五八	四三七
パ・イ・ア	一、八〇五	五〇六	二、三一一
エスピリト・サント	七三四	七二二	一、四五五
リオ・デ・ジャネイロ	三、三六〇	二、二三五	五、五九五
聯邦	一、八二九	五、二三九	一七、〇六八
サン・パウロ	四三、六五七	二五、八五八	六九、五一五
パラ・ナ・I	一一、六二五	三、六二五	一五、二五〇
サンタ・カタリナ	一、七四二	五一一	二、二五〇
リオ・グランデ・ド・スール	一二、七九四	二、八四三	一五、六三七
ミナス・ジェライス	一一、三二〇	四、三〇八	一五、六二八
ゴ・セ・I・ス	六一一	一八〇	七九一
マ・ト・グ・ロッソ	七〇〇	二九八	九九八
合計	一〇七、四三二	四八、九〇一	一五六、三三二

(註) 一九二八年旅客自動車一六、五二三、貨物自動車一三、〇六五、旅客自動車二九、三九九、貨物自動車二四、五二九、輸入セリ)

伯國郵便發達狀況左の如し。(一九二九年現在)

郵便局數

郵便路延長(杆)

郵便局使用人員

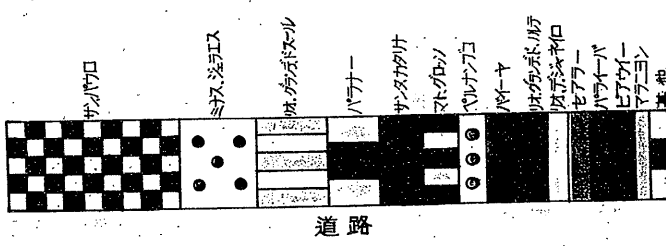
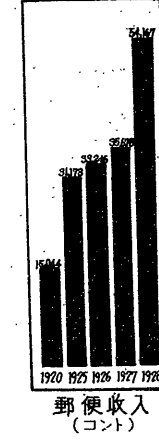
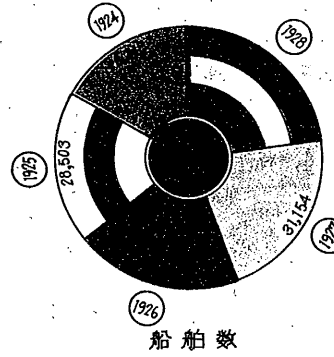
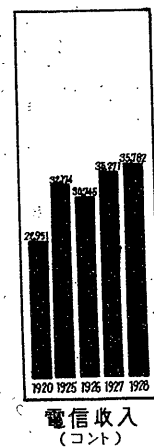
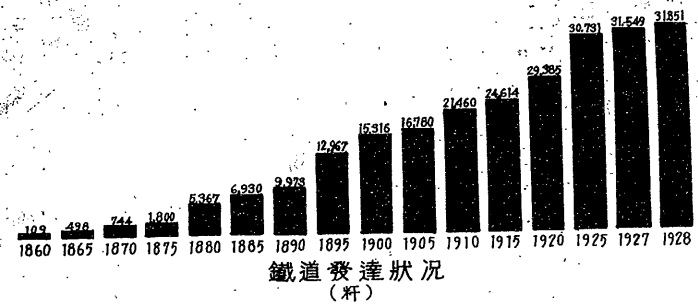
郵便收入狀況左の如し。

年次	郵便物取扱件數	收入
一九二〇年	五〇、四四一、〇一八	二、五六九、〇一九〇
一九二一年	七四、五四七、九八一	四、一八七、八二〇〇〇
一九二二年	二七八、四八〇、三三三	六、五九五、八〇二、〇〇〇
一九二三年	三九四、〇四五、〇五八	七、九七九、二五五、〇〇〇
一九二四年	五四三、六六九、一五七	一〇、一五〇、〇〇〇〇〇
一九二五年	四四三、〇六二、五八七	一二、六八〇、〇〇〇〇〇
一九二六年	六四一、三七六、二六五	一四、九二六、八三八、二六
一九二七年	一、五四八、七一九、五七	三一、七三三、二〇八、三七五
一九二八年	一、六四七、五九二、三九二	三三、二四六、五六二、九八八
一九二九年	一、六七三、二〇七、一九五	三五、六七八、九六五、四八八
一九三〇年	一、七三四、六三四、三二四	五四、一六七、二八九、二九八

一九二九年	二、一九八〇、七三、六八四	五八、二五四、八二〇、六七五	二〇四
伯國電信發達狀況左の如し。(一九二九年現在)			
聯邦所屬電信局	一、三三〇		
海底電信會社數	四八		
私營鐵道會社所屬電信局	二、九八五		
電話會社	二九四		
其 他	四三九		
無線電話受信所數	四、六六八		
公私無線電信局	四八五		
電信收入狀況左表の如し。			
年 次	延 長	取 扱 語 數	收 入
一八九〇年	一、八九五、九六二	一〇、五四四、五五八	二〇四二、七五五
一八九五年	一八、一七四、六〇九	二二、一三七、九四七	三、九一五、五三八
一九〇〇年	二二、二六六、二四三	二〇、九三五、二〇一	六、八一三、三〇七
一九〇五年	二六、一三九、二一七	二五、一一六、九四六	七、一六六、六九六

一九一〇年	三、三三三、三九一	五、三八二、七六八	九、五三三、四七八
一九一五年	三七〇、九七、五四八	六八、四三三、八九六	一四、三七八、五四七
一九二〇年	四四、四四六、五八〇	一二七、〇三三、八九〇	二二、九五二、一五一
一九二五年	五一〇、三九、九九四	一五〇、三七五、九九二	三二、一七四、九六八
一九二六年	五一、三七五、二九	一二、一一八、七四七	三〇、七四五、四八二
一九二七年	五二、六九八、九四二	一三八、〇四八、六四九	三三、〇九二、四四九
一九二八年	五五、八五九、九〇七	九二、六二二、一六八	三三、二一五、〇五一
一九二九年	五八、四二五、八〇一	九六、三四三、七四六	三二、七八二、三五六
(註)一九二九年電信取扱數六、〇一五、〇五〇(通)			
伯國州別電信線延長左の如し。(一九二九年現在)			
州 別	延 長 線	計 畫 線	
パ ラ ー	九二、一四七、五	二、一五六、二〇八	
マ ラ ニ ヨ ン	二、五四八、七五七	四、三三四、五四九	
ビ ア ヲ イ	二、九七六、八八〇	四、七二〇、八八〇	
セ ア ラ ー	三、二八九、八九一	六、四七三、五四四	
リ オ ・ シ ラ ン デ ・ ド ・ ノ ル テ	一、八〇八、〇〇〇	三、五〇一、〇〇〇	
パ ラ イ ー	一、七〇二、三五六	二、三七七、五三〇	
パ ル ナ ン プ	三、〇一九、五七一	四、七九二、三四〇	
ア ラ ゴ ア ス	九〇〇、〇九三	一、八四九、〇三九	
		二〇五	

伯國交通機關發達圖

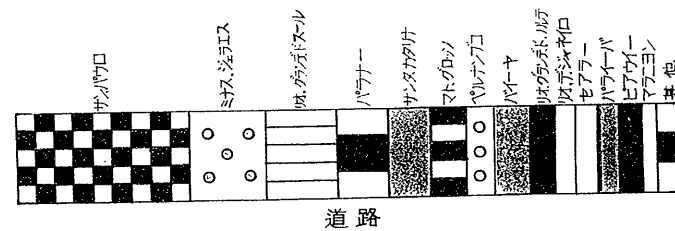
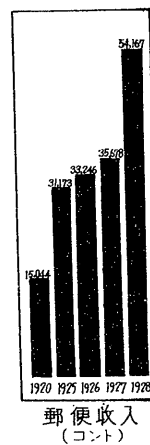
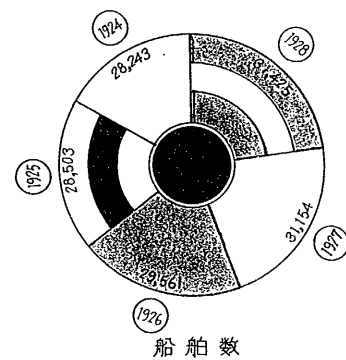


伯國船舶數左の如し。(一九二九年一月一日現在)

船舶種類	船舶数	總噸數	積載噸數
汽船	七六九	五〇七、七〇一	三〇四、七二〇
帆船	七三五	六八、六〇四	五八、五二八
補助船舶	一三〇	一八五、三九五	一三五、九五七
合計	一、六七二	七六一、九〇〇	四九九、一九五
汽船	二、八〇六	八〇八、七七一	二〇六、四七九
帆船	四、六四五	一〇、七五六、〇五七	一〇、七五六、〇五七
補助船舶	二、二四〇	三、三七八、〇〇〇	三、三七八、〇〇〇
合計	九、六九六	二〇、七五〇、八二七	二〇、七五〇、八二七
汽船	二、四四八	四、六三七、〇〇〇	四、六三七、〇〇〇
帆船	二、六二六	五、二二九、〇〇〇	五、二二九、〇〇〇
補助船舶	五、二七八	一〇、七五六、〇五七	一〇、七五六、〇五七
合計	一〇、三四二	二〇、六二四、〇五七	二〇、六二四、〇五七
汽船	七、九四〇	一五、四一〇、〇〇〇	一五、四一〇、〇〇〇
帆船	二、〇一五	四、二二九、〇〇〇	四、二二九、〇〇〇
補助船舶	五、七五二	一〇、七五六、〇五七	一〇、七五六、〇五七
合計	一五、七〇七	三〇、三九五、〇五七	三〇、三九五、〇五七

Year	Mileage (km)
1860	10.9
1865	4.9
1870	7.4
1875	18.0
1880	5.367
1885	6.930
1890	9.973
1895	12.967
1900	15.316
1905	16.780
1910	21.460
1915	24.614
1920	29.385
1925	30.731
1927	31.549
1928	318.5

鐵道發達狀況
(料)

[illegible]

八、商業航空

伯國航空業は漸次其發達の域に向へりコンドル・シンデケートは既にリオ、ナタル間の航空飛行を開設し將來バライまで延長の計畫を有す又政府は最近ブラジル航空會社及ブラジル・ニルバ航空會社に對し航空路新設定權を認可せり前者はブラジル沿岸の主要都市に着陸し且ベエノス・アイレス市及佛領ギヤナ^ゴ至ル飛行を行ひ後者はサンチャゴ紐育ベエノス・アイレス、モンテヴィデオ及ブラジル間の國際航空路中のブラジルに於ける部分の航空に當る計畫なり。

リオ・グランデ^ンセ航空會社

年次	航空路	延長	平均	運輸	機	飛	延	滞	客	郵便	小荷	貨
				機	度	長	空	空	人	局	荷	物
一九二七年	一	二〇	二	二	一〇	三三〇	三時間五分	六	一〇	一〇	五	三〇
一九二八年	二	五〇	八	七	三六	三三〇	三時間五分	一	一〇	一〇	五	三〇
一九二九年	二	五〇	七	七	三六	三三〇	三時間五分	一	一〇	一〇	五	三〇

コンドル・シンデケート

十、水力電気

伯國の山系は西北アマゾン、東北アマゾン、サンフランシスコ、東部ブラグワイ、パラナ、ウルグワイ及南部の八分水嶺に分れ之等の河川は多くの瀑布を形成するを以て之等水力に依る發電能力は二千萬馬力なりと稱せらる就中パラナ州のグアイラ瀑布及イグアス州のサンタマリヤ瀑布は最も有名にして其發電能力前者は五百萬後者は三十三萬七千馬力と推定せられ將來之が利用の曉には伯國諸般産業に一大革命を來すべしと期待せらる。

伯國各州に於ける水力發電所は左の如し。(一九二九年一月一日現在)

州 別	發電所	發電能力
アラゴアス	一三	一七四〇
アマゾンナス	三	二三八二
バイーヤ	一四	二四三四三
セアラ	五	二二〇
聯邦區	一	三〇〇〇
エスピリト・サント	一三	八〇九五
ゴヤース	八	三八二

二一〇

伯國に於ける主要瀑布左表の如し。

マラニョン	四	三七〇
マト・グロソ	八	一、三一六
ミナス・ジェライス	一三八	六八、八六六
パラナ	四	六、八〇〇
パラナ	八	一、八七三
パラナ	二一	六、八五一
ペルナンブコ	二一	一五、七六四
ピアウイ	三	八一〇
リオ・デ・ジャネイロ	二六	一四九、一八七
リオ・グランデ・ド・ノルテ	六	一、八〇三
リオ・グランデ・ド・スール	五五	一四、八五五
サンタ・カタリナ	一五	八、三二六
サン・パウロ	九〇	三二八、七八六
セルジペ	七	一、二二九
アクレ直轄州	四	一九五
合計	四六七	六七四、一九三

二一一

伯國水力電氣と米大陸主要國水力電氣とを比較せば左表の如し。

瀑 布 名	所 在 數	發 電 推 定 能 力
セテ・クダス(グアイラ)	パ ラ ナ ー	五、〇〇〇、〇〇〇
サンタ・マリ・ア・ド・イグアッス	バ ラ ナ ー	三、三七、〇〇〇
パウロ・ア・フオンソ	ア ラ ゴ ア ス	四、〇〇〇、〇〇〇
ウルブー・ブンガー	サ ン・パ ウ ロ	四、四七、〇〇〇
マリム・ボン	サ ン・パ ウ ロ	二、〇〇〇、〇〇〇
サン・シ・マ	ミ ナ ス・ジ エ ラ エ ス	二、〇〇〇、〇〇〇
ド・ウ・ラ・ド	サ ン・パ ウ ロ	二、〇〇〇、〇〇〇
リ・ペ・イ・ラ	マ ト・グ ロ ッ ソ	一、五〇、〇〇〇
シ・ヤ・キ・イ・ラ	ミ ナ ス・ジ エ ラ エ ス	一、七〇、〇〇〇
アグア・ゲルメーリヤ	サ ン・パ ウ ロ	一〇〇、〇〇〇
伯 國	現在利用セラルル水力電氣	水力發電可能力
伯 國	五〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
北 米 合 衆 國	一、一七二、〇〇〇	三五、〇〇〇、〇〇〇
カ、ナ、ダ	四、五五六、〇〇〇	一八、二五〇、〇〇〇
メ、キ、シ、コ	三〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇
ニュウ・ファンドランド	一六〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇

チ
リ
一
一
アル
ス
カ
コ
ロ
ン
ビ
ア

一、一四〇、〇〇〇
五五〇、〇〇〇
四三〇、〇〇〇
二五〇、〇〇〇
二五〇、〇〇〇

二、五〇〇、〇〇〇
四、五〇〇、〇〇〇
一、〇〇〇、〇〇〇
五、〇〇〇、〇〇〇
四、〇〇〇、〇〇〇

十一、物價指數

伯國に於ける物價指數は左表の如し。

年 度	食糧品	燃料及 輕燃料	衣服	家賃(月 額)	家賃(料給)	家具類	平均 指數
一九一〇年	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
一九一一年	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
一九一二年	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
一九一五年	一一五	一一四	一一〇	一一五	一一二	一〇七	一一一
一九二〇年	一七〇	二〇八	二〇〇	一五〇	一三七	一五〇	一六七
一九二五年	二五三	二二七	二八〇	二七五	三二五	二八三	二五九
一九二七年	二四四	二四五	三二〇	三〇五	三〇〇	三一七	二七三
一九二八年	二四五	一九五	三二〇	三〇五	三〇〇	三一〇	二六九

二二四

附 録

伯國聯邦區(リオ・デ・ジャネイロ市)ニ關スル諸統計

地理的位置 南緯 二十二度四十四分四十五秒より同二十三度四分二十五秒
西經 四十三度六分六秒より五十三度四十五分五十八秒

地 積 市内面積 一六四万基米四六九、九二二
市外面積 九九五万基米〇三六、〇〇五
附近島嶼面積 四万基米四二七、〇七三
聯邦區總面積 一、一六三万基米九三三、〇〇〇

地 勢

居住地域 最高 四六〇米 人口最も多き地
最低 一米 城の平均高度
聯邦區内最高地點ベドラフランカ 一、〇二三米

人 口 (一九二〇年一月九日調査現在) 七〇八、八二三 海 岸 一〇、二七四

近 郊 會 三五六、七七六 聯邦區總人口 一、二五七、八七五

備考 一九二七年十二月三十一日調衛生局統計官最近の發表に依れば聯邦區人口は、一七二九、七九九人なり

二二五

リオ・デ・ジャネイロ市収入状況左の如し。				
年次	家畜税	営業税	相續税	預金税
一九二一年	二八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二二年	二八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二三年	二八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二四年	二八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二五年	二八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二六年	二八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二七年	二八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二八年	二八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二九年	二八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九三〇年	二八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇

年次	總收入	家屋税	地租税	車輛税
一九二一年	三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二二年	三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二三年	三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二四年	三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二五年	三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二六年	三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二七年	三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二八年	三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九二九年	三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九三〇年	三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇

一九二九年に於ける家畜屠殺数	牛	猪	羊	山羊
三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

其 他 (一九三〇年 同)	自動車数	公立病院	公立水族館	公立圖書館	公立墓地
一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇